

第三款 豫備役及後備役

第五章 補充兵ノ服役

第六章 雜則

附則

陸軍服役條例

第一章 將校ノ服役

第一款 現役

第一條 現役將校ハ所屬部隊ノ兵籍ニ編入シ現役定限年齢ニ充ツル迄服役セシム但別ニ規定アルモノハ此ノ限リニアラス

第二條 將校ノ現役定限年齢ハ左ノ如シ

中將 六十五歲

少將 六十歲

憲兵大中佐 五十七歲

三十二年十一月勅令第四百三十六號參看

步騎砲工輜重兵大中佐 五十四歲

憲兵大尉 五十一歲

步騎砲工輜重兵大尉 四十八歲

憲兵中少尉 四十五歲

第三條 現役定限年齢ニ滿ツルモ他人ヲ以テ代フヘカラサル職ニ在ル者又ハ補充上必要アル者ハ留任ヲ命スルコトアルヘシ

第四條 現役定限年齢ニ滿ツルモ戰時若クハ事變ニ際スルトキ又ハ航海中或ハ外國駐劄中ハ現役期限ヲ延ハスコトアルヘシ

第五條 現役定限年齢ニ滿タサルモ服役十一年以上ニシテ現役ニ堪ヘサル者ハ將官ハ上諭ニ依リ上長官士官ハ陸軍大臣旨ヲ諭シテ現役ヲ退カシムルコトアルヘシ

第六條 現役將校傷痍若クハ疾病ニ由リ職務若クハ永久服役ニ堪ヘスト思惟スルトキハ陸軍醫官ノ診斷證書若クハ地方醫師ノ病況書ヲ添ヘ順序ヲ經テ休職又ハ退役

ヲ陸軍大臣ニ願出ヘシ

第七條 休職停職ノ將校ハ本籍所在師管ノ兵籍ニ編入シ師團長ノ管轄ニ屬ス他ノ師管ニ寄留スル者ハ寄留地所管師團長ノ監督ヲ受ク

第八條 休職停職ヲ命セラレタル者歸郷シタルトキハ十四日以内ニ師團長ニ届出ヘシ但歸郷旅行一箇月以上ヲ要スルトキハ到着日ヲ豫定シ出發前本籍所管師團長ニ届出ヘシ

從前ノ在職地若クハ其ノ他ノ地ニ一箇月以上滞在若クハ寄留セント欲スル者ハ本籍市町村東京市京都市大阪市ニ在テハ區以下同シニ於テ軍衙ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者成年者ヲ定メ本籍所管ノ師團長ニ届出テ歸郷シタルトキハ前項ノ届出ヲ爲スヘシ

前項ノ滞在地若クハ寄留地本籍地外ノ師管ニ係ルトキハ滞在若クハ寄留ノ當日ヨリ十四日以内ニ其ノ地所管ノ師團長ニモ届出ヘシ其ノ本籍ニ復歸シ若クハ寄留替ヲ爲サントスルトキ亦同シ

第九條 休職停職ノ將校十四日以上旅行又ハ寄留セント欲スルトキハ本籍市町村ニ

於テ軍衙ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者成年者ニ限ルヲ定メ師團長ニ届出テ歸郷シタルトキハ十四日以内ニ師團長ニ届出ヘシ

前項ノ寄留地本籍地外ノ師管ニ係ルトキハ其ノ地ノ師團長ニモ届出ヘシ其ノ本籍ニ復歸シ若クハ寄留替ヲ爲サントスルトキ亦同シ

外國ニ旅行又ハ寄留セント欲スル者ハ其ノ期限ヲ豫定シ陸軍大臣ニ願出ツヘシ前項ニ依リ許可ヲ受ケタル者出發セントスルトキ及歸朝シタルトキハ第一項ニ準シ届出ツヘシ

第十條 休職停職ノ將校寄留地師管ノ兵籍ニ轉セント欲スル者ハ師團長ニ願出テ許可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ寄留地所管ノ師團長ニ届出ヘシ

寄留地師管ノ兵籍ニ轉シタル者ニ付テハ本條例ノ規定ニ於テ寄留地ヲ本籍地ト同視ス

第十一條 休職停職ノ將校兵籍上異動ヲ生シタルトキハ師團長ニ届出ヘシ但自己ノ身上ニ係ル異動ハ寄留地所管ノ師團長ニモ届出ヘシ

第十一條ノ二 傷痍若ハ疾病ニ由リ休職ト爲リタル者全癒シタルトキハ陸軍醫官若ハ地方醫師ノ診斷書ヲ添ヘ陸軍大臣ニ届出ツヘシ

第十一條ノ三 休職停職ノ將校ニシテ死亡又ハ所在不明ノ者アルトキ及所在不明中

戸籍ヲ轉換シタルトキハ其ノ戸主本人戸主ナレハ家族ヨリ十四日以内ニ師團長ニ中家事ヲ擔當スル者届出ツヘシ所在不明者ノ歸郷シタルトキ若ハ踪跡ヲ知得シタルトキ亦同シ但シ他

ノ師管ニ戸籍ヲ轉換シタルトキハ新舊所管ノ師團長ニ届出ツヘシ

家族ナキ者ニシテ前項ノ事故ヲ生シタルトキハ市町村長東京市京都市大阪市ニヨリ聯隊區司令官又ハ警備隊區司令官以下同シニ通知スヘシ

第十一條ノ四 休職停職ノ將校重罪輕罪罰金ヲ除クノ刑ニ處セラレタルトキハ刑名及刑

期ヲ記シ其ノ戸主本人戸主ナレハ家族ヨリ十四日以内ニ師團長ニ届出ツヘシ中家事ヲ擔當スル者家族ナキ者ニシテ前項ノ事故ヲ生シタルトキハ市町村長ヨリ聯隊區司令官ニ通知

スヘシ

第十二條 休職停職ノ將官ヨリ陸軍大臣ニ差出ス願届書ハ師團長ヲ經由シ佐官以下

ノ將校又ハ其ノ戸主若ハ家事擔當者ヨリ師團長ニ差出ス願届書ハ市町村長及聯隊區司令官ヲ經由シ陸軍大臣ニ差出ス願届書ハ市町村長、聯隊區司令官及師團長ヲ經由スヘシ但シ佐官以下ノ將校ヨリ第十一條ノ二ニ依リ差出ス願届書ハ現住地所管ノ聯隊區司令官及師團長ヲ經由スヘシ

第十二條ノ二 第八條第一項及第二項第九條第一項及第四項第十條第十一條第十一條ノ三第十一條ノ四ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第十二條ノ三 第八條及第九條ノ通報人正當ノ事由ナクシテ軍衙ノ命令ヲ通報セス若ハ其ノ通報ヲ遲緩シタルトキハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處シ又ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第十三條 本款ハ現役將校相當官ニ適用ス

第十四條 將校相當官ノ現役年限年齢ハ左ノ如シ

監督總監

軍醫總監

六十五歲

監督監	軍醫監	六十歲
一二等監督	一二等軍醫正	五十七歲
三等監督		
三等軍醫正	藥劑監	五十四歲
獸醫監		
監督補	一等軍醫	
一等藥劑官	一等獸醫	五十一歲
一等軍吏	樂長	
二三等軍醫	二三等藥劑官	四十八歲
二三等獸醫	二三等軍吏	

第二款 豫備役及後備役

第十五條 豫備役後備役將校ハ本籍所在師管ノ兵籍ニ編入シ師團長ノ管轄ニ屬ス

第十六條 豫備役將校ノ服役期限ハ現役年限ニ充ツル年ノ三月三十一日迄トス

第十七條 後備役將校ノ服役期限ハ豫備役ヨリ轉入シタル者ハ轉入後五箇年現役年限年齡ニ滿テ後備役ニ轉入シタル者ハ現役ヲ退キタル年ヨリ第六年目ノ三月三十

一日迄トシ後備役准士官下士ヨリ士官ニ進級シタル者ハ現役年限年齡ニ滿ツル年ヨリ第六年目ノ三月三十一日迄トス

第十八條 豫備役後備役將校ノ服役期限既ニ滿ツルト雖戰時或ハ事變ニ際スルトキ若クハ航海中或ハ外國駐劄中ハ其期限ヲ延ハスコトアルヘシ

第十九條 第三條第四條第十八條ニ依リ留任ヲ命シ又ハ服役ヲ延期シタル者ト雖服役年期ノ計算ハ留任セサル者又ハ服役ヲ延期セサル者ニ同シ

第二十條 豫備役後備役將校服役滿期ニ至リタルトキハ辭令ヲ用キスシテ豫備役ハ後備役ニ後備役ハ退役ニ入ルモノトス

第二十一條 豫備役後備役將校ハ滿期後引續キ服役スルコトヲ得志願ノ者ハ年數ヲ定メ陸軍大臣ニ願出ヘシ

第二十二條 豫備役後備役將校傷痍若クハ疾病ニ由リ永久服役ニ堪ヘスト思惟スルトキハ陸軍醫官ノ診斷證書若クハ地方醫師ノ病況書ヲ添ヘ退役ヲ陸軍大臣ニ願出ヘシ

第二十三條 豫備役後備役將校ハ現役將校同等官ノ次席トス

第二十四條 豫備役後備役將校ハ召集ニ應スルトキ及朝拜參賀公私ノ儀式祭典其ノ他廉アル宴會等ノ場所ニ列スルトキハ陸軍ノ制服ヲ著スルモノトス但文官ニ任セラレタル者ハ召集ノ場合ヲ除クノ外文官ノ制服ヲ著スルモ妨ケナシ

第二十五條 豫備役後備役將校ハ戰時若クハ事變ニ際シ之ヲ召集ス平常ニ在テハ勤務演習ノ爲メ召集ス

第二十六條 豫備役後備役將校ニシテ文官ニ任セラレ餘人ヲ以テ代フヘカラサル職務ヲ奉スル者、外國ニ在ル者及市町村長、助役、收入役ト爲ル者ハ勤務演習ノ爲メ召集スルコトナシ法律ヲ以テ設立シタル議會ノ議員ト爲ル者其ノ開會中亦同シ

第二十七條 豫備役後備役將校ニシテ他ノ師管ニ寄留シ該師管ニ於テ勤務演習ヲ爲サント欲スル者ハ師團長ニ願出テ其ノ許可ヲ受ケタルトキハ寄留地到着後寄留後書受領後三日以内ニ豫備役後備役編入年、現官ニ任セラレタル年月及嘗テ勤務演習ヲ爲シタル年月ヲ記シ寄留地ノ師團長ニ届出ヘシ

第二十八條 豫備役後備役將校ニシテ止ムヲ得サル事故アリ勤務演習召集ノ猶豫ヲ願フ者ハ其事實ヲ證明シ師團長ノ許可ヲ請フヘシ

第二十九條 現役ヨリ豫備役若クハ後備役ニ入ル將校歸郷シタルトキハ十四日以内ニ師團長ニ届出ヘシ

從前ノ在職地若クハ其ノ他ノ地ニ一箇月以上滞在若クハ寄留セント欲スルトキ若クハ歸郷旅行日數一箇月以上ヲ要スルトキハ本籍市町村ニ於テ召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者成年者ニ限ルヲ定メ師團長ニ届出テ歸郷シタルトキハ前項ノ届出ヲ爲スヘシ

前項ノ滞在地若クハ寄留地本籍地外ノ師管ニ係ルトキハ其ノ地ノ師團長ニモ届出ヘシ其ノ本籍ニ復歸シ若クハ寄留替ヲ爲サントスルトキ亦同シ

第三十條 豫備役後備役將校十四日以上旅行或ハ寄留セントスルトキハ本籍市町村ニ於テ召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者成年者ニ限ルヲ定メ師團長ニ届出テ歸郷シタルトキハ十四日以内ニ師團長ニ届出ヘシ

前項ノ寄留地本籍地外ノ師管ニ係ルトキハ其ノ地ノ師團長ニモ届出ヘシ其ノ本籍ニ復歸シ若クハ寄留替ヲナサントスルトキ亦同シ

外國ニ在ル者召集ノ通報ヲ受ケ又ハ其ノ他ノ手續ニ依リ充員召集ノ舉アルコトヲ確知シタルトキハ直ニ歸朝シ本籍地到着後二十四時以内ニ師團長ニ届出ヘシ

第三十一條 豫備役後備役將校兵籍上異動ヲ生シタルトキハ十四日以内ニ師團長ニ届出ヘシ但他ノ師管ニ戸籍ヲ轉換シタルトキハ新舊所管ノ師團長ニ届出ヘシ

第三十二條 豫備役後備役將校ニシテ市町村長、助役、收入役ト爲リ又ハ法律ヲ以テ設立シタル議會ノ議員ト爲リタルトキ竝ニ之ヲ罷メタルトキハ十四日以内ニ師團長ニ届出ヘシ

第三十三條 豫備役後備役將校ニシテ死亡又ハ所在不明ノ者アルトキ及所在不明中戸籍ヲ轉換シタルトキハ其ノ戸主本人戸主ナレハ家族ヨリ十四日以内ニ師團長ニ届出ヘシ所在不明者ノ歸郷シタルトキ若クハ踪跡ヲ知得シタルトキ亦同シ但他ノ師管ニ戸籍ヲ轉換シタルトキハ新舊所管ノ師團長ニ届出ヘシ

家族ナキ者ニシテ前項ノ事故ヲ生シタルトキハ市町村長ヨリ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第三十四條 豫備役後備役將校重罪輕罪罰金ヲ除クノ刑ニ處セラレタルトキハ刑名及刑期ヲ記シ其ノ戸主本人戸主ナレハ家族ヨリ十四日以内ニ師團長ニ届出ヘシ中家事ヲ擔當スル者

家族ナキ者ニシテ前項ノ事故ヲ生シタルトキハ市町村長ヨリ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第三十五條 豫備役後備役將官ヨリ陸軍大臣ニ差出ス願書ハ師團長ヲ經由シ佐官以下ノ將校又ハ其ノ戸主若ハ家事擔當者ヨリ師團長ニ差出ス願書ハ市町村長及聯隊區司令官ヲ經由シ陸軍大臣ニ差出ス願書ハ市町村長、聯隊區司令官及師團長ヲ經由スヘシ

第三十六條 第二十七條第二十九條第一項及第二項第三十條第一項及第三項第三十一條乃至第三十四條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第三十七條 第二十九條第三十條ノ通報人正當ノ事由ナクシテ召集ノ命ヲ通報セス若クハ其ノ通報ヲ遲緩シタル者ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第三十八條 本款ハ豫備役後備役ノ將校相當官ニ適用ス

第二章 准士官ノ服役

第三十九條 本章ニ於テ准士官ト稱スルハ步騎砲工輜重兵特務曹長、砲工兵上等工長及樂長補ヲ謂フ

第四十條 削除

第四十一條 准士官ノ現役定限年齢ハ左ノ如シ

砲工兵上等工長 五十一歳

樂長補 四十八歳

步騎砲工輜重兵特務曹長 三十四歳

第四十二條 現役定限年齢ニ滿タサルモ服役十一年以上ニシテ現役ニ堪ヘサル者ハ所管長官旨ヲ論シテ現役ヲ退カシムルコトアルヘシ

第四十三條 特務曹長ハ現役定限年齢ニ滿タサルモ正當ノ事故アルトキハ陸軍大臣

本人ノ願ニ依リ現役ヲ免シ豫備役ニ服セシムルコトヲ得

第四十四條 特務曹長ハ現役定限年齢ニ滿テ現役ヲ退キタルトキハ豫備役ニ豫備役終ルノ後ハ後備役ニ服セシム

第四十五條 豫備役後備役特務曹長ノ服役年期ハ豫備役ニ在テハ現役定限年齢ニ滿ツル年ヨリ第六年目ノ三月三十一日迄トシ後備役ニ在テハ豫備役滿期後五箇年トス

第四十六條 豫備役後備役砲工兵上等工長及豫備役後備役樂長補ノ服役年期ハ豫備役ニ在テハ現役定限年齢ニ滿ツル年ノ三月三十一日迄トシ後備役ニ在テハ現役定限年齢ニ滿ツル年ヨリ第六年目ノ三月三十一日迄トス

第四十七條 准士官ノ現役豫備役後備役服役ニ關スル諸般ノ事項ニ就テハ第一章第二條第五條第十三條第十四條第十六條第十七條第三十八條ヲ除クノ規定ヲ適用ス但第二十一條ノ願書ハ師團長ニ差出スモノトス

第四十八條 豫備役後備役ノ下士ヨリ特務曹長ニ進級シタル者ノ服役年期ハ豫備役ニ在テハ現役定限年齢ニ滿ツル年ヨリ第六年目ノ三月三十一日迄トシ後備役ニ在テハ現役定限年齢ニ滿ツル年ヨリ第十一年目ノ三月三十一日迄トス

第三章 下士ノ服役

第一款 通則

第四十九條 下士ノ服役ハ十二箇年四箇月トシ之ヲ分チ現役豫備役及後備役トス其ノ服役ヲ終リタルトキハ第一國民兵役ニ服セシム

第五十條 各兵役期限既ニ滿ツルト雖戰時或ハ事變ニ際スルトキ若クハ臨時ニ演習或ハ觀兵ノ舉アルトキ若クハ航海中或ハ外國駐劄中ハ其ノ期限ヲ延ハスコトアルヘシ其ノ服役年期ノ計算ハ延期セサル者ニ同シ

第五十一條 現役ヲ離ルルトキ服役十二箇年四箇月ヲ過キ豫備役後備役ニ服セサル者及事故ニ由リ常備後備ノ役若クハ兵役ヲ免スル者ハ同時ニ其ノ官ヲ免シ後備役滿期ノ者ハ別ニ辭令ヲ用キシテ其ノ官消滅スルモノトス

第二款 現役

第五十二條 現役下士ハ所屬部隊ノ兵籍ニ編入シ現役期限滿ツル迄服役セシム

第五十三條 隊附現役下士ハ營内ニ居住セシムルヲ例トス

憲兵科下士、計手及軍樂部下士ハ總テ之ヲ營外ニ居住セシメ諸工長及衛生部下士ハ人員ヲ限リ營外ニ居住セシム

警備隊附下士ニシテ其ノ警備隊區在籍ノ者ハ外泊ヲ許スコトアルヘシ

第五十四條 現役下士ノ服役期限ハ左ノ如シ

- 一 各兵科及衛生部下士候補生 兵卒ヲ除ク ヨリ下士ニ任セラレタル者ハ任官ノ月ヨリ四箇年

- 二 憲兵科下士ハ前服役年月ヲ通算シ六箇年

- 三 砲兵工長、蹄鐵工長、縫工長、靴工長候補生 兵卒ヲ除ク ヨリ諸工長ニ任セラレタル

者ハ任官ノ月ヨリ四箇年

- 四 軍樂部下士ハ樂手補ヲ命セラレタル月ヨリ五箇年

五 步騎砲工輜重兵科上等兵及看護手ヨリ下士ニ任セラレタル者ハ入隊ノ月ヨリ三箇年

前項第一號乃至第四號ニ當ル者ヲ長期下士トシ第五號ニ當ル者ヲ短期下士トス

第五十五條 下士ハ現役滿期ノ後現役定限年齢ニ滿ツル迄ハ數次再服役ヲ爲スコトヲ得

第五十六條 下士ノ現役定限年齢ハ左ノ如シ

諸工長

四十八歲

憲兵科下士

衛生部下士

四十五歲

軍吏部下士ヲ除ク

軍樂部下士

步騎砲工輜重兵科下士ヲ除ク

諸工長

四十歲

第五十七條 再服役年期ハ一箇年以上トス但シ第五十四條第五ニ當ル者ニ在テハ初

度ニ限リ三箇年ヲ以テ一期トス

前項但書ニ當ル者ハ之ヲ長期下士トス

第五十八條 再服役ハ中隊ニ在テハ其所屬中隊長憲兵分隊ニ在テハ分隊長、軍ニ出

願シ該中隊長ハ順序ヲ經テ聯隊長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ請フヘ

シ

諸本部諸官廨ニ在テハ直屬長官ニ出願スヘシ但直屬長官聯隊長ト同等ノ權ナキト

キハ聯隊長同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ請フヘシ

衛生部軍吏部下士ノ再服役ハ聯隊長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官ヨリ當該監督

部長若クハ軍醫部長ニ豫メ協議スヘシ

再服役ヲ許可シタルトキハ誓約書ヲ中隊長若クハ直屬長官ニ出サシム

第五十九條 再服役許可ノ後轉隊若クハ轉職シタルトキハ其ノ誓約書ヲ新所屬ノ中

隊長若クハ直屬長官ニ移スヘシ

第六十條 現役中本人ヲ要スルニ非サレハ一家ノ生計ヲ營ミ難キ事故ヲ生スルトキ

ハ本人ノ願ニ依リ現役ヲ免スルコトヲ得

第六十一條 現役中傷痍若クハ疾病ニ由リ現役ニ堪ヘ難キ者ハ現役ヲ免ス

第六十二條 現役中傷痍若クハ疾病ニ由リ常備後備ノ役ニ堪ヘ難キ者ハ其ノ役ヲ免シ永久服役ニ堪ヘ難キ者ハ兵役ヲ免ス

第六十三條 憲兵下士ニシテ素行修マラサル者ハ特ニ現役ヲ免ス

第六十四條 憲兵下士其ノ職務ヲ辱シムルニ依リ懲罰ノ處分ヲ受ケ其ノ情重キモノハ陸軍懲罰令ノ規定ニ拘ハラス官ヲ免スルコトヲ得

第六十五條 現役ヲ離ルルトキ其ノ服役シタル年月ヲ通算シ七年四箇月ニ滿タサル者ハ豫備役ニ十二年四箇月ニ滿タサル者ハ後備役ニ服セシム

第六十六條 第六十二條ニ依リ常備後備ノ役ヲ免シタル者ハ第一國民兵役ニ服セシム

下士ニシテ禁錮ノ刑ニ處セラレ官ヲ失ヒ又ハ陸軍懲罰令若クハ第六十四條ニ依リ官ヲ免セラレタル者ハ歩騎砲工輜重兵科ニ在テハ當該兵科ノ一等卒ト爲シ憲兵科及各部ニ在テハ前兵科前兵科ナキ者ハ歩兵科ノ一等卒ト爲シ其ノ服役シタル年月ヲ通算シ三箇年ニ滿タサル者ハ三箇年ニ滿ツル迄現役ニ服セシメ三箇年ヲ過クル者ハ前條ノ

例ニ依リ豫備役又ハ後備役ニ服セシメ十二箇年四箇月ヲ過クル者ハ第一國民兵役ニ服セシム

第六十七條 現役下士ニシテ其ノ服役七箇年四箇月若クハ十二箇年四箇月ノ後尙豫備役若クハ後備役ニ服センコトヲ志願スル者ハ其ノ年數ヲ定メ現役滿期ノ際聯隊長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官ニ願出ヘシ但シ豫備役ハ現役定限年齢ニ滿ツル年ノ三月三十一日後備役ハ滿五十歳トナル年ノ三月三十一日ヲ以テ終期トス聯隊長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官前項ノ服役ヲ許可シタルトキハ本人所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第六十八條 第六十條乃至第六十四條ニ當ル者アルトキハ聯隊長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官ハ師團長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ請ヒ現役、常備後備役又ハ兵役ヲ免ス但師團長及之ト同等以上ノ權アル長官ニ在テハ自ラ之ヲ處分ス

衛生部軍吏部下士ニ在テハ聯隊長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官ヨリ當該監督

部長又ハ軍醫部長ニ移シ監督部長軍醫部長ハ經理局長又ハ醫務局長ノ認可ヲ請ヒ現役、常備後備役又ハ兵役ヲ免ス但經理局所属官衙ニ在テハ該局長自ラ之ヲ處分ス

第六十九條 現役中禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ逃亡シタル者ハ其ノ刑期中及逃亡中ノ日數ハ現役服役年期ニ算入セス

第三款 豫備役及後備役

第七十條 豫備役後備役下士ハ本籍所在師管ノ兵籍ニ編入シ聯隊區司令官ノ管轄ニ屬ス

第七十一條 豫備役下士ノ服役期限ハ其ノ服役シタル年月ヲ通算シ七箇年四箇月トス

七十二條 後備役下士ノ服役期限ハ豫備役滿期ノ後五箇年トス但七箇年四箇月以上現役ニ服シ直ニ後備役ニ入ル者ハ其服役シタル年月ヲ通算シ十二箇年四箇月トス

第七十三條 豫備役後備役下士服役滿期ニ至リタルトキハ別ニ辭令ヲ用キスシテ豫備役ハ後備役ニ後備役ハ第一國民兵役ニ入ルモノトス

第七十四條 豫備役後備役下士滿期後引續キ服役セント欲スルトキハ年數ヲ定メ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ願出ヘシ但シ豫備役ハ現役定限年齡ニ滿ツル年ノ三月三十一日後備役ハ滿五十歳トナル年ノ三月三十一日ヲ以テ終期トス

第七十五條 豫備役後備役下士傷痍若クハ疾病ニ由リ豫備後備ノ役ニ堪ヘ難キ者ハ第一國民兵役ニ服セシメ永久服役ニ堪ヘ難キ者ハ兵役ヲ免ス

在郷中傷痍若クハ疾病ニ由リ永久服役ニ堪ヘスト思惟スルトキハ陸軍醫官ノ診斷證書若クハ地方醫師ノ病況書ヲ添ヘ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ
第一項ニ當ル者アルトキハ聯隊區司令官ハ師團長ノ認可ヲ請ヒ豫備後備役又ハ兵役ヲ免ス但シ召集中ニ在テハ聯隊長若ハ之ト同等以上ノ權アル長官第六十八條ノ例ニ依リ處分シ本籍所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第七十五條ノ二 豫備役後備役憲兵下士召集中其ノ職務ヲ辱シムルニ依リ懲罰ノ處

分ヲ受ケ其ノ情重キモノハ陸軍懲罰令ノ規定ニ拘ラス官ヲ免スルコトヲ得

第七十五條ノ三 豫備役後備役下士ニシテ禁錮ノ刑ニ處セラレ官ヲ失ヒ又ハ陸軍懲

罰令若ハ前條ニ依リ官ヲ免セラレタル者ハ步騎砲工輜重兵科ニ在テハ當該兵科ノ

一等卒ト爲シ憲兵科及各部ニ在テハ前兵科前兵科ナキ者ハ歩兵科ノ一等卒ト爲ス

第七十六條 豫備役後備役下士ハ戰時若クハ事變ニ際シ之ヲ召集ス平常ニ在テハ每

年一度簡閱點呼ヲ爲シ又勤務演習ノ爲メ召集ス

第七十七條 豫備役後備役下士ニシテ文官ニ任セラレ餘人ヲ以テ代フヘカラサル職

務ヲ奉スル者、外國ニ在ル者及市町村長、助役、收入役トナル者ハ勤務演習簡閱點

呼ノ爲メ召集スルコトナシ法律ヲ以テ設立シタル議會ノ議員ト爲ル者其ノ開會中

亦同シ

第七十八條 豫備役後備役下士願ニ依リ寄留地ニ於テ簡閱點呼ヲ受クルコトヲ得

一箇年以上他ノ師管ニ寄留スル者ハ願ニ依リ寄留地師管ニ於テ勤務演習ヲ爲スコ

トヲ得

前二項ニ依リ願出ル者ハ其ノ願書ニ本籍市町村長ノ與書證印ヲ受ケ聯隊區司令官

ニ差出スヘシ但許可ヲ受ケタルトキハ寄留地到着後寄留後出願ノ者三日以内ニ豫

備役後備役編入年、現官ニ任セラレタル年月及嘗テ勤務演習ヲ爲シタル年月ヲ記

シ其ノ由ヲ寄留地市町村長ヲ經テ同地聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第七十九條 豫備役後備役下士ニシテ止ムヲ得サル事故アリ勤務演習召集ノ猶豫若

クハ簡閱點呼ノ免除ヲ願ハント欲スルトキハ其ノ願書ニ市町村長ノ與書證印ヲ受

ケ聯隊區司令官ニ差出スヘシ

第八十條 現役ヨリ豫備役若クハ後備役ニ入ル下士ハ十四日以内ニ從前ノ在職地ヲ

出發シ一日行程十二里詰ヨリ抄カラサル日數間ニ歸郷シ著後十四日以内ニ市町村

長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

從前ノ在職地若クハ其ノ他ノ地ニ十五日以上滞在若クハ寄留セントスルトキハ前

項ノ出發期日內ニ本籍市町村ニ於テ召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者成年者ニ限ルヲ

定メ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出テ歸郷シタルトキハ前項ノ届出ヲ爲スヘ

シ
前項ノ滞在_シ地若クハ寄留地本籍地外ノ聯隊區ニ係ルトキハ其ノ地ノ市町村長ヲ經テ同地聯隊區司令官ニモ届出ヘシ其ノ本籍ニ復歸シ若クハ寄留替ヲ爲サントスルトキ亦同シ

第八十一條 豫備役後備役下士十四日以上旅行或ハ寄留セントスルトキハ本籍市町村ニ於テ召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者_{成年者ニ限ル}ヲ定メ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出テ歸郷シタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ
前項ノ寄留地本籍地外ノ聯隊區ニ係ルトキハ寄留地市町村長ヲ經テ同地聯隊區司令官ニモ届出ヘシ其ノ本籍ニ復歸シ若クハ寄留替ヲ爲サントスルトキ亦同シ
外國ニ在ル者召集ノ通報ヲ受ケ又ハ其ノ他ノ手續ニ依リ充員召集ノ舉アルコトヲ確知シタルトキ直ニ歸朝シ本籍地到着後二十四時以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第八十二條 豫備役後備役下士兵籍上異動ヲ生シタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ但_シ他ノ聯隊區ニ戶籍ヲ轉換シタルトキハ新舊所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第八十三條 豫備役後備役下士ニシテ市町村長、助役、收入役ト爲リ又ハ法律ヲ以テ設立シタル議會ノ議員ト爲リタルトキ竝ニ之ヲ罷メタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第八十四條 豫備役後備役下士ニシテ死亡又ハ所在不明ノ者アルトキ及所在不明中戶籍ヲ轉換シタルトキハ其ノ戶主_{本人戶主ナレハ家族中家事ヲ擔當スル者}ヨリ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ所在不明者ノ歸郷シタルトキ若クハ踪跡ヲ知得シタルトキ亦同シ但_シ他ノ聯隊區ニ戶籍ヲ轉換シタルトキハ新舊所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

家族ナキ者ニシテ前項ノ事故ヲ生シタルトキハ市町村長ヨリ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第八十五條 豫備役後備役下士重罪輕罪罰金ヲノ刑ニ處セラレタルトキハ刑名及刑期ヲ記シ其ノ戸主本人戸主ナレハ家族ヨリ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

家族ナキ者ニシテ前項ノ事故ヲ生シタルトキハ市町村長ヨリ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第八十六條 豫備役後備役中犯罪ノ爲メ又ハ正當ノ事由ナクシテ召集ヲ缺キタル者其ノ召集ヲ缺キタル年ハ服役年期ニ算入セス

第八十七條 第七十八條第三項但書第八十條第一項及第二項第八十一條第一項及第三項第八十二條乃至第八十五條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第八十八條 第八十條第八十一條ノ通報人正當ノ事由ナクシテ召集ノ命ヲ通報セス若クハ其ノ通報ヲ遅緩シタル者ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第四章 兵役ノ服役

第一款 通則

第八十九條 本章中ノ兵卒又ハ兵ニハ雜卒及職工ヲ包含ス

第九十條 徵兵令第七條第十六條第二十四條第二十九條第一項但書及第三項ノ規定ハ憲兵上等兵、樂手補及下士ニシテ官ヲ失ヒ若クハ官ヲ免セラレ一等卒ト爲リタル者竝ニ第百六十條ノ兵卒ニ適用ス

第九十一條 憲兵上等兵、樂手補ノ服役期限ハ十二箇年四箇月トシ之ヲ分テ現役豫備役及後備役トス其ノ服役終リタルトキハ第一國民兵役ニ服セシム

第九十二條 兵卒ハ年齡四十歳ヲ以テ服役ノ終期トス但第百三十二條ニ依リ服役スル者ハ滿四十五歳トナル年ノ三月三十一日ヲ以テ終期トス

第二款 現役

第九十三條 現役兵ハ入隊ノ日ヨリ其ノ隊ノ兵籍ニ編入シ現役期限滿ツル迄服役セシム

第九十四條 現役兵ハ營内ニ居住セシムルヲ例トス

憲兵上等兵、樂手補ハ營外ニ居住セシム

樂生中品行方正勤務勉勵技藝熟達且樂生ヲ命セラレタル日ヨリ一箇年以上精勤セシ者ハ營外ニ居住セシムルコトアルヘシ

第九十五條 憲兵上等兵ノ現役期限ハ前服役年月ヲ通算シ六箇年トス

第九十六條 砲兵助卒、砲兵輸卒、輜重輸卒及看護卒ノ現役期限ハ二箇年四箇月トシ砲兵助卒ハ一箇年間、砲兵輸卒ハ四箇月間、輜重輸卒ハ三箇月間看護卒ハ四箇月間在營ノ後歸休セシム

戰時若クハ事變ニ際スルトキ其ノ他必要ノ場合ニハ在營期限ヲ伸縮スルコトアルヘシ

第九十七條 樂手補ノ現役期限ハ樂手補ヲ命セラレタル月ヨリ五箇年トス

第九十八條 警備隊現役兵ハ一箇年間在營ノ後歸休セシム

第九十九條 警備隊現役兵中上等兵タルノ技能ヲ有スル者及上等兵、看護手ニシテ志願ノ者ハ尙一箇年間在營セシムルコトヲ得

警備隊上等兵及看護手中下士タルノ技能ヲ有スル者及縫工、靴工ニシテ志願ノ者ハ現役期限滿ツル迄在營セシムルコトヲ得

第一百條 步騎砲工輜重兵卒看護手及縫工靴工ニシテ下士タルノ技能ヲ有スル者ハ現役滿期ノ後二箇年ヲ一期トシ再服役ヲ爲スコトヲ得其ノ下士ニ任セラレタル者ハ之ヲ長期下士トス

憲兵上等兵、樂手補及警備隊縫工、靴工ハ現役滿期ノ後現役定限年齡ニ滿ツル迄數次再服役ヲ爲スコトヲ得其ノ再服役年期ハ一箇年以上トス
前二項ノ再服役ニ關シテハ第五十八條及第五十九條ヲ適用ス

第一百一條 兵卒ノ現役定限年齡ハ左ノ如シ

憲兵上等兵 雜卒 職工 四十歲

步騎砲工輜重兵卒 三十五歲

第一百二條 現役中本人ヲ要スルニアラサレハ家族自活シ能ハサル事故ヲ生スルトキハ其ノ家族ノ願ニ依リ現役ヲ免ス

第百三條 現役中傷痍若クハ疾病ニ由リ一時服役ニ堪ヘ難キ者ハ現役ヲ免ス

第百四條 現役中傷痍若クハ疾病ニ由リ常備後備ノ役ニ堪ヘ難キ者ハ其ノ役ヲ免シ
永久服役ニ堪ヘ難キ者ハ兵役ヲ免ス

第百四條ノ二 第百條第一項ニ依リ再服役ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ軍紀ヲ紊リ又
ハ其ノ他ノ事故ニ由リ下士タルヲ得ヘカラスト認メタル者ニ付テハ其ノ許可ヲ取
消ス

第百五條 憲兵上等兵役中左ニ掲クル事項ニ當ル者ハ其ノ職ヲ免ス

- 一 職務ヲ辱シムルニ由リ懲罰ノ處分ヲ受ケ其ノ情重キトキ
- 二 素行修マラス屢懲罰ノ處分ヲ受ケ又ハ上官ノ説諭ヲ受クルモ改悛ノ狀ナキ

トキ

第百六條 現役ヲ離ルルトキ其ノ服役シタル年月ヲ通算シ七年四箇月ニ滿タサル者
ハ豫備役ニ十二年四箇月ニ滿タサル者ハ後備役ニ服セシム

第百七條 第百二條第百三條ニ當ル者軍隊第一期ノ教育ヲ卒ラサル前ニ在テハ第二

補充兵役ニ服セシム其ノ服役年期ハ前役ヲ通シテ一年四箇月トス

第百四條ニ依リ常備後備ノ役ヲ免セラレタル者ハ第一國民兵役ニ服セシム但シ軍
隊第一期ノ教育ヲ卒ラサル前ニ在テハ第二國民兵役ニ服セシム

第百八條 上等兵、看護手及樂手補ニシテ禁錮ノ刑ニ處セラレ職ヲ失ヒ又ハ陸軍懲
罰令若クハ第百五條ニ依リ職ヲ免セラレタル者ハ歩騎歩工輜重兵科ニ在テハ當該
兵科ノ一等卒ト爲シ憲兵上等兵、看護手及樂手補ニ在テハ前兵科前兵科ナキ者ハ歩兵科ノ一

等卒ト爲シ其ノ服役シタル年月ヲ通算シ三箇年ニ滿タサル者ハ三箇年ニ滿ツル迄
現役ニ服セシメ三箇年ヲ過クル者ハ第百六條ノ例ニ依リ豫備役又ハ後備役ニ服セ
シメ十二箇年四箇月ヲ過クル者ハ第一國民兵役ニ服セシム

第百九條 第百二條ニ依リ免役ヲ願出テントスル者ハ其ノ願書ニ同徵募區内現役兵
ノ戶主憲兵上等兵、樂手補ハ近鄰ノ戶主 二名ノ保證書ヲ添ヘ島司郡市長ヲ經テ聯隊區司令官ニ差

出スヘシ但町村ニ於テハ町村長ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス
島司郡市長ハ其ノ事實ヲ審覈シ狀況書ヲ作り願書ト共ニ聯隊區司令官ニ送附シ聯

隊區司令官ハ之ニ意見ヲ附シ願書ト共ニ本人所屬ノ聯隊長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官ニ移スヘシ

第一百條 第一百二條乃至第一百五條ニ當ル者アルトキハ聯隊長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官ハ師團長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ請ヒ現役、常備後備役、兵役ヲ免シ若ハ再服役ノ許可ヲ取消シ又ハ憲兵上等兵ヲ免ス

歸休兵中第百三條第百四條ニ當ル者アルトキハ聯隊區司令官ハ師團長ノ認可ヲ請ヒ現役、常備後備役又ハ兵役ヲ免ス但シ召集中ニ在テハ聯隊長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官前項ノ例ニ依リ處分シ本籍所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第一百一條 憲兵上等兵、樂手補現役中禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ逃亡シタルトキハ其ノ刑期中逃亡中ノ日數ハ服役年期ニ算入セス

第十二條 現役中徵兵令第十五條ニ依リ歸休ヲ命スヘキ者ハ二箇年以上服役シタル者ニ限ル但警備隊兵卒、砲兵助卒ハ八箇月以上在營シタル者ニ限ル歸休ヲ命スヘキ人員ハ陸軍大臣上裁ヲ經テ之ヲ定ム

第十三條 歸休兵ハ本籍所在師管ノ兵籍ニ編入シ聯隊區司令官ノ管轄ニ屬ス

第十四條 歸休兵在郷中現役滿期ニ至リタルトキハ別ニ命ナクシテ豫備役ニ入ルモノトス

第十五條 歸休兵在郷中傷痍若クハ疾病ニ由リ永久服役ニ堪ヘスト思惟スルトキハ陸軍醫官ノ診斷證書若クハ地方醫師ノ病況書ヲ添ヘ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第十六條 歸休兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ之ヲ召集ス平常ニ在テハ毎年一度簡閱點呼ヲ爲シ又演習ノ爲メ若クハ臨時兵員ノ補缺ヲ要スルトキ之ヲ召集ス

第十七條 歸休兵ハ官廳ニ奉職スルコトヲ得但奉職ノ故ヲ以テ召集ヲ猶豫若クハ免除スルコトナシ

第十七條ノ二 歸休兵ハ願ニ依リ寄留地ニ於テ簡閱點呼ヲ受クルコトヲ得又止ムヲ得サル事故アルトキハ簡閱點呼ノ免除ヲ願出ツルコトヲ得一箇年以上他ノ師管ニ寄留スル者ハ願ニ依リ寄留地師管ニ於テ勤務演習ヲ爲スコ

トヲ得

前二項ニ依リ願出ツル者ハ其ノ願書ニ本籍市町村長ノ與書證印ヲ受ケ聯隊區司令官ニ差出スヘシ但シ寄留地ニ於テ勤務演習ヲ爲スノ許可及簡閱點呼ヲ受クルノ許可ヲ受ケタル者ハ寄留地到著後ハ寄留後出願ノ者三日以内ニ其ノ由ヲ寄留地市町村長ヲ經テ同地聯隊區司令官ニ届出ツヘシ

第百十八條 歸休兵ハ退營後七日以内ニ衛戍地ヲ出發シ一日行程十二里詰ヨリ抄カラサル日數間ニ歸郷シ著後七日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ退營後衛戍地若クハ其ノ地ニ八日以上滞在若クハ寄留セントスルトキハ前項ノ出發期日內ニ本籍市町村ニ於テ召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者ニ限ルヲ定メ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出テ歸郷シタルトキハ前項ノ届出ヲ爲スヘシ前項ノ滞在地若クハ寄留地本籍地外ノ聯隊區ニ係ルトキハ其ノ地ノ市町村長ヲ經テ同地聯隊區司令官ニ届出ヘシ其ノ本籍ニ復歸シ若クハ寄留替ヲ爲サントスルトキ亦同シ

第百十九條 歸休兵十四日以上旅行又ハ寄留セントスルトキハ本籍市町村ニ於テ召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者ニ限ルヲ定メ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出テ歸郷シタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ其ノ由ヲ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

前項ノ寄留地本籍地外ノ聯隊區ニ係ルトキハ寄留地市町村長ヲ經テ同地聯隊區司令官ニ届出ヘシ其ノ本籍ニ復歸シ若クハ寄留替ヲ爲サントスルトキ亦同シ

第百二十條 歸休兵ハ外國韓國ヲ除クニ旅行又ハ寄留スルヲ許サス

韓國ニ旅行又ハ寄留スル者ニシテ特別ノ事情アリ勤務演習召集ノ猶豫ヲ願ハント欲スル者ハ其ノ願書ニ市町村長ノ與書證印ヲ受ケ聯隊區司令官ニ差出スヘシ

第百二十一條 歸休兵兵籍上異動ヲ生シタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ但シ他ノ聯隊區ニ戶籍ヲ轉換シタルトキハ新舊所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第百二十二條 歸休兵ニシテ死亡又ハ所在不明ノ者アルトキ及所在不明中戶籍ヲ轉

換シタルトキハ其ノ戸主本人戸主ナレハ家族ヨリ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ所在不明者ノ歸郷シタルトキ若クハ踪跡ヲ知得シタルトキ亦同シ但他ノ聯隊區ニ戸籍ヲ轉換シタルトキハ新舊所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

家族ナキ者ニシテ前項ノ事故ヲ生シタルトキハ市町村長ヨリ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第百二十三條 歸休兵重罪輕罪罰金ヲノ刑ニ處セラレタルトキハ刑名及刑期ヲ記シ除ク其ノ戸主本人戸主ナレハ家族ヨリ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ中家事ヲ擔當スル者

家族ナキ者ニシテ前項ノ事故ヲ生シタルトキハ市町村長ヨリ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第百二十五條 歸休兵演習又ハ臨時兵員補缺ノ爲メ召集ノ命ヲ受ケタルトキ傷痍疾病其ノ他ノ事故ニテ召集ニ應ジ難キトキハ傷痍疾病ノ者ハ陸軍醫官ノ診斷證書若

クハ地方醫師ノ病況書其ノ他ノ事故ハ證明書ヲ添ヘ召集期日迄ニ市町村長ノ與書證明ヲ受ケ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第百二十五條 第百十七條ノ二第三項但書第百十八條第一項及第二項第百十九條第一項第百二十一條乃至第百二十四條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第百二十六條 第百十八條第百十九條ノ通報人正當ノ事由ナクシテ召集ノ命ヲ通報セス若クハ其ノ通報ヲ遲緩シタル者及第百二十條第一項ニ違背シタル者ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第百二十七條 削除
第三款 豫備役及後備役

第百二十八條 豫備役後備役兵卒ハ本籍所在師管ノ兵籍ニ編入シ聯隊區司令官ノ管轄ニ屬ス

第百二十九條 豫備役兵卒ノ服役期限ハ其ノ服役シタル年月ヲ通算シ七年四箇月ト

第百三十條 前條ニ依リ豫備役ヲ終リタル者ハ五箇年間後備役ニ服セシム
 七箇年四箇月以上現役ニ服シ直ニ後備役ニ入ル者ノ服役期限ハ其ノ服役シタル年
 月ヲ通算シ十二箇年四箇月トス

第百三十一條 豫備役後備役兵卒服役満期ニ至リタルトキハ別ニ命ナクシテ豫備役
 ハ後備役ニ後備役ハ第一國民兵役ニ入ルモノトス

第百三十二條 豫備役後備役兵卒ニシテ各兵科、衛生部下士適任證書ヲ所持スル者
 ハ満期後引續キ服役スルコトヲ得志願ノ者ハ年數ヲ定メ市町村長ヲ經テ聯隊區司
 令官ニ願出ヘシ

第百三十三條 豫備役後備役兵卒傷痍若クハ疾病ニ由リ豫備後備ノ役ニ堪ヘ難キ者
 ハ第一國民兵役ニ服セシメ永久兵役ニ堪ヘ難キ者ハ兵役ヲ免ス
 在郷中傷痍若クハ疾病ニ由リ永久服役ニ堪ヘスト思惟スルトキハ陸軍醫官ノ診斷
 證書若クハ地方醫師ノ病況書ヲ添ヘ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ願出ヘシ

第一項ニ當ル者アルトキハ聯隊區司令官ハ師團長ノ認可ヲ請ヒ豫備後備役又ハ兵
 役ヲ免ス但シ召集中ニ在テハ聯隊長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官第百十條ノ例
 ニ依リ處分シ本籍所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第百三十三條ノ二 豫備役後備役憲兵上等兵召集中左ニ掲クル事項ニ當ル者ハ其ノ
 職ヲ免ス

- 一 職務ヲ辱シムルニ由リ懲罰ノ處分ヲ受ケ其ノ情重キトキ
- 二 素行修マラス屢懲罰ノ處分ヲ受ケ又ハ上官ノ説諭ヲ受クルモ悛改ノ狀ナキト
 キ

第百三十三條ノ三 豫備役後備役上等兵、看護手及樂手補ニシテ禁錮ノ刑ニ處セラ
 レ職ヲ失ヒ又ハ陸軍懲罰令若ハ前條ニ依リ職ヲ免セラレタル者ハ步騎砲工輜重兵
 科ニ在テハ當該兵科ノ一等卒ト爲シ憲兵、看護手及樂手補ニ在テハ前兵科前兵科
 ナキ者
 ハ歩
 兵科ノ一等卒ト爲ス

第百三十四條 豫備役後備役兵卒ニシテ外國ニ旅行又ハ寄留中ノ者ハ勤務演習簡閱

點呼ノ爲メ召集スルコトナシ

第三百三十五條 豫備役後備役兵卒ハ願ニ依リ寄留地ニ於テ簡閱點呼ヲ受クルコトヲ得
一箇年以上他ノ師管ニ寄留スル者ハ願ニ依リ寄留地師管ニ於テ勤務演習ヲ爲スコ
トヲ得

前二項ニ依リ願出ル者ハ其ノ願書ニ本籍市町村長ノ與書證印ヲ受ケ聯隊區司令官
ニ差出スヘシ但許可ヲ受ケタルトキハ寄留地到着後寄留後出願ノ者三日以内ニ豫
備役後備役編入年ヲ記シ其ノ由ヲ寄留地市町村長ヲ經テ同地聯隊區司令官ニ届出
ヘシ

第三百三十六條 豫備役後備役兵卒ニシテ止ムヲ得サル事故アリ勤務演習召集ノ猶豫
若クハ簡閱點呼ノ免除ヲ願ハント欲スルトキハ其ノ願書ニ市町村長ノ與書證印ヲ
受ケ聯隊區司令官ニ差出スヘシ

第三百三十七條 現役ヨリ豫備役若クハ後備役ニ入ル兵卒ハ七日以内ニ衛戍地ヲ出發
シ一日行程十二里詰ヨリ尠カラサル日數間ニ歸郷シ著後七日以内ニ市町村長ヲ經

テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

衛戍地若クハ其ノ他ノ地ニ八日以上滞在若クハ寄留セントスルトキハ前項ノ出發
期日內ニ本籍市町村ニ於テ召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者成年者ニ限ルヲ定メ市町
村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出テ歸郷シタルトキハ前項ノ届出ヲ爲スヘシ

前項ノ滞在地若クハ寄留地本籍地外ノ聯隊區ニ係ルトキハ其ノ地ノ市町村長ヲ經
テ同地聯隊區司令官ニモ届出ヘシ其ノ本籍ニ復歸シ若クハ寄留替ヲ爲サントスル
トキ亦同シ

第三百三十八條 豫備役後備役兵卒十四日以上旅行或ハ寄留セントスルトキハ本籍市
町村ニ於テ召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者成年者ニ限ルヲ定メ市町村長ヲ經テ聯隊
區司令官ニ届出テ歸郷シタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ
届出ヘシ

前項ノ寄留地本籍地外ノ聯隊區ニ係ルトキハ寄留地市町村長ヲ經テ同地聯隊區司
令官ニモ届出ヘシ其ノ本籍ニ復歸シ若クハ寄留替ヲ爲サントスルトキ亦同シ

外國ニ在ル者召集ノ通報ヲ受ケ又ハ其ノ他ノ手續ニ依リ充員召集ノ舉アルコトヲ
確知シタルトキハ直ニ歸朝シ本籍地到着後二十四時以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區
司令官ニ届出ヘシ

第三百二十九條 豫備役後備役兵卒兵籍上異動ヲ生シタルトキハ十四日以内ニ市町村
長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ但他ノ聯隊區ニ戶籍ヲ轉換シタルトキハ新舊所
管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第四百十條 豫備役後備役兵卒ニシテ市町村長、助役、收入役ト爲リ又ハ法律ヲ以テ
設立シタル議會ノ議員ト爲ルタルトキ並ニ之ヲ罷メタルトキハ十四日以内ニ市町
村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第四百十一條 豫備役後備役兵卒ニシテ死亡又ハ所在不明者アルトキ及所在不明中
戶籍ヲ轉換シタルトキハ其ノ戶主 本人戶主ナレハ家族
中家事ヲ擔當スル者 ヨリ十四日以内ニ市町村長
ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ所在不明者ノ歸郷シタルトキ若クハ踪跡ヲ知得シ
タルトキ亦同シ但他ノ聯隊區ニ戶籍ヲ轉換シタルトキハ新舊所管ノ聯隊區司令官

ニ届出ヘシ

家族ナキ者ニシテ前項ノ事項ヲ生シタルトキハ市町村長ヨリ聯隊區司令官ニ通知
スヘシ

第四百十二條 豫備役後備役兵卒重罪輕罪 罰金ヲ
除ク ノ刑ニ處セラレタルトキハ刑名及
刑期ヲ記シ其ノ戶主 本人戶主ナレハ家族
中家事ヲ擔當スル者 ヨリ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區
司令官ニ届出ヘシ

家族ナキ者ニシテ前項ノ事故ヲ生シタルトキハ市町村長ヨリ聯隊區司令官ニ通知
スヘシ

第四百十三條 第三百二十五條第三項但書第三百二十七條第一項及第二項第三百二十八條
第一項及第三項第三百二十九條乃至第四百二十二條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一
圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第四百十四條 第三百二十七條第三百二十八條ノ通報人正當ノ事由ナクシテ召集ノ命ヲ
通報セス若クハ其ノ通報ヲ遲緩シタル者ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第五章 補充兵ノ服役

第四百十五條 第一補充兵第二補充兵ハ本籍所在師管ノ兵籍ニ編入シ聯隊區司令官ノ管轄ニ屬ス

第四百十六條 補充兵服役滿期ニ至リタルトキハ別ニ命ナクシテ第一補充兵ハ第一國民兵役ニ第二補充兵ハ第二國民兵役ニ入ルモノトス

第四百十七條 補充兵傷痕若クハ疾病ニ由リ補充兵役ニ堪ヘ難キ者ハ第二國民兵役ニ服セシメ永久兵役ニ堪ヘ難キ者ハ兵役ヲ免ス

在郷中傷痕若クハ疾病ニ由リ永久服役ニ堪ヘスト思惟スルトキハ陸軍醫官ノ診斷證書若クハ地方醫師ノ病況書ヲ添ヘ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第一項ニ當ル者アルトキハ聯隊區司令官ハ師團長ノ認可ヲ請ヒ補充兵役又ハ兵役ヲ免ス但シ召集中ニ在テハ聯隊長若ハ之ト同等以上ノ權アル長官第百十條ノ例ニ依リ處分シ本籍所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第四百十八條 第一補充兵ニシテ外國ニ旅行又ハ寄留中ノ者ハ勤務演習簡閱點呼ノ

爲メ召集スルコトナシ

第四百十九條 第一補充兵ハ願ニ依リ寄留地ニ於テ簡閱點呼ヲ受クルコトヲ得

一箇年以上他ノ師管ニ寄留スル者ハ願ニ依リ寄留地師管ニ於テ教育召集ニ應シ及勤務演習ヲ爲スコトヲ得

前二項ニ依リ願出ル者ハ其ノ願書ニ本籍市町村長ノ奧書證印ヲ受ケ聯隊區司令官ニ差出スヘシ但許可ヲ受ケタルトキハ寄留地到着後寄留後出願ノ者三日以内ニ第一補充兵編入年ヲ記シ其ノ由ヲ寄留地市町村長ヲ經テ同地聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第四百十條 第一補充兵ニシテ止ムヲ得サル事故アリ勤務演習召集ノ猶豫若クハ簡閱點呼ノ免除ヲ願ハント欲スルトキハ其ノ願書ニ市町村長ノ奧書證印ヲ受ケ聯隊區司令官ニ差出スヘシ

第四百十一條 補充兵十四日以上旅行或ハ寄留セントスルトキハ本籍市町村ニ於テ召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者成年者ヲ定メ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ

届出テ歸郷シタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ
 前項ノ寄留地本籍地外ノ聯隊區ニ係ルトキハ寄留地市町村長ヲ經テ同地聯隊區司
 令官ニモ届出ヘシ其ノ本籍ニ復歸シ若クハ寄留替ヲ爲サントスルトキ亦同シ
 外國ニ在ル者召集ノ通報ヲ受ケ又ハ其ノ他ノ手續ニ依リ充員召集ノ舉アルコトヲ
 確知シタルトキハ直ニ歸朝シ本籍地到着後二十四時以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區
 司令官ニ届出ヘシ

第五百二十二條 補充兵兵籍上異動ヲ生シタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯
 隊區司令官ニ届出ヘシ但他ノ聯隊區ニ戶籍ヲ轉換シタルトキハ新舊所管ノ聯隊區
 司令官ニ届出ヘシ

第五百二十三條 補充兵ニシテ市町村長、助役、收入役ト爲リ又ハ法律ヲ以テ設立シタ
 ル議會ノ議員ト爲リタルトキ竝ニ之ヲ罷メタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經
 テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第五百二十四條 補充兵ニシテ死亡又ハ所在不明ノ者アルトキ及所在不明中戶籍ヲ轉

換シタルトキハ其ノ戶主本人戶主ナレハ家族
中家事ヲ擔當スル者ヨリ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯
 隊區司令官ニ届出ヘシ所在不明者ノ歸郷シタルトキ若クハ踪跡ヲ知得シタルトキ
 亦同シ但他ノ聯隊區ニ戶籍ヲ轉換シタルトキ新舊所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ
 家族ナキ者ニシテ前項ノ事故ヲ生シタルトキハ市町村長ヨリ聯隊區司令官ニ通知
 スヘシ

第五百二十五條 補充兵重罪輕罪罰金ヲ
除クノ刑ニ處セラレタルトキハ刑名及刑期ヲ記シ
 其ノ戶主本人戶主ナレハ家族
中家事ヲ擔當スル者ヨリ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届
 出ヘシ

家族ナキ者ニシテ前項ノ事故ヲ生シタルトキハ市町村長ヨリ聯隊區司令官ニ通知
 スヘシ

第五百二十六條 第四百九條第三項但書第五百十一條第一項及第三項第五百十二條
 乃至第五百十五條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス
 第五百五十七條 第五百十一條ノ通報人正當ノ事由ナクシテ召集ノ命ヲ通報セス若ク

ハ其ノ通報ヲ遲緩シタル者ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第六章 雜則

第百五十八條 一年志願兵、六週間現役兵及屯田各兵科下士兵卒ノ服役ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ依ル

第百五十九條 一年志願兵ヨリ豫備役ニ轉入シタル士官、准士官及下士兵卒ノ豫備役後備役年期ハ一年志願兵條例ノ規定ニ依ル

第百六十條 士官候補生、見習醫官、見習藥劑官、見習獸醫官及見習軍吏ニシテ各兵科各部ノ下士ニ任セラレ又ハ兵卒ト爲リ豫備役ニ編入セラレタル者ハ其ノ編入年ノ十二月ヨリ起算シ七箇年四箇月間豫備役ニ豫備役終ルノ後五箇年間後備役ニ服セシメ後備役終ルノ後ハ第一國民兵役ニ服セシム

第百六十一條 本條例中特ニ下士兵卒雜卒職工ヲ包含ス以下同シノ服役期限ヲ定メサルモノハ總テ徵兵令ノ規定ニ從フモノトス

第百六十二條 豫備役將校、同相當官一年志願兵ヨリ豫備役將校、同相當官トナリタル者ヲ除クニシテ明治二

十三年勅令第二十四號ニ依リ進級シタル者及豫備役轉入後進級シタル者ノ服役期限ハ前官ノ現役定限年齢ニ依ル現役將校、同相當官ニシテ服役延期中進級シタル者亦同シ

第百六十二條ノ二 本條例ニ於テ兵役期限及年齢ハ曆ニ從ヒ月ヲ以テ算ス

第百六十三條 豫備役後備役將校、同相當官、准士官、下士、兵卒及補充兵ニシテ文官ニ任セラレ若クハ公吏トナリ餘人ヲ以テ代フヘカラサル者又ハ運輸其ノ他ノ業ニ從事シ戰役ニ關シ必要ノ職務ヲ執ル者ハ陸軍大臣上裁ヲ經テ充員召集ヲ猶豫スルコトアルヘシ

第百六十四條 徵兵令第二十四條及本條例第二十六條第七十七條ノ餘人ヲ以テ代フヘカラサル職務ヲ奉スル者ハ豫メ當該官廳ヨリ内閣ニ具狀シ勤務演習及簡閱點呼免除ノ認可ヲ受ケ將校、同相當官及准士官ニ在テハ本人所管ノ師團長ニ下士以下ニ在テハ本人所管ノ聯隊區司令官ニ通報スヘシ其ノ事故止ミタルトキ亦同シ

第百六十五條 本條例ニ依リ在郷軍人補充兵又ハ其ノ戶主若ハ家事擔當者ヨリ町村

長ヲ經テ差出ス願屆書ハ尙島司、郡長ヲ經由スヘシ

本條例ニ依リ町村長ヨリ聯隊區司令官ニ通知スル事項ハ島司、郡長ヲ經由スヘシ

第百六十五條ノ二 臺灣ニ在テ本條例中師團長ノ職務ハ臺灣守備混成旅團長之ヲ行

フ

第百六十五條ノ三 豫備役後備役將校、同相當官及下士、歸休兵、豫備役後備役兵卒、

第一補充兵ニシテ一箇年以上臺灣ニ寄留スル者ハ願ニ依リ同地ニ於テ勤務演習ヲ

爲スコトヲ得

其ノ願出及届出方ハ第二十七條第七十八條第三項第百十七條ノ二第三項第百三十

五條第三項第百四十九條第三項ノ例ニ依ル但シ各條項中師團長及聯隊區司令官ニ

届出ツヘキモノハ臺灣守備混成旅團長ニ届出ツヘシ

前項ノ届出ヲ爲ササル者ニ對シテハ第二十六條第八十七條第百二十五條第百四十

三條第百五十六條ノ罰例ヲ適用ス

附則

第百六十六條 市制町村制ヲ實施セサル地方ニ在テ本條例中市町村長ノ職務ハ區戸

長及之ニ準スヘキ者之ヲ行ヒ郡長ノ職務ハ北海道ニ在テハ北海道廳支廳長之ヲ行

フ

本條例中ノ市町村トアルハ北海道及沖繩縣ノ區ニ該當ス

第百六十七條 陸軍豫備後備將校服役條例、陸軍豫備後備下士兵卒服役條例、陸軍現

役下士上等兵再服役條例、陸軍歸休兵條例及明治二十二年勅令第三十七號ハ本條

例施行ノ日ヨリ廢止ス

第百六十八條 本條例ハ發布ノ日ヨリ施行ス

第百六十九條 豫備役後備役下士、歸休兵、豫備役後備役兵卒、第一補充兵ニシテ臺

灣ニ寄留スル者ニハ當分簡閱點呼ヲ行ハス

第百七十條 明治三十二年十二月一日前任官シタル現役下士再服役ノ者ヲ除クノ服役期限ハ

左ノ如シ

- 一 各兵科各部下士 第二以下ニ掲ニシテ其ノ服役シタル年月六箇年ニ滿タサル者

ハ六箇年ニ滿ツル年ノ十一月三十日迄トシ六箇年ヲ過クル者ハ明治三十三年三月三十一日迄トス

二 教導團及要塞砲兵射擊學校卒業者ヨリ下士ニ任セラレタル者 砲工兵監護及砲ヲ除クハ其ノ入團入校ノ前年十二月ヨリ六箇年トス

三 砲兵工科學校卒業者ヨリ諸工長ニ任セラレタル者ハ任官ノ月ヨリ七箇年

四 經理學校卒業者ヨリ諸工長ニ任セラレタル者ハ入校ノ年ノ十二月 兵卒出身ノ者ハ入隊ノ

年ノ十月ヨリ六箇年トシ六箇年ヲ過クル者ハ明治三十三年三月三十一日迄トス

五 歸鐵工下士ハ入隊ノ月ヨリ六箇年

六 軍樂部下士ハ樂生ヲ命セラレタル月ヨリ七年四箇月

第七十一條 明治三十二年十一月三十日現在ノ現役砲工兵監護及砲臺監守中三十

六歳以上ニシテ曹長ニ轉官ノ者ハ定限年齢ニ拘ラス同年十二月以後五箇年以内再

服役ヲ爲スコトヲ得但シ四十八歳ヲ超ユルヲ得ス

第七十二條 第七十條第七十一條ニ當ル下士及明治三十二年十二月一日前ヨ

リ再服役ノ下士ハ之ヲ長期下士トス

明治三十二年十二月一日前ニ於テ再服役ヲ許サレタル上等兵、看護手及樂手補ニシテ同日以後下士ニ任セラレタル者亦同シ

第七十三條 明治三十二年十二月一日前採用シタル憲兵科及軍樂部現役兵卒 再服

者ヲ除クノ服役期限ハ左ノ如シ

一 憲兵上等兵ニシテ其ノ服役シタル年月ヲ通算シ六箇年ニ滿タサル者ハ六箇年

ニ滿ツル年ノ十一月三十日迄トシ六箇年ヲ過クル者ハ明治三十三年三月三十

一日迄トス

二 樂手補ハ樂生ヲ命セラレタル月ヨリ七年四箇月

第七十四條 明治三十二年十二月一日前轉入シタル豫備役後備役特務曹長ノ服役期限ハ從前ノ規定ニ依ル

第七十五條 明治三十二年十二月一日前轉入シタル豫備役下士及憲兵科軍樂部兵

卒並第七十條第七十三條ノ下士及憲兵科軍樂部兵卒ニシテ同日以後豫備役ニ

轉入スル者ノ服役期限ハ第七十條第七十三條ノ年月ヲ通算シ七箇年ニ滿ツル

年ノ翌年三月三十一日迄トス

明治三十二年十二月一日前ヨリ再服役ヲ爲シ同日以後豫備役ニ轉入スル者ノ服役期限亦前項ニ同シ

第七十六條 明治三十二年十二月一日前轉入シタル後備役下士及憲兵科軍樂部兵卒並第七十條第七十三條第七十五條ノ下士及憲兵科軍樂部兵卒ニシテ同日以後後備役ニ轉入スル者ノ服役期限ハ第七十條第七十三條ノ年月ヲ通算シ十二箇年ニ滿ツル年ノ翌年三月三十一日迄トス

明治三十二年十二月一日ヨリ再服役ヲ爲シ同日以後後備役ニ轉入スル者ノ服役期限亦前項ニ同シ

第七十七條 豫備役後備役上等兵中軍吏部下士適任證書又ハ砲兵工科學校、經理學校卒業證書ヲ所持スル者ハ當分第三百二十二條ニ依リ滿期後引續キ服役スルコトヲ得

附則

本令ハ明治三十二年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍省訓令甲第三號 (明治二十九年六月十六日)

北海道廳 府縣

陸軍服役條例第六十條ニ依リ現役免除ヲ願フ者其事故父兄等ノ死亡處刑若クハ失踪等ハ市町村長 東京市京都市大阪市ニ在テハ區長市制町村制ヲ施行セサル地方ニ在テハ區長及之ニ準スヘキ者ノ證明書癘疾不具等ハ醫師ノ診斷書ヲ具シ其親族ヨリ本人ニ送付セシム

●陸軍省令第三十四號 (明治三十二年十一月十五日)
陸軍召募規則

第一章 總則

第二章 士官候補生及地方幼年學校生徒

第一款 士官候補生

第二款 地方幼年學校生徒

第三章 見習醫官、見習藥劑官、衛生部依託學生、同依託生徒及軍醫學校生徒

第一款 見習醫官、見習藥劑官

第二款 衛生部依託學生、同依託生徒

第三款 軍醫學校生徒

第四章 獸醫部依託學生、同依託生徒

第五章 各兵科下士候補生、蹄鐵工長候補生、衛生部下士候補生

第六章 砲兵工長候補生

第七章 縫工長候補生、靴工長候補生
 第八章 軍樂學校生徒
 附則

陸軍召募規則

第一章 總則

第一條 本則ハ陸軍各兵科現役士官候補生、地方幼年學校生徒、見習醫官、見習藥劑官、衛生部依託學生、同依託生徒、軍醫學校生徒、獸醫部依託學生、同依託生徒、各兵科下士候補生、蹄鐵工長候補生、砲兵工長候補生、衛生部下士候補生、縫工長候補生、靴工長候補生及軍樂學校生徒召募ノ手續ヲ規定スルモノトス

第二條 各兵科現役士官候補生、地方幼年學校生徒、軍醫學校生徒、砲兵工長候補生、縫工長候補生及軍樂學校生徒ノ召募人員ハ陸軍大臣其ノ時時之ヲ告示ス

第三條 左ノ各項ニ該ル者ハ採用セス

一 妻アル者 軍醫學校生徒
 志願者ヲ除ク

二 本人並ニ父若クハ戶主家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ未タ復權ヲ得サル者及

身代限リノ處分ヲ受ケ辨償ノ義務ヲ終ヘサル者

三 禁錮ノ刑ニ處セラレタル者及賭博犯ノ處分ヲ受ケタル者

四 素行修マラサル者及家庭不良ナル者

第四條 志願者ノ年齢及身長左ノ如シ但シ年齢ハ入隊又ハ入校ノ期月 依託學生、依
 ハ採用ヲ以テ之ヲ算ス
 ノ期月

士官候補生
 年齢十八年以上二十三年以下
 身長五尺以上

地方幼年學校生徒
 年齢十三年以上十五年以下
 身長十四年未滿四尺四寸以上十四年以上四尺
 五寸五分以上但戰死及戰傷ニ依リ死歿シ又ハ
 戰役中危難ヲ冒シタルニ起因シテ死歿シタル
 陸海軍將校及同相當官並ニ高等文官ノ孤兒ニ
 在テハ身長本文ノ定限ニ達セサルモ士官候補
 生ト爲ル迄ニ該定限ニ達スヘキ見込アル者

衛生部依託學生同依託生徒
 年齢十八年以上二十八年以下
 身長五尺以上

軍醫學校生徒
 年齢二十年以上三十年以下
 身長五尺以上

三十三年
 二月省令
 第二號參
 看

獸醫部依託學生、同依託生徒

年齡十八年以上二十八年以下
身長五尺以上

各兵科下士候補生

年齡十八年以上二十三年以下
身長砲兵工兵科ハ五尺二寸以上其他ハ五尺以上

諸工長候補生、衛生部下士候補生

年齡十八年以上二十三年以下
身長五尺以上

軍樂學校生徒

年齡十七年以上二十年以下
身長十八年未滿四尺九寸以上十八年以上五尺以上

第五條 入隊又ハ入校期日左ノ如シ

士官候補生

各兵科下士候補生

諸工長候補生

衛生部下士候補生

軍樂學校生徒

地方幼年學校生徒

軍醫學校生徒

十二月一日

九月一日

六月一日

第六條 検査ヲ分テ身體検査及學科試験トシ學科試験ハ身體検査合格者ニ就テ之ヲ行フ

士官候補生志願者中陸軍補充條例第七條第二ニ該ル者ハ學科試験ヲ行ハスト雖學力ノ優劣ヲ判別スル爲メ若干ノ科目ニ就テ檢定試験ヲ行フ

第七條 左ノ各事項ノ一ニ該ル者ハ検査ヲ停止ス但第一ニ該ル者ハ爾後出願スルモ採用セス

一 身體検査、學科試験及檢定試験ノ際不正ノ所爲アリタル者

二 検査場へ規定外ノ物品及筆記類ヲ携帯セシ者

三 身體検査及學科試験ニ缺席又ハ遅刻シタル者

四 學科試験ニ於テ一科目ノ各問題ヲ全ク答解シ能ハサル者

第八條 志願者ハ父兄親族其ノ他一家ヲ爲ス身元確實ノ者二名ヲ以テ保證人ト爲シ願書第一號ニ戶籍ノ謄本及履歷書第二號ヲ添附スヘシ但志願者ハ相互ニ保證人トナルコトヲ得ス

陸軍部内ノ志願者 在郷者ヲ除クニ在テハ身元保證人並ニ戸籍ノ謄本及履歷書ハ之ヲ要セス

第九條 志願者ハ検査期日前検査地ニ到着シ書面ヲ以テ其ノ止宿所ヲ指定ノ場所ニ届出ヘシ但検査地ニ居住ノ者ト雖陸軍部外ノ志願者ニ在テハ本文ニ準シ届出ヘシ

第十條 士官候補生 陸軍部内ノ志願者ヲ除ク 地方幼年學校生徒及軍醫學校生徒ハ新タニ撮影シタル寫眞紙 裏面ニ族籍氏名 一葉ヲ携帶シ検査醫官ニ差出スヘシ

第十一條 學科試験及檢定試験ノ際筆、墨、墨池、小刀、圖引具^{三邊板}ヲ携帶スヘシ其ノ他一切ノ書類筆記類ハ勿論白紙等ヲ携帶スルヲ許サス但圖引具ヲ携帶スルハ士官候補生、地方幼年學校生徒及砲兵工長候補生ニ限ル

第十二條 志願者願書ヲ差出シタル後入隊又ハ入校迄ノ間ニ於テ轉籍、轉住、氏名變更、犯罪、死亡其ノ他願書類ニ記載ノ事項及身元保證人等ニ異動ヲ生スルトキハ本人又ハ身元保證人ヨリ最初願出ノ手續ニ從ヒ速ニ届出ヘシ但陸軍部内ノ志願者ニシテ轉隊、派遣其ノ他本文ノ異動ヲ生スルトキハ部隊長ヨリ報告スヘシ

入隊後若クハ入校後身元保證人ヲ改メントスルトキハ隊長又ハ學校長ニ届出ヘシ

第十三條 入隊又ハ入校ノ命ヲ受ケタル者疾病其ノ他止ムヲ得サル事故ヲ生シ入隊又ハ入校延期ヲ願出テントスルトキハ其ノ願書ニ何日間猶豫ノ旨ヲ記シ疾病ハ醫師ノ診斷書其ノ他ハ市町村長ノ證明書ヲ添ヘ隊長又ハ學校長ニ差出スヘシ

入隊又ハ入校途中ニ於テ前項ノ事故ヲ生シ期日ニ到着シ難キトキハ電信若クハ郵便ヲ以テ隊長又ハ學校長ニ届出ヘシ其ノ事故止ミ入隊又ハ入校スルトキ疾病ハ醫師ノ診斷書其ノ他ハ市町村長若クハ船長等ノ證明書ヲ以テ更ニ届出ヘシ

第一項及第二項ノ事故ニテ入隊又ハ入校期日ヨリ二十日以内ニ到着セサル者ハ除名スルコトアルヘシ

第十四條 入隊又ハ入校ヲ命セラレタル者故ナク出發ヲ遲延シ若クハ無届ニテ期日ニ到着セス又ハ自己ノ不注意ヨリ期日ニ後レタル者ハ入隊又ハ入校スルヲ許サス

第十五條 陸軍部外及一年志願兵ヨリ志願ノ者ハ検査ノ爲メ往復及滞在ノ費用並ニ其ノ採用後入隊又ハ入校迄ノ費用ハ一切自辨トス但各兵科下士候補生、諸工長候

補生、衛生部下士候補生及軍樂學校生徒ニ採用セラレタル者ニハ其ノ居住地檢査ノ居ヨリ入隊又ハ入校地迄ノ里程ニ應シ旅費ヲ官給ス然レトモ自己ノ便宜ヲ以テ入隊又ハ入校期日前早著シ滞在スル者ニ對シテハ之ヲ増給セス

第十六條 將校生徒試験臨時委員及其ノ他ノ試験官ハ特ニ左ノ各項ヲ遵守スヘシ

一 試験ノ日割及順序ハ一切之ヲ變更セス

二 第七條ニ該ル者アルトキハ本人ノ檢査ヲ停止ス

三 試験問題ニ付キ受験者ノ質問ニ説明ヲ與ヘス

第十七條 將校生徒試験臨時委員及其ノ他ノ試験官ハ試験書類ニ左ノ報告書ヲ添附スヘシ

一 試験ノ景況

二 受験者ノ品格

三 試験ニ關スル意見

第十八條 本則中聯隊區司令官トアルハ警備隊區ニ在テハ警備隊司令官若クハ警備

隊區司令官、郡長トアルハ島廳ヲ置ク島嶼ニ在テハ島司、北海道ニ在テハ支廳長、市長トアルハ東京市、京都市、大阪市及市制町村制ヲ施行セサル地方ノ區ニ在テハ區長、町村長トアルハ町村制ヲ施行セサル地方ニ在テハ戶長及之ニ準スヘキ者ニ該當ス

聯隊區若クハ聯隊區司令部トアルハ警備隊區ニ在テハ警備隊區若クハ警備隊司令官、警備隊區司令部トス

第十九條 召募ニ關シ一時本則ノ規定ニ依ラサルモノアルトキハ之ヲ告示ス

第二章 士官候補生及地方幼年學校生徒

第一款 士官候補生

第二十條 陸軍補充條例第七條第三ニ該ル者ノ試験格左ノ如シ但試験ノ程度ハ中學全科卒業ノ學力ニ比準シ外國語學ハ本人ノ冀望ニ依リ英、佛、獨ノ内一種ヲ限リ試験ス

讀書

漢文

作文 漢字交り文、文法
 算術
 代數學 平面、立體
 幾何學 平面
 三角學 日本、外國、地文
 地理 日本、外國
 歷史 日本、外國
 生理學
 衛生學
 動物學
 植物學
 物理學 無機化學
 化學

圖畫

用器畫、自在畫

外國語學

英、佛、獨(和文歐譯、歐文和譯、文法)

第二十一條 左ノ各地ニ檢査場ヲ設ク陸軍部外ノ志願者ハ便宜ノ檢査場ヲ選定シ之

ヲ願書ニ記載スヘシ但居住地所在師管外ノ檢査場ヲ選定スルヲ得ス

第一師管	東京	橫須賀	高崎	長野
第二師管	仙臺	福島	新發田	柏崎
第三師管	名古屋	津	豊橋	静岡岡
第四師管	大阪	和歌山	伏見	大津
第五師管	廣島	尾道	山口	濱田
第六師管	熊本	大村	鹿兒島	宮崎
第七師管	札幌	函館	旭川	
第八師管	弘前	盛岡	秋田	山形

- 第九師管 金澤 富山 鯖江 岐阜
- 第十師管 姫路 岡山 福知山 鳥取
- 第十一師管 丸龜 松山 高知 徳島
- 第十二師管 小倉 大分 福岡 久留米

第二十二條 學科試験及檢定試験ハ四月十一日ヨリ之ヲ行フ

第二十三條 陸軍部外ノ志願者ハ第八條ニ定ムル書類ノ外陸軍補充條例第七條第二

ニ該ル者ハ學校長ノ保證書第四號 同條第三ニ該ル者ハ學校長ノ學力證明書第五號

及各其ノ入隊スヘキ隊長ノ承認書第六號 ヲ願書ニ添附シ檢査ヲ受クヘキ前年ノ十

一月三十日迄ニ居住地ノ市町村長ニ差出シ町村長ハ之ヲ郡長ニ差出スヘシ但願書

ニ冀望ノ兵種及隊號ヲ記載スヘシ

隊長ノ承認ヲ得タル者ト雖合格人員其ノ隊ノ所要人員ニ超過スル場合ニ在テハ他
ノ隊ニ入隊セシムルコトアルヘシ

第二十四條 郡市長ハ志願者ヨリ差出シタル願書其ノ他ノ書類ヲ調査シテ與書證印

ヲ爲シ又身元明細書第三號 ヲ製シ之ヲ書類ニ添附シ一月十日迄ニ師團長近衛師團長ヲ除ク

以下單ニ師團長トアルモノ之ニ同シニ差出スヘシ

第二十五條 陸軍部内ノ志願者ハ第二十三條ノ例ニ依リ其ノ願書ヲ部隊長ニ差出シ

部隊長ハ其ノ身分財產等ヲ調査シ身元明細書第三號 ヲ製シ兵籍寫及考科表寫考科表ナ

キモノハ之ニ準スヘキ書類ト共ニ願書ニ添附シテ一月十日迄ニ所管師團長ニ差出スヘシ但一年

志願兵ニシテ陸軍補充條例第七條第三ニ該ル者ハ學校長ノ學力證明書第五號 ヲ要

セス

近衛師團ニ在テハ該師團長前項ノ書類ヲ取纏メ一月十五日迄ニ第一師團長ニ移ス
ヘシ

第二十六條 前二條ノ身元明細書調製後第三十八條ノ通達アル迄ニ其ノ記載ノ事項

ニ異動ヲ生シタル者アルトキハ郡市長又ハ部隊長ヨリ速ニ之ヲ師團長ニ報告シ師

團長ハ之ヲ教育總監ニ移スヘシ但採用ノ通達ヲ受ケタル者ニ付テハ入隊迄本文ノ

取扱ヲ爲スヘシ

近衛師團ノ各部隊ニ属スル者ニ係ル前項ノ報告ハ該師團長ヲ經由シ第一師團長ニ報告スルモノトス

第二十七條 中學全科卒業ニ至ラスト雖入隊スヘキ年ノ七月二十日迄ニ卒業スヘキ者ハ陸軍補充條例第七條第二ニ該ル者ニ準シ願出ルコトヲ得

第二十八條 前條ノ志願者中學全科卒業試験ヲ終ルトキハ學校長ヨリ其ノ成績^{各科}得點、同學年生徒ノ總員及之ニ對スル列序、及第又ハ落第ヲ詳記シテ師團長ニ報告シ師團長ハ七月三十一日迄ニ之ヲ教育總監ニ送付スヘシ

第二十九條 陸軍補充條例第七條第二ニ該ル者初年ニ於テ採用セラレサルトキハ其ノ次年ニ限り更ニ學校長ノ保證書ヲ要セス願出ルコトヲ得其ノ出願者ハ前年該保證書ヲ差出シタル旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第三十條 志願者中願書ヲ差出シタル後検査場ノ變更ヲ望ム者ハ最初願出ノ手續ニ依リ其ノ變更ヲ願出ヘシ但其ノ願書二月十日迄ニ教育總監部ニ到達セサルモノハ採用セス

第三十一條 師團長ハ第二十四條及第二十五條ノ書類ヲ審査シ検査場毎ニ區分シタル甲^{陸軍補充條例第七條}乙^{陸軍補充條例第七條}ノ書類ト共ニ一月三十一日迄ニ教育總監ニ送付スヘシ

第三十二條 師團長ハ甲検査場最寄地方ノ志願者少數ナルトキハ乙検査場ニ於テ検査セシムルコトヲ得

前項ニ依リ甲検査場ヲ設ケサルトキハ之ヲ志願者ニ通達シ又前條ノ書類ヲ送付スルトキ之ヲ教育總監ニ通報スヘシ

第三十三條 師團長ハ將校生徒試験臨時委員ヲ命シ教育總監ヨリ受領スル所ノ試験問題等ヲ下付シ試験ニ關スル必要ノ訓示ヲ與ヘ又軍醫ニ身體検査醫官ヲ命シ且體格検査表ヲ調製シ之ニ教育總監ヨリ送付セル志願者連名簿^{第七號}ヲ添ヘ該醫官ニ下付スヘシ

第三十四條 師團長ハ試験期日前ニ身體検査ヲ結了スル如ク期日ヲ定メテ志願者ヲ召集シ検査醫官ヲシテ身體検査ヲ爲サシムヘシ

第三十五條 陸軍部内ノ志願者ニシテ検査場設置地外ニ在ル者ハ其ノ地ノ軍醫ヲシテ身體検査ヲ行ハシメ其ノ合格者ヲ検査場ニ到ラシムヘシ

第三十六條 身體検査醫官検査終レハ志願者連名簿ニ合格不合格ノ等位及身長等ヲ記入シ合格者ノ寫眞紙ト共ニ將校生徒試験臨時委員ニ交付スヘシ

第三十七條 將校生徒試験臨時委員試験ヲ終レハ其ノ答解書ヲ密封シ試験ニ關スル一切ノ書類及試験全濟者竝ニ不正ノ所爲ニ依リ検査ヲ停止シタル者ノ寫眞紙ト共ニ之ヲ師團長ニ差出シ師團長ハ之ヲ取纏メ自己ノ意見ヲ附シ四月三十日迄ニ教育總監ニ送付スヘシ

第三十八條 志願者中採用スヘキ者ト否トハ教育總監ノ通知ニ依リ師團長ヨリ部長若クハ郡市長、町村長ヲ經テ之ヲ本人ニ通達スヘシ

第二款 地方幼年學校生徒

第三十九條 地方幼年學校生徒召募ノ試験格左ノ如シ但試験ノ程度ハ中學第一年級終業ノ學力ニ比準ス

讀書 漢字交リ文

作文 日用書類、漢字交リ文、文法

習字 楷、行

算術 初步

地理 日本地理ノ大要

歴史 日本歴史ノ大要

理科 初步

圖畫 鉛筆畫

第四十條 志願者ハ左ノ召募區域ニ依リ願出ヘシ

第一師管内居住ノ者ハ 東京地方幼年學校

第二、第七及第八師管内居住ノ者ハ 仙臺地方幼年學校

第三及第九師管内居住ノ者ハ 名古屋地方幼年學校

第四及第十師管内居住ノ者ハ 大阪地方幼年學校

第五及第十一師管内居住ノ者ハ 廣島地方幼年學校

第六及第十二師管内居住ノ者ハ 熊本地方幼年學校

第四十一條 前條ノ如ク召募區域ヲ定ムト雖各地方幼年學校生徒志願者ノ合格人員ニ過不足アルトキハ其ノ超過セシ者ヲ他ノ不足セシ學校ニ入學セシムルコトアルヘシ故ニ志願者ハ豫メ他ノ學校ヲ選ビ願書ニ記載スヘシ

第四十二條 検査場ハ士官候補生検査場ニ同シ志願者ハ第二十一條ノ例ニ準シ其ノ検査ヲ受クヘキ場所ヲ選定シ之ヲ願書ニ記載スヘシ

第四十三條 學科試験ハ四月十六日ヨリ之ヲ行フ

第四十四條 志願者ハ第八條ニ定ムル願書其ノ他ノ書類ヲ検査ヲ受クヘキ前年ノ十二月三十一日迄ニ居住地ノ市町村長ニ差出シ町村長ハ之ヲ郡長ニ差出スヘシ

本籍地召募區域外ニ居住シ本籍地召募區ノ幼年學校ニ入學セントスル者ハ願書其ノ他ノ書類ヲ本籍地ノ市町村長ニ差出スヘシ但其ノ検査ヲ居住地地方ニ於テ受ケントスルトキハ願書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第四十五條 郡市長ハ志願者ヨリ差出シタル願書其ノ他ノ書類ヲ調査シテ與書證印ヲ爲シ又身元明細書第三號ヲ製シ之ヲ書類ニ添附シ一月三十一日迄ニ地方幼年學校長ニ送付スヘシ

第四十六條 地方幼年學校長ハ前條ノ書類ヲ審査シ検査場毎ニ區分シタル志願者人名書二通ヲ製シ二月二十日迄ニ其ノ一通ヲ教育總監ニ他ノ一通ヲ師團長ニ差出スヘシ但師團長ニ差出スヘキ人名書ニハ年齢及居住地並ニ戦死及戦傷ニ依リ死歿シ又ハ戦役中危難ヲ冒シタルニ起因シテ死歿シタル陸海軍將校同相當及高等文官ノ孤兒ハ其ノ旨ヲ記入スヘシ

第四十四條第二項但書ニ該ル者アルトキハ本籍地方ノ幼年學校長ハ其ノ趣ヲ居住地地方ノ幼年學校長ニ通報シ該學校長ハ之ヲ検査人員中ニ加入スヘシ

第四十七條 身體検査其ノ他試験ノ方法等ハ第三十條乃至第三十七條ノ例ニ準ス

第四十八條 地方幼年學校長ハ志願者身元明細表ヲ製シ四月三十日迄ニ教育總監ニ差出スヘシ

第四十九條 志願者中採用スヘキ者ト否トハ教育總監ノ達ニ依リ地方幼年學校長ヨリ郡市長、町村長ヲ經テ之ヲ本人ニ通達スヘシ

第五十條 入校ヲ命セラレタル者特待生ハ更ニ身元保證人二名ヲ定メ入學期日前ニ

納金證書第八號ヲ學校長ニ差出スヘシ

第五十一條 生徒ノ納ムヘキ金額ハ左ノ如シ

半特待生

初度被服料金十圓
毎月納金三圓二十五錢

自費生

初度被服料金三十圓
毎月納金六圓五十錢

特待生及半特待生中自己ノ便宜ヲ以テ退校ヲ願出ツル者アルトキハ其ノ事情ヲ酌量シ自費生ノ納金額ニ準シ在學中ノ費用ヲ納メシムルコトアルヘシ

第五十二條 前條ノ納金ハ實費ヲ精算シ不足スルトキハ之ヲ追納セシメ殘餘ハ之ヲ還付ス

第五十三條 初度被服料及入校當月ノ納金ハ入校ノ前月二十八日迄ニ爾後毎月ノ納金ハ其ノ前月二十八日迄ニ身元保證人ヨリ當該學校ニ納付スヘシ但便宜ニ依リ若

千月分ヲ前納スルコトヲ得

第三章 見習醫官、見習藥劑官、衛生部依託學生、同依託生徒及軍醫學校生徒

第一款 見習醫官、見習藥劑官

第五十四條 一年志願兵中軍醫生、藥劑生ニシテ見習醫官又ハ見習藥劑官ヲ志願スル者ハ第八條ニ定ムル願書其ノ他ノ書類ニ醫術開業免狀寫若クハ藥劑師免狀寫ヲ添ヘ六月十日迄ニ隊長ニ差出シ隊長ハ之ヲ調査シ六月十五日迄ニ師團軍醫部長ニ送付スヘシ

第五十五條 師團軍醫部長ハ陸軍省醫務局長ヨリ受領スル試驗問題ヲ隊附高級醫官若クハ衛戍病院長ニ下付シ検査ニ關スル必要ノ訓示ヲ與ヘ同官ヲシテ志願者ノ検査ヲ行ハシムヘシ

第五十六條 隊附高級醫官若クハ衛戍病院長前條ノ検査ヲ終レハ其ノ答解書ヲ祕封シ自己ノ意見ヲ附シ試驗ニ關スル書類ト共ニ六月三十日迄ニ師團軍醫部長ニ差出スヘシ

第五十七條 師團軍醫部長ハ前條ノ書類ヲ審査シ其ノ成績ニ依リ列序ヲ定メタル人名書ヲ製シ之ニ試験書類ヲ添ヘ且自己ノ意見ヲ附シ七月十五日迄ニ陸軍省醫務局長ニ差出スヘシ

第五十八條 陸軍省醫務局長ハ前條ノ書類ヲ審査シ採用スヘキ者ト否トヲ定メ陸軍大臣ノ認可ヲ請ケ師團軍醫部長ニ達シ軍醫部長ハ隊長ヲ經テ之ヲ本人ニ通達スヘシ

第二款 衛生部依託學生、同依託生徒

第五十九條 衛生部依託學生、同依託生徒ノ要員ハ陸軍省醫務局長之ヲ帝國大學總長、高等學校長若クハ府縣立醫學校長ニ通牒シ志願者ヲ召募スルモノトス

第六十條 志願者ハ第八條ニ定ムル願書其ノ他ノ書類ヲ帝國大學總長若クハ當該學校長ヲ經テ陸軍省醫務局長ニ差出シ醫務局長ハ本人ノ學力品行等ヲ審査シ且最寄部隊附軍醫ノ身體檢査ヲ受ケシメ其ノ成績ニ依リ採用スヘキ者ト否トヲ定メ帝國大學總長若クハ當該學校長ヲ經テ之ヲ本人ニ通達シ其ノ採用スヘキ者ニハ依託學

生若クハ依託生徒ヲ命スヘシ

前項ノ身體檢査ハ醫務局長ヨリ豫メ該部隊長ニ照會シ之ヲ行ハシムヘシ

第六十一條 依託學生ハ帝國大學、依託生徒ハ當該學校一般ノ規程ニ從ヒ修學セシム

第六十二條 依託學生及依託生徒修學中ハ情願ヲ以テ依託學生又ハ依託生徒ヲ辭スルヲ許サス其ノ成業ノ目途ナキ者及品行不正學業懈怠若クハ規則違犯等ノ故ヲ以テ帝國大學總長若クハ當該學校長ニ於テ退學ノ處分ヲ爲スヘキ者又ハ傷痍疾病ノ爲メ休學六箇月以上ニ至リ仍ホ治癒ノ見込ナキ者アルトキハ陸軍省醫務局長ハ帝國大學總長若クハ當該學校長ノ通知ヲ受ケ依託學生若クハ依託生徒ヲ免スヘシ陸軍省醫務局長ハ依託學生、依託生徒ニシテ正當ノ事由ナク學年試驗ヲ受ケサル者若クハ學年試驗ニ落第シタル者又ハ其ノ性行見習醫官、見習藥劑官ト爲スニ適セスト認メタル者アルトキハ依託學生若クハ依託生徒ヲ免スルコトヲ得

第六十三條 依託學生及依託生徒ニハ授業其ノ他一切ノ費用ニ充ツル爲メ左ノ金額ヲ支給ス

依託學生

月額金拾五圓

依託生徒 同 金拾圓

第六十四條 依託學生及依託生徒ノ身上其ノ他戶籍ニ異動ヲ生シタルトキハ本人若クハ保證人ヨリ之ヲ陸軍省醫務局長ニ届出ヘシ

第六十五條 依託學生及依託生徒其ノ課程ヲ卒ヘ卒業試験ヲ終リタルトキハ陸軍省醫務局長ハ帝國大學總長若クハ當該學校長ヨリ其ノ試験成績等ニ關スル通知ヲ受ケ之ニ見習醫官又ハ見習藥劑官ヲ命スヘシ

第三款 軍醫學校生徒

第六十六條 軍醫學校生徒召募ノ試験科目左ノ如シ但外國語學ハ本人ノ冀望ニ依リ英、佛、獨ノ内一種ヲ限リ試験ス

內科學 外科學

眼科學 耳科學 軍醫志願者

衛生學

製藥化學 生藥學 藥劑學志願者

衛生化學

外國語學(和文歐譯、歐文和譯)

第六十七條 學科試験ハ軍醫學校ニ於テ五月一日ヨリ之ヲ行フ

第六十八條 陸軍部外ノ志願者ハ第八條ニ定ムル願書其ノ他ノ書類ニ醫術開業免狀寫若クハ藥劑師免狀寫ヲ添ヘ二月二十八日迄ニ居住地ノ市町村長ニ差出シ町村長ハ之ヲ郡長ニ差出スヘシ

第六十九條 郡市長ハ志願者ヨリ差出シタル願書其ノ他ノ書類ヲ調査シテ與書證印ヲ爲シ又身元明細書第三號書式ヲ製シ之ヲ書類ニ添附シ三月三十一日迄ニ師團軍醫部長ニ送付スヘシ

第七十條 陸軍部内ノ志願者ハ願書ニ第六十八條ノ免狀寫ヲ添テ部隊長ニ差出シ部隊長ハ其ノ身分財產等ヲ調査シ身元明細書第三號ヲ製シ兵籍寫及考科表寫考科表ナキモノハ之ニ準スヘキ書類ト共ニ願書ニ添付シ三月三十一日迄ニ師團軍醫部長ニ送付スヘシ

第七十一條 師團軍醫部長ハ志願者ヲシテ居住地最寄ノ部隊附軍醫ノ身體檢査ヲ受ケシメ其ノ合格者ハ學科試験期日迄ニ出京セシメ願書其ノ他ノ書類ヲ取纏メ之ニ志願者人名書ヲ添ヘ軍醫學校長ニ送付スヘシ

前項ノ身體検査ハ師團軍醫部長ヨリ豫メ該部隊長ニ照會シ之ヲ行ハシムヘシ

第七十二條 軍醫學校長ハ試験問題及試験施行ノ方法ヲ定メ陸軍省醫務局長ノ認可ヲ請ケ又前條條ノ書類ヲ審査シ學科試験ヲ行ヒ其ノ成績ニ依リ採用スヘキ者ト否トヲ定メ其ノ人名書ニ検査書類ヲ添ヘ陸軍省醫務局長ニ差出シ認可ヲ請ケ師團軍醫部長及部隊長、郡市長、町村長ヲ經テ之ヲ本人ニ通達シ其ノ採用スヘキ者ニハ入校ヲ命スヘシ

第四章 獸醫部依託學生、同依託生徒

第七十三條 獸醫部依託學生、同依託生徒ノ要員ハ陸軍省軍務局長之ヲ帝國大學總長ニ通達シ志願者ヲ召募スルモノトス

第七十四條 志願者ハ第八條ニ定ムル願書其ノ他ノ書類ヲ帝國大學總長ヲ經テ陸軍省軍務局長ニ差出シ軍務局長ハ本人ノ學力品行等ヲ審査シ且最寄部隊附軍醫ノ身體検査ヲ受ケシメ其ノ成績ニ依リ採用スヘキ者ト否トヲ定メ帝國大學總長ヲ經テ之ヲ本人ニ通達シ其ノ採用スヘキ者ニハ依託學生若クハ依託生徒ヲ命スヘシ

前項ノ身體検査ハ軍務局長ヨリ豫メ該部隊長ニ照會シ之ヲ行ハシムヘシ

第七十五條 依託學生及依託生徒ハ帝國大學ノ規程ニ從ヒ修學セシム

第七十六條 依託學生及依託生徒修學中ハ情願ヲ以テ依託學生又ハ依託生徒ヲ辭スルヲ許サス其ノ成業ノ目途ナキ者及品行不正學業懈怠若クハ規則違反等ノ故ヲ以テ帝國大學總長ニ於テ退學ノ處分ヲ爲スヘキ者又ハ傷痍疾病ノ爲メ休學六箇月以上ニ至リ仍ホ治愈ノ見込ナキ者アルトキハ陸軍省軍務局長ハ帝國大學總長ノ通知ヲ受ケ依託學生若クハ依託生徒ヲ免スヘシ

陸軍省軍務局長ハ依託學生、依託生徒ニシテ正當ノ事由ナク學年試験ヲ受ケサル者若クハ學年試験ニ落第シタル者又ハ其ノ性行見習獸醫官ト爲スニ適セスト認めタル者アルトキハ依託學生若クハ依託生徒ヲ免スルコトヲ得

第七十七條 依託學生及依託生徒ニハ授業其ノ他一切ノ費用ニ充ツル爲メ左ノ金額ヲ支給ス

依託學生 月額金拾五圓

依託生徒 同 金拾圓

第七十八條 依託學生及依託生徒ノ身上其ノ他戶籍ニ異動ヲ生シタルトキハ本人若

クハ保證人ヨリ之ヲ陸軍省軍務局長ニ届出シ
 第七十九條 依託學生及依託生徒其ノ課程ヲ卒ヘ卒業試験ヲ終リタルトキハ陸軍省軍務局長ハ帝國大學總長ヨリ其ノ試験成績ニ關スル通知ヲ受ケ之ニ見習獸醫官ヲ命スヘシ

第五章 各兵科下士候補生、蹄鐵工長候補生、衛生部下士候補生

第八十條 下士候補生、蹄鐵工長候補生以下本章中之ニ同シハ陸軍部外ノ志願者ハ師團毎ニ步兵隊及警備隊ニ在テハ左ノ區域内其ノ他ニ在テハ師管内ニ本籍ヲ有スル者ヨリ召募ス若シ步兵隊及警備隊ノ要員ヲ其ノ區域内ニ於テ充タスコト能ハサルトキハ師管内他ノ區域ヨリ召募スルコトヲ得

- | | | | |
|---------|--------------|----------|--------|
| 步兵第一聯隊 | 麻布聯隊區、橫濱聯隊區 | 步兵第三十三聯隊 | 津聯隊區 |
| 步兵第十五聯隊 | 高崎聯隊區、長野聯隊區 | 步兵第三十四聯隊 | 豐橋聯隊區 |
| 步兵第二聯隊 | 佐倉聯隊區、水戸聯隊區 | 步兵第八聯隊 | 靜岡聯隊區 |
| 步兵第三聯隊 | 本郷聯隊區、宇都宮聯隊區 | 步兵第三十七聯隊 | 大阪聯隊區 |
| | | 步兵第九聯隊 | 和歌山聯隊區 |
| | | 步兵第三十八聯隊 | 大津聯隊區 |
| | | | 京都聯隊區 |

- | | | | |
|----------|--------|----------|--------|
| 步兵第四聯隊 | 仙臺聯隊區 | 步兵第十一聯隊 | 廣島聯隊區 |
| 步兵第二十九聯隊 | 福島聯隊區 | 步兵第四十一聯隊 | 尾道聯隊區 |
| 步兵第十六聯隊 | 新發田聯隊區 | 步兵第二十一聯隊 | 濱田聯隊區 |
| 步兵第三十聯隊 | 柏崎聯隊區 | 步兵第四十二聯隊 | 山口聯隊區 |
| 步兵第六聯隊 | 名古屋聯隊區 | 步兵第十三聯隊 | 熊本聯隊區 |
| 步兵第四十五聯隊 | 鹿兒島聯隊區 | 步兵第三十六聯隊 | 鯖江聯隊區 |
| 步兵第二十三聯隊 | 宮崎聯隊區 | 步兵第十聯隊 | 姫路聯隊區 |
| 步兵第四十六聯隊 | 大村聯隊區 | 步兵第四十聯隊 | 鳥取聯隊區 |
| 步兵第二十五聯隊 | 函館聯隊區 | 步兵第二十聯隊 | 福知山聯隊區 |
| 步兵第二十六聯隊 | 札幌聯隊區 | 步兵第三十九聯隊 | 神戸聯隊區 |
| 步兵第二十七聯隊 | 釧路聯隊區 | 步兵第十二聯隊 | 丸龜聯隊區 |
| 步兵第二十八聯隊 | 旭川聯隊區 | 步兵第四十三聯隊 | 德島聯隊區 |
| 步兵第五聯隊 | 盛岡聯隊區 | 步兵第二十二聯隊 | 松山聯隊區 |
| 步兵第三十一聯隊 | 弘前聯隊區 | 步兵第四十四聯隊 | 高知聯隊區 |
| 步兵第十七聯隊 | 秋田聯隊區 | 步兵第十四聯隊 | 小倉聯隊區 |
| 步兵第三十二聯隊 | 山形聯隊區 | 步兵第四十七聯隊 | 大分聯隊區 |
| 步兵第七聯隊 | 金澤聯隊區 | 步兵第二十四聯隊 | 福岡聯隊區 |

歩兵第三十五聯隊 富山聯隊區
歩兵第十九聯隊 岐阜聯隊區

歩兵第四十八聯隊 佐賀聯隊區
對馬警備隊 對馬警備隊區

沖繩警備隊區ニ本籍ヲ有スル者ニシテ歩兵科志願ノ者ハ第六師團ノ各歩兵隊ニ召募スルモノトス

第八十一條 近衛師團ノ下士候補生ハ陸軍部外ノ志願者ハ歩兵及騎兵科ニ在テハ各師管其ノ他ニ在テハ第一師管ニ本籍ヲ有スル者ヨリ召募ス

第八十二條 兵卒ヨリ下士候補生ヲ志願スル者ハ所屬隊ノ要員ニ充ツルモノトス

第八十三條 下士候補生中生徒召募ノ試験格左ノ如シ但試験ノ程度ハ概テ高等小學校卒業ノ學力ニ比準ス

讀書 漢字交リ文

作文 日用書類、漢字交リ文

地理 日本地理ノ大要

歴史 日本歴史ノ大要

算術

初歩

第八十四條 陸軍部外ノ志願者検査ハ聯隊區司令官之ヲ行フ

各隊兵卒ヨリ志願スル者ハ各隊長必要ニ依リ其ノ學力ヲ試験スルコトヲ得其ノ程度ハ前條ニ準ス

第八十五條 師團長ハ各聯隊區及各隊ヨリ召募スヘキ下士候補生ノ人員近衛師團ヲ定メ各隊長及聯隊區司令官ニ達シ同時ニ陸軍部外ヨリ召募スヘキ者ノ兵種人員

近衛師團ノ要員ヲ區別シヲ師管内ニ廣告スヘシ但各兵科下士候補生中學生ノ人員ハ陸軍部外ヨリ採用スヘキ者決定シタル後之ヲ定ムルモノトス

近衛師團長ハ各師管ヨリ召募スヘキ者ハ第八十一條ニ依リ之ヲ各師管ニ配當シ召募ノ前年十二月三十一日迄ニ其ノ人員及入隊セシムヘキ隊號ヲ各師團長ニ移牒シ各隊ヨリ召募スヘキ人員ハ之ヲ各隊長ニ達スヘシ

第八十六條 陸軍部外ノ志願者ハ第八條ニ定ムル願書其ノ他ノ書類ヲ二月二十日迄ニ市町村長ニ差出シ市町村長ハ之ヲ調査シ與書證印シテ三月一日迄ニ聯隊區司令

官町村長ハ郡ニ送付スヘシ但志願者ハ願書ニ冀望ノ兵種ヲ記載シ又同師管内他ノ
長ヲ經テ
聯隊區ニ寄留スル者ニシテ寄留地聯隊區ニ於テ検査ヲ受ケントスルトキハ其ノ旨
モ記載スヘシ

第八十七條 前條ニ依リ他ノ聯隊區ニ於テ検査ヲ受ケンコトヲ望ム者アルトキハ聯
隊區司令官之ヲ許可シ寄留地聯隊區司令官ニ其ノ許可シタル者ノ願書其ノ他ノ書
類ヲ添ヘ之ヲ通知シ其ノ旨ヲ師團長ニ報告スヘシ

第八十八條 聯隊區司令官ハ第八十六條ノ書類ヲ調査シ其ノ志願者ノ人員ニ應シ檢
査場ノ位置及検査期日ヲ定メ志願者ノ人員ト共ニ師團長ニ報告シ同時ニ検査場ノ
位置及検査期日ヲ郡市長、町村長ヲ經テ本人ニ通達スヘシ

第八十九條 各隊長ハ第八十五條ノ達ニ依リ部下初年兵若クハ二年兵中志願ノ者ヲ
取調ヘ其ノ願書ヲ徵シ適當ト認ムル者ヲ決定シ其ノ人員ヲ所管師團長ニ報告スヘ
シ但適當者決定時期ハ各兵科下士候補生ニ在テハ別ニ定ムル所ニ依リ蹄鐵工長候
補生ニ在テハ獸醫學校ヘ分遣前トス

第九十條 師團長ハ學科試験問題及試験ノ方法ヲ定メテ聯隊區司令官ニ達スヘシ
第九十一條 師團長ハ陸軍部外ノ志願者身體検査ノ爲メ軍醫ニ検査醫官ヲ命シ之ヲ
聯隊區司令部ニ派遣シ該司令官ノ指示ヲ受ケシムヘシ但徵兵検査醫官及副醫官ヲ
シテ之ヲ兼テシムルコトヲ得

第九十二條 聯隊區司令官試験終レハ其ノ答解ニ評點ヲ附シ試験成績表ヲ作り之ニ
志願者ヨリ差出シタル書類及志願者連名簿第七號書式ニ準スヲ添ヘ答解書類ト共ニ所管師
團長ニ進達スヘシ

第九十三條 師團長ハ前條ノ書類ヲ審査シ試験ノ成績ニ依リ採用スヘキ者ト否トヲ
定メ十月十五日迄ニ聯隊區司令官、郡市長及町村長ヲ經テ本人ニ達シ其ノ採用ス
ヘキ者ニハ下士候補生及入隊ヲ命スヘシ但衛生部下士候補生ハ師團司令部所在地
ニ在テハ某步兵一聯隊ニ入隊セシム

師團長ハ近衛師團志願ノ合格者中各種類毎ニ採用スヘキ者ノ人名書ニ本人ノ願書
戸籍ノ謄本及履歷書ヲ添ヘ十月十五日迄ニ近衛師團長ニ通報スヘシ

第九十四條 近衛師團志願ノ合格者要員ニ對シ過剩アリテ本籍所管師團志願ノ合格者寡少ナルトキ又之ニ反スル場合ニ在テハ本人ノ志願ニ依リ本籍所管師團又ハ近衛師團ノ要員ニ充ツルコトヲ得

第九十五條 入隊ヲ命セラレタル者ノ旅費ハ本人居住地所管師團監督部ヨリ支給ス

第九十六條 各師團長ハ下士候補生ヲ採用シタル後ハ速ニ召募結果表第九號ヲ作リ

陸軍大臣ニ報告スヘシ

第九十七條 各兵科下士候補生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ依リ缺員ヲ生シタルトキハ教育及補充上ノ都合ニ依リ服役ニ箇年以内ノ兵卒ニシテ下士候補生志願ノ者ヲ以テ臨時其ノ缺員ヲ補充スルコトヲ得其ノ取扱ハ第八十九條ニ準ス

第六章 砲兵工長候補生

第九十八條 砲兵工長候補生召募ノ試験格左ノ如シ但試験ノ程度ハ概テ高等小學校卒業ノ學力ニ比準ス

讀書 漢字交リ文

作文 日用書類、漢字交リ文

圖畫 用器畫、自在畫

歴史 日本歴史ノ大要

算術 初步

第九十九條 現役初年兵ヨリ志願ノ者ハ第八條ニ定ムル願書ヲ六月三十日迄ニ隊長ニ差出シ隊長ハ其ノ人員ヲ七月三十一日迄ニ砲兵工科學校長ニ通知スヘシ

第一百條 陸軍部外ヨリ志願ノ者ハ第八條ニ定ムル願書其ノ他ノ書類ヲ六月三十日迄ニ居住地ノ市町村長ニ差出シ市町村長ハ之ヲ調査シ與書證印シテ七月十五日迄ニ

聯隊區司令官町村長ハ郡長ヲ經テニ送付スヘシ

第一百一條 聯隊區司令官ハ前條ノ書類ヲ調査シ志願者ノ人員ヲ七月三十一日迄ニ砲兵工科學校長ニ通知スヘシ

第一百二條 砲兵工科學校長ハ學科試験問題、試験期日及試験施行ノ方法ヲ定メ密封シテ八月三十一日迄ニ隊長及聯隊區司令官ニ送付シ同時ニ陸軍部外ノ志願者身體

検査ノ爲メ聯隊區司令部へ軍醫ノ派遣ヲ師團長ニ請求シ師團長ハ軍醫ヲ派遣シ聯隊區司令官ノ指示ヲ受ケシムヘシ

第百三條 兵卒ノ學科試験ハ所屬隊ニ於テ該隊長、陸軍部外志願者ノ検査ハ聯隊區司令部所在地ニ於テ該司令官之ヲ行フ

第百四條 各隊長及聯隊區司令官試験終レハ其ノ答解書ヲ祕封シ之ニ志願者ヨリ差出シタル書類及志願者連名簿第七號書式ニ準スヲ添ヘ九月三十日迄ニ砲兵工科學校長ニ送付スヘシ但隊長ハ採否ノ參考トナルヘキ事項賞罰又ハ特有ノ技能ヲ各自ノ答解書ニ附記スヘシ

第百五條 砲兵工科學校長ハ前條ノ書類ヲ審査シ其ノ成績ニ依リ採用スヘキ者ト否トヲ定メ隊長若クハ聯隊區司令官、郡市長及町村長ヲ經テ之ヲ本人ニ通達シ其ノ採用スヘキ者ニハ砲兵工長候補生及入校ヲ命スヘシ

第百六條 陸軍部外ノ志願者ニシテ入校ヲ命セラレタル者ノ旅費ハ本人居住地所管師團監督部ヨリ支給ス

第七章 縫工長候補生、靴工長候補生

第百七條 縫、靴工長候補生召募ノ試験格左ノ如シ但試験ノ程度ハ概子高等小學校卒業ノ學力ニ比準ス

讀書 漢字交リ文

作文 日用書類、漢字交リ文

歴史 日本歴史ノ大要

算術 初歩

第百八條 現役縫工、靴工ノ初年兵ヨリ志願ノ者ハ第八條ニ定ムル願書ヲ六月三十日迄ニ隊長ニ差出シ隊長ハ其ノ人員ヲ七月三十一日迄ニ經理學校長ニ通知スヘシ
第百九條 縫、靴工長候補生ノ召募手續ハ前二條ニ規定スルノ外第百條乃至第百六條ヲ適用ス但各本條ニ砲兵工科學校長トアルハ經理學校長ニ該當ス

第八章 軍樂學校生徒

第百十條 軍樂學校生徒召募ノ試験格左ノ如シ但試験ノ程度ハ概子高等小學校卒業ノ學力ニ比準ス

讀書 漢字交リ文

作文 通俗文

算術 初步

前項ノ外洋琴等ヲ指彈シテ二三音符ノ呂律ヲ判別セシメテ聽官ヲ檢シ又若干ノ口述試驗ヲ行フ

第百十一條 志願者ハ第八條ニ定ムル願書其ノ他ノ書類ヲ三月二十日迄ニ居住地ノ市町村長ニ差出シ市町村長ハ之ヲ調査シ與書證印シテ三月三十一日迄ニ聯隊區司令官町村長ハ郡ニ送付スヘシ長町村長ハ郡ニ送付スヘシヲ經テ

第百十二條 聯隊區司令官ハ前條ノ書類ヲ調査シ徵兵檢査ノ際志願者ヲ便宜ノ場所ニ呼出シ軍醫ヲシテ身體檢査ヲ行ハシメ合格者連名簿ヲ製シ願書其ノ他ノ書類ト共ニ檢査結了後直ニ戸山學校長ニ送付スヘシ

前項ノ軍醫ハ聯隊區司令官ノ上申ニ依リ師團長之ヲ命スルモノトス但徵兵醫官及副醫官ヲシテ之ヲ兼テシムルコトヲ得

第百十三條 軍樂學校生徒ハ特ニ齒列正シクシテ齶齒ナキ者ニアラサレハ採用セサルモノトス

第百十四條 戸山學校長ハ第百十二條ノ書類ヲ調査シ各師管毎ニ一ノ試驗場ヲ設ケ

試驗期日及試驗場ノ位置其ノ他必要ノ事項ヲ市町村長ヲ經テ志願者ニ通達スヘシ但志願者ノ人員僅少ナル師管ニ在テハ試驗場ヲ設ケス最寄師管ノ試驗場ニ於テ試驗ヲ行フコトヲ得

第百十五條 戸山學校長ハ試驗區域ヲ定メ一試驗區域毎ニ樂長若クハ樂長補一名ヲ試驗官ト爲シ之ニ樂手一名宛ヲ附屬シ試驗ヲ行ハシムヘシ

前項ノ試驗官及屬員ハ軍樂學校及軍樂隊ヨリ選定スルモノトス但軍樂隊ヨリ選定スルトキハ戸山學校長ノ上申ニ依リ教育總監之ヲ當該師團長ニ照會スヘシ

第百十六條 各試驗官ハ試驗成績ヲ調査シ試驗成績表ヲ製シテ十月十五日迄ニ戸山學校長ニ差出スヘシ

戸山學校長ハ前項ノ書類ヲ軍樂學校長ニ下付シ其ノ意見ヲ徵シ更ニ審査ノ上採用スヘキ者ト否トヲ定メ市町村長ヲ經テ之ヲ本人ニ通達シ其ノ採用スヘキ者ニハ入校ヲ命スヘシ

第百十七條 入校ヲ命セラレタル者ノ旅費ハ本人居住地所管師團監督部ヨリ支給ス

附則

第百十八條 二當分ノ内第七師團ノ各兵科下士候補、蹄鐵工長候補生及衛生部下士候

補生ハ第一、第二及第八師管ヨリ第七師團下士候補生志願ノ者ヲ召募スルコトヲ
 得其ノ取扱手續ハ近衛師團ノ下士候補生ヲ各師管ヨリ召募スルノ例ニ準據スヘシ
 第一百十九條 本則ハ明治三十二年十二月一日ヨリ施行ス但士官候補生、地方幼年學
 校生徒、各兵科下士候補生及軍樂學校生徒召募準備ニ關スル事項ハ發布ノ日ヨリ
 施行ス士官候補生、地方幼年學校生徒及軍樂學校生徒願書ニ添付スヘキ戶籍ノ謄
 本ハ戶籍明細書ヲ以テスルコトヲ得又本年當省告示第十四號ニ依リ出願ノ軍樂學
 校生徒ノ入校期ハ同告示ニ依ル
 第一百二十條 明治三十二年ニ於テ陸軍部外ノ各兵科下士候補生志願者ハ入隊期日ヲ
 除クノ外師團長適宜其ノ方法ヲ定メ之ヲ召募スルコトヲ得但近衛師團ニ在テハ第
 一師管、第七師團ニ在テハ第七師管内ニ限ル
 明治三十三年ニ限リ本規則第一百十一條ノ期日ハ各一箇月間之ヲ延期ス
 第一號書式ノ一 (用紙美濃白紙)

士官候補生願

某儀

士官候補生志願ニ付御許可被成下度御採用ノ上ハ御規則嚴重ニ相守リ誓テ陸軍ニ
 従事可仕候仍テ戶籍ノ謄本、履歷書、保證書(學力證明書)(入隊承認書)相添ヘ身元
 保證人連署此段奉願候也

府(縣)郡(市)町(村)番地住
 府(縣)郡(市)町(村)番地寄留

府縣族籍職業
 戶主ニアラサ
 レハ誰子弟

氏名印

年 月 日 生
 何年十二月當何年何月

身元保證人

府縣族籍職業
 府(縣)郡(市)町(村)番地住(寄留)

氏名印

同

氏名印

何師團長氏名殿

追テ左ノ通冀望致候也

受験外國語 英(獨)(佛)語

受験場 何地 (居住地所管師
 管内ニ限ル)

冀望兵種隊號

第一何兵何隊 (入隊スヘキ隊長ノ承認ヲ得
 第二何兵何隊 (タル者ハ其ノ旨ヲ記スヘシ))

前書之趣調査候處相違無之候也

年月日

府縣郡市長 氏

名 印

陸軍部内ノ志願者ニ在テハ本書式ニ準シ調製スヘシ

二十歳未満ノ志願者ニ在テハ身元保證人ノ中一人ハ其ノ志願者ニ對シ親權ヲ行フ者タルヲ要ス以下第一號書式皆同シ

第一號書式ノ二 (用紙美濃白紙)

陸軍地方幼年學校生徒願

某 儀

地方幼年學校生徒志願ニ付御許可被成下度御採用ノ上ハ御規則嚴重ニ相守リ卒業ノ上中央幼年學校生徒被命候節ハ誓テ陸軍ニ従事可仕ハ勿論入校中ノ費用ハ御規定ノ通可相納候仍テ戶籍ノ謄本履歷書相添ヘ身元保證人連署此段奉願候也

府縣族籍職業

戶主ニアラサ
戶主ノハ誰子弟

府(縣)郡(市)町(村)番地住
府(縣)郡(市)町(村)番地寄留

氏 名 印

年 月 日 生
何年九月當何年何月

身元保證人

府縣族籍職業

府(縣)郡(市)町(村)番地住(寄留)

同 氏 名 印

同 氏 名 印

同 氏 名 印

年月日

何地方幼年學校長氏名殿

追テ左ノ通冀望致候也

入校冀望ハ御校ノ外第一何地方幼年學校第二何地方幼年學校第三何地方幼年學校ニ有之候

受験場

何地

(居住地所管師)
(管内ニ限ル)

入校後ノ外國語學

佛(獨)(露)語

前書之趣調査候處相違無之候也

年月日

府縣郡市長 氏

名 印

第一號書式ノ三 (用紙美濃白紙)

見習醫官(見習藥劑官)(衛生部依託學生、同依託生徒)(軍醫學校生徒)
(獸醫部依託學生、同依託生徒)願

某 儀

見習醫官(見習藥劑官)(衛生部依託學生、同依託生徒)(軍醫學校生徒)(獸醫部依託
學生、同依託生徒)志願ニ付御許可被成下度御採用ノ上ハ御規則嚴重ニ相守リ誓テ
陸軍ニ從事可仕候仍テ戶籍ノ謄本履歷書何々免狀相添ヘ身元保證人連署此段奉願
候也

府(縣)郡(市)町(村)番地住
府(縣)郡(市)町(村)番地寄留

府縣族籍職業
戶主ニアラサ
レハ誰子弟

氏 名 印

身元保證人

府(縣)郡(市)町(村)番地住(寄留)

氏 名 印

年 月 日 生
何年何月當何年何月

年 月 日

同

氏 名 印

何師團軍醫部長氏名殿

(衛生部依託學生、同依託生徒志願者ニ在テハ陸軍省醫務局長、軍醫學校
生徒志願者ニ在テハ該學校長獸醫部依託學生、同依託生徒志願者ニ在テ
陸軍省軍務局長宛トス)

前書之趣調査候處相違無之候也

年 月 日

府縣郡市長 氏 名 印

陸軍部内ノ志願者ニ在テハ本書式ニ準シ調製スヘシ

第一號書式ノ四 (用紙美濃白紙)

各兵科下士候補生(蹄鐵工長候補生)(衛生部下士候補生)願

某 儀

陸軍出身志願ニ付何々候補生ニ御採用被成下度入隊ノ上ハ御規則嚴重ニ相守リ誓

テ陸軍ニ從事可仕候仍テ戸籍ノ謄本履歷書相添ヘ身元保證人連署此段奉願候也

府縣族籍職業

戸主ニアラサ

ノハ誰子弟

府(縣)郡(市)町(村)番地住
府(縣)郡(市)町(村)番地寄留

氏 名 印

年 月 日 生
何年何月當何年何月

身元保證人

府縣族籍職業

府(縣)郡(市)町(村)番地住(寄留)

氏 名 印

同 氏 名 印

年 月 日

何聯隊區司令官氏名殿

追テ左ノ通冀望致也

第一(歩兵) 第二(騎兵) 第三(野戰砲兵) 第四(要塞砲兵)

第五(工兵) 第六(鐵道隊) 第七(輜重兵)

前書ノ趣調査候處相違無之候也

年 月 日

府縣郡市町村長 氏

名 印

近衛師團若クハ第七師團ノ下士候補生蹄鐵工長候補生ヲ志願スル者ニ在テハ
其師團名モ記載スヘシ

陸軍部内ノ志願者ニ在テハ本書式ニ準シ調製シ且再服役ヲ志願スル旨ヲ記入
スヘシ

第一號書式ノ五 (用紙美濃白紙)

砲兵工長候補生(縫、靴工長候補生)願

某 儀

陸軍出身志願ニ付何々候補生ニ御採用被成下度入校ノ上ハ御規則嚴重ニ相守リ誓
テ陸軍ニ從事可仕候仍テ身元保證人連署此段奉願候也

府縣族籍職業

戸主ニアラサ

ノハ誰子弟

府(縣)郡(市)町(村)番地住
府(縣)郡(市)町(村)番地寄留

氏 名 印

年 月 日 生
何年何月當何年何月

年月日

身元保證人

府縣族籍職業

府(縣)郡(市)町(村)番地住(寄留)

同 氏 名 印

同 氏 名 印

何聯隊區司令官氏名殿

前書之趣調査候處相違無之候也

年月日

府縣郡市町村長 氏 名 印

陸軍部内ノ志願者ニ在テハ本書式ニ準シ調製スヘシ

第一號書式ノ六 (用紙美濃白紙)

軍樂學校生徒願

某 儀

陸軍出身志願ニ付軍樂學校生徒ニ御採用被成下度入校ノ上ハ御規則嚴重ニ相守リ誓テ陸軍ニ從事可仕候仍テ戶籍明細書、履歷書相添ヘ身元保證人連署此段奉願候也

府(縣)郡(市)町(村)番地住
府(縣)郡(市)町(村)番地寄留

府縣族籍職業

戶主ニアラサレハ誰子弟

氏 名 印

何年十二月當何年月日生

身元保證人

府縣族籍職業

府(縣)郡(市)町(村)番地(寄留)

同 氏 名 印

同 氏 名 印

年月日

陸軍戶山學校長氏名殿

追テ東京(大阪)ニ於テ受檢冀望致候也

前書之趣調査候處相違無之候也

年月日

府縣郡市町村長 氏 名 印

第二號書式 (用紙美濃白紙)

履歷書

- 一何年月日何學校へ入學何年月日同校卒業
- 一何年月日何學校何年學級ヨリ何學校何年學級ニ入學何年月日同校卒業
- 一何年月日何所ニ於テ何々研究
- 一何年月日何ニ從事ス
- 一何年月日何ニ依リ賞(罰)等

(右ノ外履歷ニ關スル事項ハ悉ク記載スヘシ)

右之通相違無之候也

本人氏名印
 身元保證人氏名印
 同氏名印

年月日

第三號書式 (用紙美濃紙)

府縣族籍何某身元明細書

身	分		所得金	財產
	父	母		
本人	兄弟	戶主	本人以外ニ屬スル者	本人以外ニ屬スル者
任官、就職、就役、就業等年月日ヲ分チ其經歷ヲ明記スヘシ	弟各別ニ其身分ヲ概記スヘシ	本人又ハ父戶主ニアラサルトキハ父ノ例ニ準シ戶主ノ身分ヲ明記スヘシ	戶主某ノ俸給 父某ノ手當金 何々ノ收益 何々ノ益金	畑田 山林 何歩 見積價格 何圓
實父(養父、繼父アル者ハ各別ニ)ノ任官、就職、就役、就業等商工業ハ營業ノ種類ヲ區別シ死者ハ戰死、病死等年月ヲ分チ其經歷ヲ明記スヘシ		實母(養母アル者ハ各別ニ)ノ生家父母ノ族籍氏名其職業ヲ明記スヘシ	一家ニ屬スル合計 何圓	田家 幾棟 何歩 見積價格 何圓
			一家ニ屬スル見積價格合計 何圓	田家 幾棟 何歩 見積價格 何圓

品	犯罪處刑ノ有無本人何々 父母何々 戸主何々 兄弟何々等
行	平素ノ行爲右ニ同シ

右之通調査證明候也

年月日

府縣郡市長 氏

名 印

郡市長本書證明ニ必要ノ事項ハ裁判所、警察署等ニ照會シ尙寄留者ノ爲ニハ本籍郡市町村長ニ照會スヘシ

第四號書式 (用紙美濃紙)

保證書

府縣族籍

戸主 戸主ニアラサレハ誰子弟

氏

名

年月日生

右者何年月日當校第何年級ニ入學シ何年月日全科卒業(現今第五年級ニ在學)ノ者

ニシテ平素品行方正曾テ校則ヲ犯セシエトナク性質何々殊ニ何々ノ學科ヲ能クシ卒業試験ノ成績(本年修學ノ成績)何名中第何番(定點何分)何ヲ得(凡ル者ニ付陸軍補充條例第七條第二ニ據リ御採用相成可然者ト認候間此段保證致候也

年月日

何中學校長 氏

名 印

傳師團長氏名殿

本證書ハ親展ト爲スヘキモノトス

第五號書式 (用紙美濃紙)

學力證明書

府縣族籍

戸主 戸主ニアラサレハ誰子弟

氏

名

年月日生

陸軍召募規則

三五四

右者何年月日當校第何年級ニ入學シ何年月日全科卒業(現今第何年級ニ在學)ノ者
 (何々ノ學科ヲ修メ何々ノ學科ハ何某ニ就テ修メタル者)ニシテ中學校全科卒業ト
 概テ同等ノ學力アルコトヲ證明致候也

年月日

何學校長 氏

名 印

何師團長氏名殿

本證書ハ親展ト爲スヘキモノトス

第六號書式 (用紙美濃紙)

入隊承認書

府縣族籍

戶主ニアラサ

ハ誰子弟

氏

名

右者品行方正志操確實ニシテ身元正シク將來當將校團ノ將校トシテ加列セシメ適
 當ノ者ト認ム依テ當隊士官候補生トシテ入隊スルヲ承認候也

年月日

何隊長 氏

名 印

何師團長氏名殿

本承認書ハ親展ト爲スヘキモノトス

第七號書式 (用紙美濃紙)

明治何年何々志願者連名簿		某檢査場		將校生徒試驗臨時委員		官氏名印	
番號	外國	身 體	學科試驗	身 體	評點	官 官	官 官
語學	格	身長	事 故	番號	府縣	所管	姓 名
英 合	英 合	一五尺三寸	濟	族籍	隊號	官	年 月
獨	英 合	二五尺	濟	新 瀧	中 幼	步 曹	何 某
佛 合	獨	尺 寸	不 參	東 京	步 一	軍 何	何 某
寸 五尺三寸	乙	乙	不 參	平 同	步 上	兵 何	何 某
同	同	同	同	同	卒 步	一 同	同
同	同	同	同	同	卒 步	一 同	同

陸軍召募規則

三五五

●勅令第三百九十八號 (明治三十二年十月七日)
陸軍召集條例

第一章 總則

第一條 召集及簡閱點呼ハ在郷軍人及國民兵本籍地所管ノ師團長之ヲ掌ル

將官同相當官ノ召集ハ本條例ノ規定ニ依ラヌ師團長直ニ之ヲ行フ

第二條 戒嚴ヲ宣告シ得ル權アル司令官時機切迫シテ令ヲ請フ途無キトキハ獨斷シテ充員召集補充召集及國民兵召集ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テ該司令官ハ召集ニ關シ師團長ト同一ノ職權ヲ有ス

第三條 召集事務ニ關シ師團長ノ定メタル規定ハ警視總監地方長官憲兵隊長及其ノ各所部ノ官吏公吏之ヲ遵行スヘシ

師團長ノ定メタル規定ニシテ公示ヲ要スルモノハ明治二十六年勅令第百九十九號ノ規定ヲ準用ス

第四條 師團長ハ定期又ハ臨時ニ地方官廳及公署ニ於ケル召集事務ノ整否ヲ檢閲シ

又ハ部下將校ヲシテ之ヲ檢閲セシムヘシ
警視總監地方長官憲兵司令官及憲兵隊長ハ其ノ所部召集事務ノ整否ヲ檢閲シ又ハ
部下官吏ヲシテ之ヲ檢閲セシムヘシ

第五條 在郷軍人ノ召集ニハ召集令狀ヲ用キ召集部隊到着地及到着日時ヲ指定シ簡
閱點呼ニハ點呼令狀ヲ用キ點呼場及到着日時ヲ指定ス
國民兵ノ召集ニハ召集令狀ヲ用キシテ召集令ヲ達ス

第六條 應召員ノ到着スル地ニハ召集事務所ヲ設ク

第七條 召集ニ應スル爲旅行ヲ爲ス者ニハ其ノ出發前ニ於テ旅費ヲ給ス但シ一日行
程以內ヲ旅行シタル後之ヲ給スルコトヲ得國民兵ニ在テハ到着地ニ到着シタル後
之ヲ給スルコトヲ得

簡閱點呼ニ參會スル者ニハ旅費ヲ給セス

第八條 町村長ハ在郷軍人名簿及第一國民兵名簿ヲ調製シ常ニ其ノ異動ヲ訂正スヘ
シ

第九條 本條例中在郷軍人トアルハ豫備役後備役ノ將校同相當官准士官下士兵卒雜
職工ヲ包含ス、
以下同シ 歸休兵及補充兵ヲ謂フ

第十條 本條例中到着地トアルハ召集部隊ノ所在地及應召員ノ召集部隊ニ到ル途中
ニ於テ集合場ヲ設ケタル地ヲ謂フ

應召員トアルハ召集ニ應スヘキ者ヲ謂フ

第十一條 本條例中聯隊區司令部トアルハ警備隊司令部又ハ警備隊區司令部、聯隊
區トアルハ警備隊區、郡トアルハ島司ヲ置キタル島嶼、島司又ハ郡長ヲ置カサル島
嶼ニ在テハ島司又ハ郡長ニ準スヘキ者、島司又ハ郡長ニ準スヘキ者無キ島ノ管轄區、
市東京市京都市大阪市及北海道沖繩縣ノ區ニ在テハ町村長ニ準スヘキ者、
市北海道ノ區制ヲ施行セサル地方ニ在テハ支廳長ノ管轄區、
北ニ當該ス

第十二條 本條例中聯隊區司令官ノ職務ハ警備隊區ニ在テハ警備隊司令官又ハ警備
隊區司令官、郡長ノ職務ハ島司ヲ置キタル島嶼ニ在テハ島司、島司又ハ郡長ヲ置カ
サル島嶼ニ在テハ島司又ハ郡長ニ準スヘキ者、北海道ノ區制ヲ施行セサル地方ニ
在テハ支廳長、郡長及町村長ノ職務ハ市ニ在テハ市長、東京市京都市大阪市ニ在テハ區長、北海道及

沖繩縣ノ區ニ在テハ區長、島司郡長又ハ之ニ準スヘキ者ヲ置カサル島嶼ニ在テハ町村長ニ準スヘキ者、町村長ノ職務ハ町村制ヲ施行セサル地方ニ在テハ町村長ニ準スヘキ者之ヲ行フ

第十三條 島嶼ニ於テ本條例中ノ規定ヲ實施スルコト能ハサルトキハ師團長適宜ノ方法ヲ設クルコトヲ得

第十四條 動員ニ方リ休職停職ノ將校同相當官准士官ヲ就職セシメ及十二月一日以後ニ於テ未タ入營セサル現役兵ヲ徵集スルニハ充員召集ノ方法ニ依ル

第二章 充員召集

第一款 通則

第十五條 充員召集トハ動員ニ方リ諸部團隊ノ要員ヲ充足スル爲在郷軍人ヲ召集スルヲ謂フ

第十六條 充員召集事務ニ關シ職責アル者ハ平時之ニ關スル諸件ヲ計畫準備シ召集實施ニ方リ其ノ事務ニ關シ訓示ヲ請フコトヲ許サス

第二款 充員召集準備

第十七條 師團長ハ召集要員ヲ定メテ各聯隊區ニ配當ス聯隊區司令官ハ之ニ基キ各郡ノ充員召集名簿待命員名簿及充員召集令狀ヲ作り之ヲ郡長ニ送付スヘシ

第十八條 地方長官東京府ニ在テハ警視總監ハ召集實施ニ方リ應召員ノ宿泊ニ供スル爲軍用旅舎ヲ定メ其ノ他召集ヲ容易ナラシムル措置ヲ爲スヘシ

第三款 充員召集實施

第十九條 充員召集ハ動員令ニ依リ之ヲ實施ス

第二十條 師團長ハ動員令ヲ聯隊區司令官ニ達シ警視總監地方長官及憲兵隊長ニ通知スヘシ

第二十一條 聯隊區司令官ハ動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ郡長ニ達スヘシ

第二十二條 地方長官東京府ニ在テハ警視總監ハ動員令ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ警察署長警察分署長ヲ包合ス、以下同シニ達シ東京市京都市及大阪市ニ在テハ地方長官之ヲ市長ニ達スヘシ
憲兵隊長ハ動員令ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ憲兵分隊長ニ達スヘシ

第二十三條 郡長ハ動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ充員召集令狀ヲ町村長ニ送付スヘシ但シ演習召集教育召集中ノ者ノ令狀ハ之ヲ送付セサルモノトス

第二十四條 町村長ハ令狀ヲ受ケタルトキハ之ヲ應召員又ハ召集通報人ニ軍衙ノ命令ヲ通報スヘキ者ヲニ交付シ召集通報人ヲ設ケサル不在者ニ在テハ其ノ戸主ニ交付シ受領證ヲ受取ルヘシ

前項ノ場合ニ於テ戸主不在ナルトキハ其ノ家族中家事ヲ擔當スル者ニ令狀ヲ交付シ受領證ヲ受取ルヘシ

召集通報人不在ナルトキハ前二項ニ依ル

第二十五條 應召員ニ代テ令狀ヲ受ケタル者ハ直ニ確實迅速ナル方法ヲ以テ召集部隊到着地及到着日時ヲ本人ニ通報スルノ所在地ト到着地ト遠隔スル爲到着ヲ遅延信ヲシ其ノ令狀ヲ速ニ交付スルヲ處置ヲ爲スヘシ

第二十六條 應召員ハ令狀又ハ召集ノ通報ヲ受ケタルトキハ令狀ヲ携ヘ指定ノ日時ニ到着地ニ到着シ召集事務所ニ届出ツヘシ但シ通報ヲ受ケタル者ニシテ令狀ノ交

付ヲ受クル爲到着ヲ遅延スルノ虞アル場合ニ於テハ令狀ヲ携フルヲ要セス

召集ノ通報ヲ受ケタル應召員ニシテ指定ノ日時ニ到着スルコト能ハサル者ハ所在地ノ憲兵又ハ警察官吏ニ就キ其ノ通報ヲ受ケタル日時及出發日時ノ證明書ヲ受ケ到着ノ上召集事務所ニ届出ツヘシ

前項ノ場合ニ於テ集合場ニ到着スヘキ者ハ直ニ召集部隊ニ到着スヘシ

第二十七條 應召員ニシテ動員ニ方リ演習召集又ハ教育召集中ノ者アルトキハ部隊長其ノ召集ヲ解除シ其ノ部隊ノ充員召集ニ應スヘキ者ハ直ニ之ヲ當該部隊ニ編入シ他ノ部隊ノ充員召集ニ應スヘキ者ニハ聯隊區司令官ヨリ受ケタル令狀ヲ交付スヘシ

第二十八條 應召員中令狀又ハ通報受領ノ際傷痍疾病ノ爲應召スルコト能ハサル者ハ令狀又ハ通報受領後二十四時間以内ニ聯隊區司令官ニ宛タル届書ニ醫師ノ診斷證書及令狀ヲ添ヘ之ヲ本籍地町村長ニ差出スヘシ但シ寄留又ハ旅行先ヨリ届出ツル者ハ本籍地町村長ニ宛發送スヘシ

令狀又ハ通報受領後出發迄ノ間ニ於テ傷疾疾病ノ爲應召スルコト能ハサルニ至リタル者ハ直ニ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

犯罪所在不明等ノ爲應召スルコト能ハサル者アルトキ又ハ其ノ虞アルトキハ令狀ヲ受領シタル者ヨリ令狀受領後二十四時間以内ニ聯隊區司令官ニ宛タル届書ニ憲兵又ハ警察官吏ノ證明書及令狀ヲ添ヘ之ヲ本籍地町村長ニ差出スヘシ

第一項第二項ノ手續ヲ爲スニ方リ未タ令狀ヲ受領セサル者ハ受領後別ニ之ヲ差出スヘシ

第二十九條 前條ノ場合ニ於テ應召スルコト能ハサル者其ノ事故止ミタルトキハ直ニ本籍地町村長ニ届出テ指揮ヲ受クヘシ

町村長ハ前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ聯隊區司令官ノ指定ニ基キ本人ニ出發ヲ命シ又ハ出發ヲ差止ムヘシ

前項ニ依リ出發スル者集合場ニ到着スヘキ者ナルトキハ直ニ召集部隊ニ到着スヘシ

第三十條 應召員ハ途中ニ於テ傷疾疾病ニ罹リ到着ヲ遅延スルノ虞アルトキハ直ニ醫師ノ診斷證書ヲ添ヘ召集部隊長ニ届出テ出發スルコトヲ得ルニ至リタルトキハ速ニ到着ノ上召集事務所ニ届出ツヘシ

傷疾疾病ノ外止ムヲ得サル事故ニ因リ到着ヲ遅延スルノ虞アルトキハ其ノ地ノ郡長町村長憲兵警察官吏船長又ハ驛長ノ證明書ヲ受ケ到着ノ上召集事務所ニ届出ツヘシ

前二項ノ場合ニ於テ集合場ニ到着スヘキ者ハ直ニ召集部隊ニ到着スヘシ

第三十一條 應召員ハ非常事變ニ因リ交通斷絶シタル爲到着地ニ到着スルコト能ハサル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ最寄諸部團隊長諸部團隊無キ地ニ在テハ郡長町村長憲兵又ハ警察官吏ニ届出ツヘシ

前項ノ届出ヲ受ケタル者ハ適宜ノ處置ヲ爲シ本人ヲシテ到着地ニ到着セシメ得ルニ至レハ證明書ヲ與ヘ出發セシムヘシ但シ集合場ニ到着スヘキ者ニ在テハ直ニ召集部隊ニ到着セシムヘシ

第三十二條 應召員中事故ニ因リ歸郷ヲ命セラレタル者ハ陸軍服役條例第八條第二

十九條第八十條第百十八條第百二十七條ノ例ニ依リ届出ツヘシ補充兵ニ在テハ同條例第百三十七條ノ例ニ依リ届出ツヘシ其ノ召集ニ應スル以前ノ寄留地ニ歸ル者ノ本籍地聯隊區司令官ニ差出スヘキ届書ニハ寄留地町村長ノ證明ヲ受クヘシ

第四款 充員召集ノ解除

第三十三條 充員召集ノ解除ハ復員令ニ依リ之ヲ實施ス

第三十四條 復員令ノ達及通知ニハ第二十條乃至第二十二條ヲ準用ス

第三十五條 郡長ハ復員令ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ町村長ニ達スヘシ

第三十六條 召集解除ヲ命セラレタル者ニハ第三十二條ヲ準用ス

第三章 補充召集

第三十七條 補充召集トハ充員召集實施後缺員ヲ補充スル爲在郷軍人ヲ召集スルヲ謂フ

第三十八條 師團長ハ補充召集令ヲ聯隊區司令官ニ達シ警視總監地方長官及憲兵隊長ニ通知スヘシ

第三十九條 聯隊區司令官ハ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ直ニ補充召集令狀ヲ作り之ヲ郡長ニ送付スヘシ

第四十條 郡長ハ令狀ヲ受ケタルトキハ之ヲ町村長ニ送付スヘシ

第四十一條 補充召集ニ關シテハ第十六條第二十四條乃至第三十一條及第三十三條ヲ準用ス

應召員中事故ニ因リ歸郷ヲ命セラレタル者及召集解除ヲ命セラレタル者ニハ第三十二條ヲ準用ス

第四章 國民兵召集

第四十二條 國民兵召集トハ國民軍ヲ動員スル爲國民兵ヲ召集スルヲ謂フ

國民兵召集ヲ分テ第一國民兵召集第二國民兵召集ノ二種トス

第四十三條 町村長ハ其ノ管内ニ在籍スル國民兵ノ人員表及退役將校同相當官准士官ノ名簿ヲ作り之ヲ郡長ニ差出スヘシ

第四十四條 郡長ハ前條ノ人員表及名簿ヲ受ケタルトキハ其ノ管内ニ在籍スル國民

兵ノ人員表及退役將校同相當官准士官ノ名簿ヲ作り之ヲ警視總監地方長官及聯隊區司令官ニ差出スヘシ

第四十五條 師團長ハ國民兵ヲ召集スルニハ召集スヘキ國民兵ノ種類年齢集合場其ノ他必要ノ事項ヲ聯隊區司令官ニ達シ其ノ種類年齢及集合場ヲ警視總監地方長官及憲兵隊長ニ通知スヘシ

第四十六條 聯隊區司令官ハ國民兵召集令ノ達ヲ受ケタルトキハ召集スヘキ國民兵ノ種類年齢集合場及集合場到着日時ヲ郡長ニ達スヘシ

第四十七條 國民兵召集ニ關シテハ第二十二條ヲ準用ス

第四十八條 郡長ハ國民兵召集令ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ町村長ニ達シ應召員到着日時前ニ吏員ヲ集合場ニ派遣スヘシ

第四十九條 町村長ハ國民兵召集令ノ達ヲ受ケタルトキハ直ニ應召員ニ其ノ旨ヲ達シ指定ノ日時迄ニ之ヲ集合場ニ引率シ聯隊區司令官又ハ聯隊區司令部ノ職員ニ交付スヘシ但シ將校同相當官准士官ハ直ニ集合場ニ到着スヘシ

第五十條 聯隊區司令官又ハ聯隊區司令部ノ職員ハ集合場ニ於テ應召員ノ身體檢査ヲ行ヒ召集ニ適セサル者ハ歸郷セシムヘシ

集合場ニ在ル郡ノ吏員ハ聯隊區司令官又ハ聯隊區司令部ノ職員ノ要求ニ應シ其ノ事務ヲ補助スヘシ

第五章 演習召集

第五十一條 演習召集トハ演習ノ爲在郷軍人第二補充ヲ召集スルヲ謂フ
兵ヲ除ク

演習召集ヲ分テ定期演習召集臨時演習召集ノ二種トス

第五十二條 臨時演習召集ハ本章ノ規定ニ依ラス臨時規定スルモノヲ除ク外第二章第三款及四款ヲ準用ス

第五十三條 演習召集ハ本籍所在ノ師管ニ於テス但シ其ノ師管ニ於テ演習ヲ爲スヘキ部隊無キ者ハ他ノ師管ニ於テス

近衛師團ニハ第一師管外ニ在籍スル者ヲ召集スルコトアルヘシ

第五十四條 寄留地ニ於テ演習召集ニ應スヘキ許可ヲ受ケタル者ハ寄留地所管ノ師

團長之ヲ召集ス

第五十五條 一年志願兵終末試験及第證書ヲ所持スル者ハ士官ニ任スル爲行フ演習召集ニ關シテハ陸軍補充條例ニ依ルノ外仍本章ノ規定ニ依ル

第五十六條 師團長ハ演習召集ノ日時人員日數及部隊ヲ定メ之ヲ聯隊區司令官ニ達シ警視總監地方長官及憲兵隊長ニ通知スヘシ

前項ノ召集日數ハ演習ノ成績ニ依リ之ヲ増加スルコトアルヘシ

第五十七條 聯隊區司令官ハ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ演習召集令狀ヲ作り之ヲ郡長ニ送付スヘシ

第五十八條 應召員中傷痍疾病犯罪所在不明等ノ爲應召スルコト能ハサル者ハ應召員又ハ之ニ代リ令狀ヲ受ケタル者ヨリ到著日時迄ニ聯隊區司令官ニ宛タル届書及其ノ令狀ヲ本籍地町村長寄留地ニ於テ召集ニ應スヘキ許可ヲ受ケタル者ニ在テハ寄留地町村長ニ差出スヘシ但シ傷痍疾病ニ係ルトキハ醫師ノ診斷證書犯罪所在不明等ニ係ルトキハ憲兵又ハ警察官吏ノ證明書ヲ添フヘシ

前項ノ手續ヲ爲スニ方ヲ未タ令狀ヲ受領セサル者ハ受領後別ニ之ヲ差出スヘシ

第五十九條 應召員中父母ノ疾病危篤又ハ死亡ノ爲召集ノ延期ヲ願ハントスル者ハ將校同相當官准士官ニ在テハ師團長、下士兵卒及補充兵ニ在テハ聯隊區司令官ニ宛タル願書ヲ本籍地町村長寄留地ニ於テ召集ニ應スヘキ許可ヲ受ケタル者ニ在テハ寄留地町村長ニ差出スヘシ但シ父母ノ疾病危篤ノ者ハ醫師ノ診斷證書ヲ添フヘシ

第六十條 第五十八條ノ場合ニ於テ應召スルコト能ハサル者其ノ事故止ミタルトキハ直ニ本籍地町村長寄留地ニ於テ召集ニ應スヘキ者ニ在テハ寄留地町村長ニ届出テ指揮ヲ受クヘシ

町村長ハ前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ聯隊區司令官ノ指定ニ基キ本人ニ出發ヲ命シ又ハ出發ヲ差止ムヘシ

第六十一條 演習召集ニ關シテハ第二十四條第二十五條第二十六條第一項第二項第三十條第一項第二項及第四十條ヲ準用ス

應召員中事故ニ因リ歸郷ヲ命セラレタル者及召集解除ヲ命セラレタル者ニハ第三十二條ヲ準用ス

第六章 教育召集

第六十二條 教育召集トハ教育ノ爲第一補充兵ヲ召集スルヲ謂フ

第六十三條 聯隊區司令官ハ教育召集ノ達ヲ受ケタルトキハ教育召集令狀ヲ作り之ヲ郡長ニ送付スヘシ

第六十四條 教育召集ニ關シテハ第二十四條第二十五條第二十六條第一項第二項第三十條第一項第二項第四十條第五十三條第五十四條第五十六條及第五十八條乃至第六十條ヲ準用ス

應召員中事故ニ因リ歸郷ヲ命セラレタル者又ハ召集解除ヲ命セラレタル者ニハ第三十二條ヲ準用ス

第七章 補缺召集

第六十五條 補缺召集トハ平時ニ於テ臨時ニ兵員ノ補缺ヲ要スルトキ歸休兵ヲ召集スルヲ謂フ

第六十六條 補缺召集ハ陸軍大臣ノ認可ヲ得テ師團長之ヲ行フ

第六十七條 聯隊區司令官ハ補缺召集ノ達ヲ受ケタルトキハ補缺召集令狀ヲ作り之ヲ郡長ニ送付スヘシ

第六十八條 補缺召集ニ關シテハ第二十四條第二十五條第二十六條第一項第二項第三十條第一項第二項第四十條第五十六條第一項第五十八條乃至第六十條ヲ準用ス

第八章 簡閱點呼

第六十九條 簡閱點呼トハ豫備役後備役下士兵卒歸休兵及第一補充兵ヲ集合シテ之ヲ點檢査閱スルヲ謂フ

第七十條 師團長ハ簡閱點呼ノ時期ヲ定メ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ

第七十一條 師團長ハ部下ノ佐官又ハ尉官ニ簡閱點呼執行官ヲ命シ之ニ必要ナル訓示ヲ授クヘシ

簡閱點呼ハ參會スヘキ者僅少ナル僻陬ノ地ニ在テハ之ヲ省畧スルコトヲ得

七十二條 聯隊區司令官ハ第七十條ノ達ヲ受ケタルトキハ點呼塲點呼區域及點呼日割ヲ定メ之ヲ師團長ニ差出シ警視總監地方長官憲兵隊長簡閱點呼執行官及郡長

ニ通知スヘシ

第七十三條 地方長官東京府ニ在テ及郡長ハ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ地方長官

東京府ニ在テハ警視總監
ハ警視總監
ハ之ヲ警察署長、郡長ハ之ヲ町村長ニ達スヘシ

憲兵隊長ハ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ憲兵分隊長ニ達スヘシ

第七十四條 聯隊區司令官ハ點呼令狀ヲ作り之ヲ郡長ニ送付スヘシ

第七十五條 簡閱點呼ニ關シテハ第二十四條第二十五條及第四十條ヲ準用ス

第七十六條 令狀又ハ參會ノ通報ヲ受ケタル者ハ指定ノ日時ニ點呼場ニ到著シ簡閱

點呼執行官ニ届出ツヘシ

第七十七條 町村長ハ簡閱點呼ニ參列シ簡閱點呼執行官ノ要求ニ應シ其ノ事務ヲ補

助スヘシ又必要アルトキハ點呼參會者ニ訓示ヲ與フルコトヲ得

第七十八條 令狀又ハ參會ノ通報ヲ受ケタル者ニシテ傷痍疾病犯罪所在不明等ノ爲

參會スルコト能ハサル者ハ本人又ハ本人ニ代リ令狀ヲ受ケタル者ヨリ參會日時迄

ニ簡閱點呼執行官ニ宛タル届書及其ノ令狀ヲ本籍地町村長寄留地ニ於テ簡閱點呼

寄留地ニ於テ簡閱點呼
ニ參會スヘキ許可ヲ受

ケタル者ニ在テニ差出スヘシ但シ傷痍疾病ニ係ルトキハ醫師ノ診斷證書、犯罪所

ハ寄留地町村長
在不明等ニ係ルトキハ憲兵又ハ警察官吏ノ證明書ヲ添フヘシ

第七十九條 簡閱點呼執行官ハ遲參ノ爲簡閱點呼ヲ終ラサル者ニハ他ノ點呼場ヲ指

定シテ參會ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ令狀ヲ作り之ヲ交付シ受領證ヲ受

取ルヘシ

第九章 罰則

第八十條 正當ノ事由無クシテ第二十五條ノ規定及之ヲ準用シタル規定ニ違背シタ

ル者竝簡閱點呼參會者ニシテ點呼場ニ於テ簡閱點呼執行官ノ命ニ服セス又ハ其ノ

職務ノ執行ヲ妨害シタル者ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第八十一條 正當ノ事由無クシテ第二十六條第二項第二十八條第一項乃至第三項第

二十九條第一項第三十條第一項第三十一條第一項第五十八條第一項第六十

條第一項第七十八條ノ規定及之ヲ準用シタル規定ニ違背シタル者竝正當ノ事由無

クシテ簡閱點呼ニ參會セサル者ハ五十錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處シ又ハ

五日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第八十二條 正當ノ事由無クシテ第三十二條ノ規定及之ヲ準用シタル規定ニ違背シタル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

附則

第八十三條 臺灣ニ於テ演習召集教育召集及簡閱點呼ヲ行フニ際シテハ陸軍大臣適宜其ノ方法ヲ規定スルコトヲ得

第八十四條 豫備役後備役屯田兵下士卒ノ召集事務ニ關シ郡長及町村長ノ職務ハ屯田兵村監視之ヲ行フ

第八十五條 士官適任證書所持者ヲ士官ニ任スル爲行フ演習召集ニ關シテハ第五十五條ヲ準用ス

第八十六條 當分ノ内第七師團ニ於テハ演習ノ爲他ノ師管在籍ノ者ヲ召集スルコトヲ得

第八十七條 本條例ハ明治三十二年十月二十日ヨリ施行ス但シ師團長ハ七箇月以内一部ノ施行ヲ延期シ舊令ニ依ルコトヲ得

●陸軍省令第二十九號 (明治三十二年十月十一日)
陸軍召集條例施行細則

第一章 總則

第一條 召集ニ關係アル官吏公吏ハ動員手簿ヲ作り之ニ充員召集補充召集及國民兵召集ニ關シ自ラ計畫準備シタル事項ノ要領ヲ記シ召集實施ニ方リ其ノ景況及參考ト爲スヘキ事項ノ要領ヲ記スヘシ

第二條 召集ニ關係アル官吏公吏ニ於テ召集ニ關シ保管スル諸名簿及諸表ハ其ノ異動ヲ知リタル毎ニ直ニ訂正スヘシ

第三條 動員令^{第一}及國民兵召集令ノ通達ハ至急官報ノ電信、使丁等確實迅速ノ方法ヲ用キルモノトス其ノ使丁ヲ用キルトキハ一時間ニ一里半ノ行進速度ヲ以テ基準トス

充員召集令狀ヲ郡長ヨリ町村長ニ送付シ及市町村長ヨリ各自ニ交付スル爲ニ用キル使丁行進速度ノ基準モ前項ニ依ル

第四條 前條ノ電信ヲ受領シタル者ハ其ノ電信ノ全文第二様式ヲ至急官報ヲ以テ返電スヘシ

第五條 充員召集補充召集及國民兵召集實施ニ方リ其ノ事務ニ係ル文書令狀ヲ發送スルニハ動員用封筒第三様式ヲ用ウヘシ其ノ文書ヲ受領シタル者ハ封筒上ニ設ケタル位地ニ受領時刻ヲ記入シ捺印ノ上返付スヘシ但シ本人ニ代テ受領シタル者ハ其ノ氏名ヲ記シ捺印スヘシ

令狀ヲ市町村長ヨリ各自ニ交付スルニハ普通ノ封筒ヲモ用キサルモノトス

第六條 市町村長ハ其ノ所管外ニ在郷軍人又ハ第一國民兵ノ轉籍シタル者アルトキハ本人ニ關シ在郷軍人名簿又ハ第一國民兵名簿ニ記載セル事項ヲ轉籍地市町村長ニ通知スヘシ但シ第一國民兵ニ係ルトキハ仍其ノ戰時名簿ヲ送付スヘシ

第七條 郡長ハ令狀送付證第四様式ヲ作り令狀ヲ町村長ニ送付スルニ方リ同時ニ送付スヘシ

第八條 師團長警視總監地方長官憲兵司令官及憲兵隊長ハ條例第四條ノ檢閲ヲ爲シ

タルトキ及爲サシメタルトキハ其ノ狀況ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ但シ憲兵隊長ノ報告ハ憲兵司令官ヲ經由スヘシ

第九條 師團長ハ召集事務ニ關シ規定ヲ定メタルトキハ之ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ其ノ規定ヲ公示シタル場合ニ於テハ仍其ノ旨ヲ報告スヘシ

第十條 本則中何日迄ニ何日以内ニ又ハ前何日ニ達、通知、送付、差出、報告スヘシトアルハ到達ノ期日ヲ謂フ

第十一條 本則中聯隊區司令官ノ職務ハ警備隊區ニ在テハ警備隊司令官又ハ警備隊區司令官、郡長ノ職務ハ島司ヲ置キタル島嶼ニ在テハ島司、島司又ハ郡長ヲ置カサル島嶼ニ在テハ島司又ハ郡長ニ準スヘキ者、北海道ノ區制ヲ施行セサル地方ニ在テハ支廳長、市長ノ職務ハ東京市京都市大阪市及北海道沖繩縣ノ區ニ在テハ區長、島司郡長又ハ之ニ準スヘキ者ヲ置カサル島嶼ニ在テハ町村長ニ準スヘキ者、町村長ノ職務ハ町村制ヲ施行セサル地方ニ在テハ町村長ニ準スヘキ者之ヲ行フ

第二章 充員召集

第一款 充員召集準備

第十二條 郡市長ハ聯隊區司令官ヨリ充員召集名簿待命員名簿及充員召集令狀第五ヲ受ケタルトキハ其ノ令狀ヲ充員召集名簿ニ照較シ動員ノ區分ニ從ヒ各別郡長ニ先ツ動員ノ區分ニ從ヒ町村又ハ之ニ準スヘキモノ毎ニ分テ袋ニ納レ保管スヘシ

第十三條 郡市長ハ聯隊區司令官ヨリ充員召集名簿待命員名簿訂正ノ通知及其ノ訂正ニ伴フ令狀ヲ受ケタルトキハ該名簿ヲ訂正シ令狀ハ前條ノ例ニ依リ保管スヘシ不用ニ歸シタル令狀アルトキハ之ヲ聯隊區司令官ニ返付スヘシ

第十四條 郡市長ハ演習召集教育召集中ノ者及短期在營ノ現役兵ニシテ入營中ノ者ノ充員召集令狀ハ其ノ召集又ハ入營期間別ニ保管スヘシ

第十五條 郡市長ハ在郷軍人死亡轉籍其ノ他異動ノ屆書ヲ受ケタルトキハ充員召集名簿待命員名簿ヲ訂正シ其ノ屆書ニ令狀ヲ添ヘ聯隊區司令官ニ送付スヘシ但シ管内ニ於テ轉籍シタル者又ハ氏名ヲ變更シタル者ニ在テハ名簿及令狀ヲ訂正スヘシ
第十六條 警視總監地方長官ハ集合場ニ於ケル召集事務所ノ準備ニ關シ師團長ヨリ

通知ヲ受ケタルトキハ相當ノ處置ヲ爲スヘシ

第十七條 地方長官東京府ニ在テハ警視總監ハ軍用旅舎ヲシテ召集實施ニ方リ二十日間旅舎ニ掲クヘキ看板及標旗第六様式又ハ標燈第七様式ヲ準備セシムヘシ但シ平常之ヲ掲ケシムルモ妨無シ

第十八條 地方長官東京府ニ在テハ警視總監ハ師團長ノ通知ニ基キ必要ノ事項ヲ警察署長及警察分署長ニ指示シテ集合場ニ於ケル召集事務所其ノ他必要ノ地ニ警察官吏ヲ派遣スルノ準備ヲ爲サシムヘシ但シ憲兵ノ配置アル地方ニ在テハ警察官吏ヲシテ豫メ之ト協議セシムヘシ

第十九條 憲兵ハ警察官吏ト協議シテ集合場ニ於ケル召集事務所其ノ他必要ノ地ニ部下憲兵ヲ派遣スルノ準備ヲ爲スヘシ但シ衛戍地ニ於ケル召集事務所ニ關シテハ憲兵ノ主務トシテ準備スヘキモノトス

第二款 充員召集實施

第二十條 郡市長ハ動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ到着日數ヲ動員令ニ示ス動員第一

日ヨリ起算シテ實際ノ曆日ニ換算シ令狀表面到着日時ヲ記入スヘキ空位ニ記入シ直ニ豫定ノ方法ヲ以テ郡長ハ之ヲ町村長ニ送付シ市長ハ之ヲ各自ニ交付スヘシ但シ第十四條ニ依リ保管スル令狀ハ此ノ限ニアラス

汽車汽船ニ乗ルヘキ日時ヲ記入スヘキ令狀ニハ聯隊區司令官ノ通知ニ基キ之ヲ記入スルモノトス

第二十一條 町村長ハ郡長ヨリ令狀ヲ受ケタルトキハ直ニ豫定ノ方法ヲ以テ之ヲ各自ニ交付スヘシ

第二十二條 郡長ハ聯隊區司令官ノ通知ニ基キ傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ應召スルコト能ハサル者事故止ミ町村長ニ届出テタル場合ニ於テ之ヲ出發セシムヘキ最終期日ヲ町村長ニ達スヘシ

第二十三條 市町村長ハ令狀ノ交付ヲ終リタルトキハ直ニ其ノ發送及交付ヲ終リタル月日時刻及交付人員ヲ市長ハ聯隊區司令官ニ通知シ町村長ハ郡長ニ報告スヘシ市町村長ハ令狀ノ受領證ニ依リ令狀ヲ交付シタル者ノ人名及其ノ召集部隊ヲ憲兵

又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

全家所在不明等ノ爲令狀ヲ交付スルコト能ハサル者アリタルトキハ其ノ人名及事由ヲ市長ハ聯隊區司令官及憲兵又ハ警察官吏ニ通知シ町村長ハ郡長ニ報告シ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

前三項ノ手續ヲ終リタル後令狀ヲ交付シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ前項ノ例ニ依リ報告及通知スヘシ

第二十四條 市町村長ハ傷痍疾病犯罪所在不明等ノ爲應召スルコト能ハサル者ノ届書及令狀ヲ受ケタルトキハ調査ノ上其ノ届書ハ毎日之ヲ取纏メ市長ハ聯隊區司令官ニ町村長ハ郡長ニ差出シ令狀ハ之ヲ保管スヘシ又其ノ人名及事由ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

前項ノ應召スルコト能ハサル者其ノ事故止ミ市町村長ニ届出テタルトキハ市長ハ聯隊區司令官ノ町村長ハ郡長ノ通達ニ基キ出發セシムヘキ期日前ナルトキハ其ノ令狀ノ餘白ニ事由及出發日時ヲ記シ之ヲ本人ニ交付シテ出發セシメ期日後ナルト

キハ其ノ出發ヲ差止メ其ノ旨ヲ市長ハ聯隊區司令官及憲兵又ハ警察官吏ニ通知シ町村長ハ郡長ニ報告シ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第二十五條 市町村長ハ全家所在不明等ノ爲交付スルコト能ハサル令狀及應召セサル爲返付ヲ受ケタル令狀アルトキハ市長ハ其ノ人名及事由ヲ待命員名簿ニ記入シ其ノ令狀ハ召集期日後二十五日以内ニ聯隊區司令官ニ送付スヘシ町村長ハ其ノ令狀ヲ取纏メ召集期日後十五日以内ニ郡長ニ差出スヘシ

市長ハ第十四條ニ依リ保管スル令狀アルトキハ前項ノ令狀ト共ニ送付スヘシ

第二十六條 市町村長ハ令狀ノ受領證ヲ編綴シ召集期日後三十日間保存スヘシ

第二十七條 郡長ハ第二十三條第一項ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ一表ニ作り之ニ令狀ノ發送ヲ終リタル月日時時刻及各町村長ノ令狀ヲ受領シタル月日時時刻ヲ記入シ聯隊區司令官ニ送付スヘシ

第二十八條 郡長ハ第二十三條第三項第四項及第二十四條ノ報告及屆書ヲ受ケタルトキハ毎日之ヲ取纏メテ聯隊區司令官ニ送付スヘシ

第二十九條 郡長ハ第二十五條ノ令狀ヲ受ケタルトキハ其ノ人名及事由ヲ待命員名簿ニ記入シ其ノ令狀ハ召集期日後二十五日以内ニ聯隊區司令官ニ送付スヘシ

第十四條ニ依リ保管スル令狀アルトキハ前項ノ令狀ト共ニ送付スヘシ

第三十條 憲兵又ハ警察官吏ハ動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ軍用旅舎ニ動員ヲ令セラレタル旨ヲ告知シ看板及標旗又ハ標燈ヲ掲ケシムヘシ

第三十一條 憲兵及警察官吏ハ豫定ノ召集事務所其ノ他必要ノ地ニ出張シ應召員ニ便宜ヲ與フヘシ但シ停車場司令部ノ設ケアル停車場ニ在テハ該司令官ノ指揮ヲ受クヘシ

第三十二條 郡市長ハ聯隊區司令官ヨリ應召員中事故ニ因リ歸郷ヲ命セラレタル者及復員ニ先チ召集ヲ解除セラレタル者ノ人名及事由ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ待命員名簿ニ記載後備役補充兵役又ハ兵役ニ堪ヘサル者ヲ除ク郡長ハ其ノ人名及事由ヲ町村長ニ達シ市長ハ其ノ人名及事由ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第三十三條 町村長ハ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第三十四條 憲兵及警察官吏ハ違令ノ者無カラシムル爲相當ノ處置ヲ爲シ必要ニ應
シ其ノ景況ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第三款 充員召集ノ解除

第三十五條 警視總監地方長官憲兵隊長及聯隊區司令官ノ復員令ヲ通達スルニハ電
信ヲ用キス使丁又ハ郵便ニ依ルヲ例トス

第三十六條 郡市長ハ聯隊區司令官ヨリ復員ニ方リ召集ヲ解除セサル者召集ヲ解除
スルモ歸郷
セシメサル
者ヲ包含スノ人名及事由又ハ召集中部隊ヲ變更シタル爲召集解除ノ期日ヲ異ニス
ル者又ハ復員ニ方リ現役ヨリ豫備役後備役ニ轉入スヘキ者ノ人名ノ通知ヲ受ケタ
ルトキハ郡長ハ之ヲ町村長ニ達シ市長ハ之ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第三十七條 町村長ハ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘ
シ

第三十八條 憲兵及警察官吏ハ復員令ノ達ヲ受ケタルトキハ違令ノ者無カラシムル

爲相當ノ處置ヲ爲シ必要ニ應シ其ノ景況ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第三章 補充召集

第三十九條 郡市長ハ聯隊區司令官ヨリ補充召集令狀ヲ受ケタルトキハ直ニ待命員
名簿ニ照較シ該名簿ニ召集部隊及到着期日ヲ記入シ郡長ハ其ノ令狀ヲ町村長ニ送
付シ市長ハ其ノ令狀ヲ各自ニ交付スヘシ

待命員名簿ニ記載セサル者ヲ召集スル場合ニ於テハ前項ニ依リ該名簿ニ記載スヘ
シ

第四十條 補充召集ニ關シテハ第二十一條乃至第二十四條第二十五條第一項第二十
六條乃至第二十八條第二十九條第一項第三十二條乃至第三十四條及第三十六條乃
至第三十八條ヲ準用ス

第四章 國民兵召集

第四十一條 郡長ハ聯隊區司令官ヨリ第一國民兵役ニ轉入スヘキ者ノ人名書ヲ受ケ
タルトキハ之ヲ十月三十一日迄ニ町村長ニ達スヘシ

第四十二條 郡市長ハ聯隊區司令官ヨリ國民軍編入ヲ許可セラレタル指令ノ送付ヲ

受ケタルトキハ郡長ハ之ヲ町村長ニ送付シ市長ハ第一國民兵名簿ニ追記スヘシ

第四十三條 町村長ハ前條指令ノ送付ヲ受ケタルトキハ第一國民兵名簿ニ追記スヘシ

第四十四條 市町村長ハ國民兵ノ現在員國民兵役ニ轉入スヘキ者及國民軍編入ヲ許

可サレタル者ニ基キ國民兵人員表第八及退役將校名簿第九樣式ヲ作り市長ハ十一

月三十日迄ニ警視總監地方長官及聯隊區司令官ニ町村長ハ十一月十五日迄ニ郡長

ニ差出スヘシ

第四十五條 郡長ハ前條ノ人員表及名簿ニ基キ國民兵人員表及退役將校名簿ヲ作り

十一月三十日迄ニ警視總監地方長官及聯隊區司令官ニ差出スヘシ

第四十六條 郡長ハ聯隊區司令官ヨリ第一國民兵役ニ轉入シタル者ノ戰時名簿ヲ受

ケタルトキハ直ニ之ヲ町村長ニ送付スヘシ

第四十七條 市町村長ハ第一國民兵役ニ轉入シタル者ノ戰時名簿ヲ受ケタルトキハ

之ニ依テ其ノ人名及其ノ他ノ事項ヲ第一國民兵名簿ニ追記スヘシ

第四十八條 市町村長ハ退役將校同相當官准士官ノ増減アリタルトキハ市長ハ之ヲ

聯隊區司令官ニ通知シ町村長ハ之ヲ郡長ニ報告スヘシ

第四十九條 郡長ハ前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第五十條 市町村長ハ應召員ヲ其ノ集合場ニ引率スルニ方リ應召員ノ人名書退役將

校名簿第一國民兵名簿及應召員ノ戰時名簿ヲ携帯スヘシ

第五十一條 警視總監地方長官ハ師團長ヨリ國民兵召集ノ通知ヲ受ケタルトキハ所

定ノ國民軍ヲ成立セシムル爲第一條ニ依リ計畫準備シタル事項ノ外臨機適應ノ處

置ヲ爲スヘシ

第五章 演習召集、教育召集

第五十二條 師團長ハ演習又ハ教育ノ爲召集スヘキ者ノ兵種階級及兵役年級ヲ聯隊

區司令官ニ達ス聯隊區司令官ハ之ニ該當スル者ヲ調査シ其ノ管内ニ本籍ヲ有スル

者及寄留ノ者ヲ區別シタル人員將校同相當官及士官ニ任スル爲演習ニ召集スヘキ者ハ人名以下同シ師團長ニ報告

ス師團長ハ之ニ依テ少クモ召集期日前二十日ニ召集ノ日時兵種階級人員日數及部隊ヲ定メテ之ヲ諸部團隊長ニ達スヘシ

師團長ハ其ノ所管ニアラサル聯隊區司令官ニ前項ノ達ヲ爲サントスルトキハ其ノ所管師團長ニ通知スヘシ所管師團長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ又聯隊區司令官ノ報告ハ所管師團長ニ差出スヘシ該師團長ハ之ヲ召集部隊所管ノ師團長ニ送付スヘシ

第五十三條 師團長ハ師管内ニ演習召集ヲ爲スヘキ部隊無キ者アルトキハ演習ヲ爲サシメントスル部隊所管ノ師團長ニ協議シテ召集日時等ヲ定メ前條第一項ノ例ニ依リ聯隊區司令官ニ達スヘシ部隊所管ノ師團長ハ之ヲ部隊長ニ達スヘシ

第五十四條 師團長ハ士官ニ任スル爲演習ニ召集スヘキ者ノ中他ノ師管ニ居住ノ者ヲ召集スルニハ召集ノ日時人員日數及部隊ヲ定メ少クモ召集期日前二十五日ニ本人居住地所管ノ師團長ニ通知スヘシ該師團長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ其ノ

居住地本籍地師管ナラサルトキハ仍本籍地所管ノ師團長ニ通知スヘシ本籍地所管ノ師團長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ

第五十五條 聯隊區司令官ハ第五十二條乃至第五十四條ノ達ニ基キ速ニ召集名簿第十式及令狀第十一式ヲ作り其ノ令狀ハ直ニ郡市長ニ送付シ其ノ名簿ハ召集期日前日ヨ

リ到着時刻迄ノ間ニ於テ召集部隊長ニ送付スヘシ名簿調製後發送迄ノ間ニ異動ヲ生シタルトキハ該名簿應否事故ノ區畫ニ記入シ爾後ニ生シタル異動ニシテ必要ナル事項ハ其ノ都度召集部隊長ニ通知スヘシ

第五十六條 師團長ハ召集延期又ハ事故ニ因リ應召ヲ遅延スル者ノ最終ノ出發期日ヲ定メテ聯隊區司令官ニ達シ應召員中途中ニ於テ傷痍疾病ニ罹リ到着ヲ遅延スル者アリタルトキ之ニ歸郷ヲ命スヘキ期日ヲ定メテ召集部隊長ニ達スヘシ

師團長ハ其ノ所管ニアラサル聯隊區司令官ニ前項ノ達ヲ爲サントスルトキハ其ノ所管師團長ニ通知スヘシ所管師團長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ

第五十七條 聯隊區司令官ハ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ郡市長ニ通知スヘシ

第五十八條 師團長聯隊區司令官ハ召集延期ヲ許可スルニ方リ其ノ期ノ召集ニ應セシメサル者ノ指令ニハ令狀ヲ市町村長ニ返付スヘキコトヲ附記スヘシ

第五十九條 師團長ハ進級ノ爲又ハ事故ノ爲召集日數ヲ増加スヘキ者アルトキハ召集部隊長ヲシテ之ヲ各自ニ達セシムヘシ

第六十條 寄留地ニ於テ召集ニ應スヘキ許可ヲ受ケタル者ヲ召集セントスルトキハ召集ノ日時日數及部隊ヲ將校同相當官ニ在テハ寄留地所管ノ師團長ヨリ本籍地所管ノ師團長ニ准士官以下ニ在テハ寄留地所管ノ聯隊區司令官ヨリ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル師團長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ

第六十一條 召集部隊長ハ召集期日ニ至レハ召集事務所ヲ開設シ應召員到着スルトキハ直ニ身體検査ヲ行ヒ召集名簿ニ應召不應召其ノ他ノ事故ヲ記シ之ヲ召集期日後三日以内ニ聯隊區司令官ニ宛發送スヘシ

傷痕疾病ニ因リ演習又ハ教育ニ堪ヘサル者ハ軍隊手牒ニ其ノ旨ヲ記シテ歸郷セシ

メ召集期日後三日以内ニ其ノ診斷證書常備役後備役補充兵役又ハ兵役ニ堪ヘサル者ニ限ルヲ聯隊區司令官ニ宛發送スヘシ

第一項ニ依リ名簿發送後召集ニ應シタル者アルトキハ直ニ其ノ旨ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ其ノ召集ニ應シタル者ニ就テハ前二項ノ手續ニ依ルヘシ

第六十二條 召集部隊長ハ應召員中途中ニ於テ傷痕疾病ニ罹リ到着ヲ遲延スル者アリタルトキハ師團長ノ達ニ基キ之ニ歸郷ヲ命シ其ノ旨ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第六十三條 聯隊區司令官ハ召集名簿中ニ他ノ聯隊區ノ者アリタルトキハ第六十一條第六十二條ノ通知ニ基キ其ノ應召不應召ヲ直ニ其ノ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ本籍地所管ノ聯隊區司令官ハ應召シタル者ノ人名召集期日及日數ヲ郡市長ニ通知スヘシ

第六十四條 聯隊區司令官ハ應召員中事故ニ因リ歸郷ヲ命セラレタル者ノ人名及事由並應召セサル者ノ中其ノ屆書ヲ受ケサル者ノ人名ヲ郡市長ニ通知スヘシ

第六十五條 郡市長ハ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ郡長ハ之ヲ町村長ニ達シ市長ハ之ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第六十六條 町村長ハ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第六十七條 召集部隊長ハ召集中ノ者ニシテ父母ノ疾病危篤又ハ死亡其ノ他止ムヲ得サル事故ノ爲休暇ヲ願出ツル者ニ許可ヲ與フルニ方リ其ノ休暇中ニ召集解除ヲ爲スヘキ者ハ直ニ召集ヲ解除スヘシ

第六十八條 召集部隊長ハ演習又ハ教育ヲ終リタルトキハ軍隊手牒ニ所要ノ記入ヲ爲シ在ルヤ否ヲ點檢シテ召集ヲ解除スヘシ

第六十九條 召集部隊長ハ令狀ニ指定スル期日ニ召集ヲ解除召集ヲ解除スルモ歸郷セシメサル者ヲ包含スセサル者アルトキハ其ノ人名事由及解除期日ヲ聯隊區司令官ニ通知シ召集解除ヲ延期スル者ノ中其ノ期日ヲ豫定スルコト能ハサル者ニ在テハ召集ヲ解除召集解除後ノ者ニ歸郷ヲ命ススルトキ更ニ其ノ通知ヲ爲スヘシ士官ニ任スル爲メ演習召集ヲ本籍地ルヲ包含ス

及寄留地ニアラサル師管ニ於テ行フ場合ニ於テハ居住地所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

前項ニ該ル者ノ居住地本籍地及寄留地所管ノ聯隊區警備隊區ヲ包含スナラサルトキハ仍本

籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

寄留地ニ於テ召集ニ應シタル者ノ中期日ニ先チ召集ヲ解除スル者アルトキハ仍本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第七十條 聯隊區司令官ハ前條第一項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ郡市長ニ通知スヘシ

前條第三項ノ通知ヲ受ケタルトキ亦同シ

第七十一條 郡市長ハ前條第一項ノ通知ヲ受ケタルトキハ郡長ハ之ヲ町村長ニ達シ市長ハ之ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第七十二條 町村長ハ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第七十三條 演習召集教育召集ニ關シテハ第二十三條第二十四條第二十五條第一項第二十六條乃至第二十八條第二十九條第一項及第三十四條ヲ準用ス但シ郡長ハ令狀ヲ町村長ニ郵送シタル場合ニ於テハ第二十七條ニ依リ送付スル表中ニ其ノ旨ヲ附記シ市町村長ハ第二十三條第二項ニ依リ令狀ヲ交付シタル人名及其ノ召集部隊ヲ通知スルニハ召集日數ヲ附記スルモノトス

第七十四條 聯隊區司令官ハ郡市長ヨリ令狀ノ送達ニ關スル通知ヲ受ケタルトキハ一表ニ作り之ヲ師團長ニ差出スヘシ

第六章 補缺召集

第七十五條 師團長ハ補缺召集ヲ行フニハ歸休兵ノ兵種等級人員召集部隊到着日時ヲ定メ召集部隊長及聯隊區司令官ニ達スヘシ

師團長ハ其ノ所管ニアラサル聯隊區司令官ニ前項ノ達ヲ爲サントスルトキハ其ノ所管師團長ニ通知スヘシ所管師團長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ

第七十六條 聯隊區司令官ハ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ補缺召集令狀第十一様式ニ準スヲ作

リ之ヲ郡市長ニ送付シ充員召集名簿又ハ待命員名簿ヲ訂正スヘシ

第七十七條 郡市長ハ補缺召集令狀ヲ受ケタルトキハ其ノ召集ヲ令セラレタル者ノ充員召集令狀ハ之ヲ聯隊區司令官ニ返付シ充員召集名簿又ハ待命員名簿ヲ訂正スヘシ

第七十八條 補缺召集ニ關シテハ第二十三條第二十四條第二十五條第一項第二十六條乃至第二十八條第二十九條第一項第三十四條第五十六條乃至第五十八條第六十一條第一項第三項第六十二條第六十四條乃至第六十六條及第七十四條ヲ準用ス但シ郡長ハ令狀ヲ町村長ニ郵送シタル場合ニ於テハ第二十七條ニ依リ送付スル表中ニ其ノ旨ヲ附記スルモノトス

第七章 簡閱點呼

第七十九條 師團長ハ簡閱點呼執行官ニ當該聯隊區司令部書記一名ヲ附屬セシメ點呼ニ關スル庶務ヲ處理セシムヘシ

第八十條 師團長ハ簡閱點呼執行官ノ官氏名ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ

第八十一條 師團長ハ簡閱點呼ヲ省略スル場合ニ於テハ其ノ狀況ヲ悉シテ陸軍大臣ニ報告スヘシ

第八十二條 聯隊區司令官ハ簡閱點呼開始前三十日ニ條例第七十二條ノ手續ヲ爲スヘシ但シ點呼場間ノ里程及參會人員ニ應シ成ルヘク半日間ニ點呼ヲ結了シ他ノ半日ハ旅行ニ充ツルヲ要ス

第八十三條 聯隊區司令官ハ第十二様式ニ依リ點呼令狀ヲ作ルヘシ

第八十四條 聯隊區司令官ハ各點呼場參會人員概算表及點呼名簿ヲ作り簡閱點呼執行官ニ送付スヘシ但シ名簿ハ點呼場毎ニ各別ニ作り逐次ニ送付スルモ妨無シ

第八十五條 市町村長ハ令狀ヲ受ケタルトキハ簡閱點呼期日前十五日ニ之ヲ各自ニ交付シ終ルヘシ

第八十六條 市町村長ハ簡閱點呼ノ免除又ハ猶豫ヲ受ケタル者アルトキハ前條令狀ノ交付ヲ終リタルトキ其ノ人名ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第八十七條 市町村長ハ全家所在不明等ノ爲令狀ヲ交付スルコト能ハサル者アリタ

ルトキハ其ノ人名及事由ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

前項ノ手續ヲ終リタル後令狀ヲ交付シタル者アリタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第八十八條 市町村長ハ傷痍疾病犯罪所在不明等ノ爲簡閱點呼ニ參會スルコト能ハサル者ノ届書及令狀ヲ受ケタルトキハ調査ノ上毎日之ヲ取纏メテ其ノ人名及事由ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第八十九條 市町村長ハ全家所在不明等ノ爲交付スルコト能ハサル令狀及傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ參會スルコト能ハサル者ノ届書及令狀ヲ携ヘ點呼場ニ於テ簡閱點呼執行官ニ差出スヘシ簡閱點呼參列ノ爲出發後點呼時刻迄ニ受ケタル届書及令狀ハ點呼ヲ終ル迄ニ之ヲ差出スヘシ

第九十條 市町村長ハ簡閱點呼ニ參列スルニ方リ在郷軍人名簿ヲ携帯スヘシ

第九十一條 簡閱點呼執行官ハ呼名點檢ヲ行ヒ平常ニ於ケル異動取扱ノ確否其ノ他所要ノ調査ヲ爲シ參會者ニ必要ノ訓示ヲ與フヘシ

第九十二條 簡閱點呼ニ關シテハ第二十三條第一項第二十六條第二十七條第三十四條及第七十四條ヲ準用ス

附則

第九十三條 屯田兵下士兵卒ノ演習召集簡閱點呼ニ關シテハ第七師團長本則ニ準シ適宜其ノ方法ヲ規定シ陸軍大臣ニ報告スヘシ

第九十四條 本則ハ明治三十二年十月二十日ヨリ施行ス但シ師團長ハ七箇月以内一部ノ施行ヲ延期シ舊則ニ依ルコトヲ得

第一様式

動第 號

何師團動員(何師團何動員)ヲ令セラル動員第一日ハ何月何日ナリ

明治 年 月 日

師團長(地方長官)(憲兵隊長)(聯隊區司令官)氏名

一 發簡番號ノ符號動ノ字ノ下ニ適宜ノ符號ヲ記入スルコトヲ得

二 何動員ノ何ハ動員ノ區分ヲ示ス符號ニシテ此ノ符號ハ必要ニ應シ記入スルモノトス

三 電文中ニ數字ヲ記スニハ假名字ヲ用キ其ノ下ニ括弧ヲ置キ之ニ同一ノ數字ヲ記入スヘシ

四 電文中ニハ發簡番號及發信年月日ヲ記入セス又發信者ハ官名又ハ職名ノミヲ記シ其ノ氏名ハ之ヲ省略スルコトヲ得

第二様式

ダイサン(三)シダンドウインヲレイセラルドウインダイイチ(一)ニチハク(九)ゲツイテ(一)ニチナリ○シツオカケンチジ

第三師團動員ヲ令セラル動員第一日ハ九月一日ナリ

静岡縣知事

本様式ハ静岡縣知事返電ノ例ヲ示ス

第三樣式

動第 號 通	
受領時刻	年月日午前 時 分
受領證	

- 一 封筒用紙ハ適宜ニシテ紅色トス
- 二 動ノ字ノ下ニ適宜ノ符號ヲ記入スルコトヲ得

第四樣式

動第 號

何師團何動員充員召集令狀何通入

(點呼令狀何通入)

右送付ス

明治 年 月 日

何 郡 長 團

壹 袋

- 一 發簡番號ノ符號動ノ字ノ下ニ適宜ノ符號ヲ記入スルコトヲ得但シ動ノ字ヲ附スルハ充員召集令狀補充召集令狀送付ノトキニ限ル
- 二 何動員ノ何ハ動員ノ區分ヲ示ス符號ニシテ此ノ符號ハ必要ニ應シ記入スルモノトス

第五樣式

受領證

一 何月何日何隊へ召集ノ(何隊へ召集ノ爲何月何日何集合場へ到著スヘキ)充員(補充)召集令狀

右受領ス

明治 年 月 日 午前 時 分

兵役官(兵種等級第何補充兵何兵)何某團

召集通報人其ノ他本人ニ代リ受領シタル者ハ左ニ署名捺印ヲ爲スヘシ

何聯隊區司令部

御 中

表

面

(尺曲)分五寸七

(尺曲)寸四

充員(補充)召集令狀

何府縣郡市町村

兵役官(兵種等級)

(第何補充兵何兵)

何 某

右充員(補充)ノ爲何部隊へ召集ヲ令セラル明治何年何月何日午、何時(午前八時ヨリ午後四時)迄ニ何地ニ到着シ此ノ令狀ヲ以テ當該部隊(集合場)召集事務所ニ届出ツヘシ

但何月何日午 何時何分何驛(何港)發ノ汽車(汽船)ニ乗ルヘシ

何聯隊區司令部

召集ニ應スル爲汽車(汽船)ニ乗ルヘキ者ハ指定ノ日時場所以外ニ於テハ乗車(乗船)ノ準備無キヲ注意スヘシ
乗車(乗船)切符ヲ求ムルトキ及乗車(乗船)スルトキハ此ノ令狀ヲ係員ニ示スヘシ

五寸(曲尺)

一 用紙ハ適宜ニシテ紅色トス

二 字及番地ハ必要ニ應シ記入スルモノトス

三 到着地ハ何市何區何町又ハ何國何郡何町村ノ何所ト詳密ニ記載スヘシ

四 但書及欄外記註ハ一例ヲ示シタルニ過キス聯隊區司令部ニ於テ必要ト認メタル事項ヲ記入スヘキモノトス

第五様式

召集旅費金何圓何拾錢

右何所ニ於テ支給ス依テ此ノ令狀ヲ係員ニ示シテ受領スヘシ代人ヲシテ受領セシムルトキ爲シ得レハ其ノ委任狀中ニ召集部隊及到着地ヲ記入スヘシ

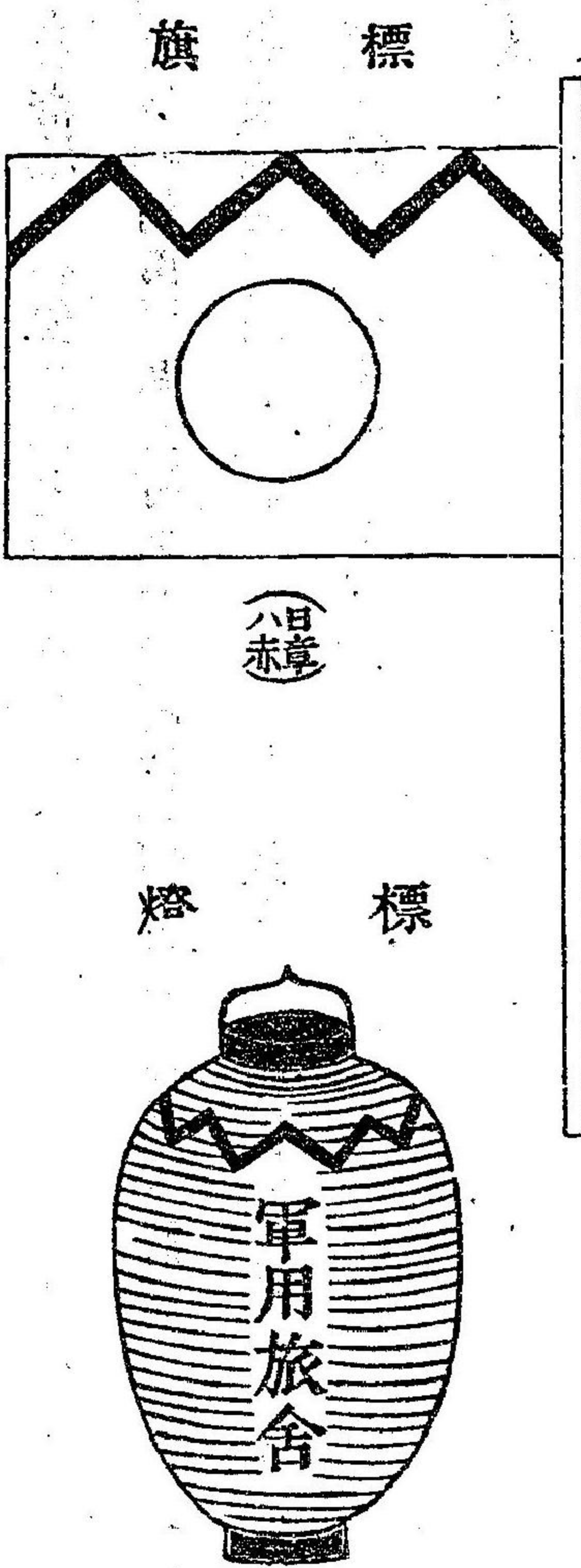
裏

面

- 一 色ハ適宜トス
- 二 聯隊區司令部ニ於テハ令狀裏面ニ應召員及應召員ニ代リ令狀ヲ受領スヘキ者ノ心得ト爲ルヘキ事項ヲ記入スルコトヲ得

第六様式

第七様式



第八様式ノ一

計	何歳	元兵種官年		歩兵	輜重兵	衛生部	軍吏部	諸職工	海軍兵	合計
		上等	下等							
		士卒	下兵							
		兵	第一							
		補充	計							
		計								
		士卒	下兵							
		兵	計							
		計								
		士手	下看							
		計								
		士長	下工							
		計								
		士卒	下卒							
		計								

何都市町村第一國民兵人員表

明治何年何月調
何都市役所町村役場

- 一 本表人員ハ元下士以下ノ者ヲ記ス
- 二 本表年齢ノ區畫ニハ月數ヲ記載セス各年齢ニ相當スル人員ハ翌年二月一日ヨリ翌々年一月三十一日迄ニ滿年ニ達スル者ヲ記ス

- 三 國民軍編入許可ノ元下士上等兵看護手ノ人員ハ朱ヲ以テ別記スヘシ
 - 四 海軍卒ノ區畫ニハ元雜卒ヲ混記ス
 - 五 本表人員ニ異動ヲ生スルモ其ノ時々訂正ヲ要セス
- 第八様式ノ二

何郡市町村第二國民兵人員表		明治何年何月調 何郡市役所町村役場	
年	齡	其ノ他ノ者	計
何	何	何	
何	何	何	
何	何	何	
何	何	何	

- 一 本表年齢ノ區畫ニハ月數ヲ記載セス各年齢ニ相當スル人員ハ翌年二月一日ヨリ翌々年一月三十一日迄ニ滿年ニ達スル者ヲ記ス

- 二 本表人員ニ異動ヲ生スルモ其ノ時々訂正ヲ要セス
- 第九様式

何郡市町村退役將校名簿		明治何年何月調 何郡市役所町村役場	
住	所	官	氏
	何	步、大尉	何
		一、軍醫	某

- 一 本表ノ年齢ハ月數ヲ記セス調査スル月ノ年齢ヲ記ス但シ月計算ニ依ル
- 二 國民軍編入許可ノ將校同相當官准士官ハ本名簿ニ記シ其ノ氏名ノ右肩ニ志ノ符號ヲ朱書スヘシ

第十樣式

何部隊演習(教育)召集名簿		明治何年何月何日調	
住 所		兵役年級	官 兵 種 級
郡 町 村 豫、	二 步、	大 尉	何 氏
何 々 後、	二 步、	軍 何	名
何 々 豫、	二 步、	一 何	事 應
郡 町 村 寄留	一 補、	三 步	何 某
本籍何聯隊	一 補、	三 步	何 某
區何郡町村	一 補、	三 步	何 某
			何月何日疾病ニ因 リ不應ヲ届出ツ
			疾病ニ因リ應召即 日歸郷ス
			故 否

- 一 字及番地ハ必要ニ應シ記入スルモノトス
- 二 寄留地ヨリ召集ニ應スル者ノ住所區畫ニハ現住所ノ下ニ「寄留」ト書シ其ノ傍ニ本籍聯隊區名及所在地ヲ朱記スヘシ

第十一樣式

表

面

(尺曲)分五寸七

(尺曲)寸四

受領證

一 何月何日ヨリ何日間何隊へ召集ノ演習(教育)召集令狀
右受領ス

明治 年 月 日 午前 時 分

召集通報人其ノ他本人ニ代リ受領シタル者ハ左ニ署名捺印ヲ爲スヘシ

何聯隊區司令部
御 中

演習(教育)召集令狀

何府縣郡市町村

兵役官(兵種等級)

(第一補充兵何兵)

何 某

右演習(教育)ノ爲何日間何部隊へ召集ヲ令セラル明治

何年何月何日午 何時何地ニ到著シ此ノ令狀ヲ以テ當
該部隊召集事務所ニ届出ツヘシ

何聯隊區司令部

四寸五分(曲尺)

五寸(曲尺)

- 一 字及番地ハ必要ニ應シ記入スルモノトス
- 二 到著地ハ何市何區何町又ハ何國何郡何町村ノ何所ト詳密ニ記載スヘシ

第十一様式

裏

召集旅費金何圓何拾錢

右何所ニ於テ支給ス依テ此ノ令狀ヲ係員ニ示シテ受領スヘシ代人
ヲシテ受領セシムルトキ爲シ得レハ其ノ委任狀中ニ召集部隊及到
著地ヲ記入スヘシ

面

聯隊區司令部ニ於テハ應召員及應召員ニ代リ令狀ヲ受領スヘキ者ノ心
得ト爲ルキ事項ヲ記入スルコトヲ得

第十二様式

受領證

一點呼令狀
右受領ス

明治 年 月 日 午前 時 分
 後
 兵役官(兵種等級第一補充兵何兵)何某 團
 召集通報人其ノ他本人ニ代リ受領シタル者ハ左ニ署名捺印ヲ爲
 スヘシ

何聯隊區司令部
 御中

(尺曲)分五寸七

(尺曲)寸四

點呼令狀

何府縣郡市町村

兵役官(兵種等級)
 (第一補充兵何兵) 何 某

右簡閱點呼ノ爲參會ヲ令セラル明治何年何月何日午
 何時何地ニ到着シ此ノ令狀ヲ以テ簡閱點呼執行官
 ニ届出ツヘシ

何聯隊區司令部 團

四寸五分(曲尺)

五寸(曲尺)

- 一 字及番地ハ必要ニ應シ記入スルモノトス
- 二 到着地ハ何市何區何町又ハ何國何郡何町村ノ何所ト詳密ニ記載スヘシ
- 三 本令狀ノ裏面ニハ聯隊區司令部ニ於テ點呼參會者及之ニ代リ令狀ヲ受領スヘキ者ノ心得ト爲ルヘキ事項ヲ記入スルコトヲ得

●陸軍省令第一號 (明治三十三年一月二十二日)

陸軍召集諸費支出規程

第一條 充員召集補充召集ニ係ル諸費ハ臨時費ニ屬シ定期演習召集教育召集及補缺召集ニ係ル諸費ハ經常費ニ屬ス

臨時演習召集ニ係ル諸費ノ所屬ハ臨時之ヲ定ム

第二條 召集諸費ヲ分テ召集旅費歸郷旅費召集雜費トス召集旅費ハ應召員ノ旅費、歸郷旅費ハ應召員中事故ニ因リ歸郷ヲ命セラレタル者ノ旅費、召集雜費ハ召集事務所ノ諸費應召員ノ引率諸費召集ニ關係アル官吏公吏ノ出張旅費、諸部團隊官衙公署ニ要スル郵便電信料使丁賃金等トス

第三條 召集諸費ノ仕拂命令官ハ師團監督部長トス

第四條 召集諸費ノ出納官吏現金前渡ヲ受クル者ハ諸部團隊、道廳警視廳、府縣廳ノ官吏及郡市長東京市京都市大阪市及北海道沖繩縣ノ區ニ在テハ區長、北海道ノ區制ヲ施行セサル地方ニ在テハ支廳長、島司ヲ置キタル島嶼ニ在テハ島司、島司又ハ郡長ヲ置カサル島嶼ニ在テトス但シ必要ニ應シ郡書記北海道沖繩縣ノ區書記、北ハ島司又ハ郡長ニ準スヘキ者、以下同シ

海道廳支廳附ノ屬ニ分任出納官吏ノ職務ヲ執ラシメ若ハ警察官吏町村長町村長ニ島廳書記ヲ包含ス者ヲ包含ス、ニ出納官吏又ハ分任出納官吏ノ職務ヲ執ラシムルコトヲ得以下同シ

第五條 師團長ハ召集旅費支給ノ地方區域及其ノ區域ニ於ケル出納官吏又ハ分任出納官吏ノ官(職)名ヲ定メ一月三十一日迄ニ聯隊區司令官警備隊司令官、警備隊區司令官ヲ包含ス、以下同シニ達シ警視總監、地方長官ニ通知スヘシ但シ應召員ノ到著地ニ到著シタル後ニ於テ旅費ヲ支給セシムヘキモノアルトキハ之ヲ其ノ出納官吏又ハ分任出納官吏所屬ノ諸部團隊長ニモ達スヘシ

召集旅費支給ノ區域ハ數都市島嶼ヲ併セ一區ト爲シ若ハ郡ノ一部ヲ他ノ郡ニ分屬シテ一區ト爲シ或ハ一郡ヲ二區以上ニ分ツコトヲ得

第六條 召集諸費ノ出納官吏分任出納官吏ノ任命ハ郡市長ヲ除クノ外ハ諸部團隊長、警視總監又ハ地方長官ニ於テスヘシ

第七條 諸部團隊長、警視總監、地方長官ハ召集諸費前渡ヲ受クヘキ官吏及公吏ノ官(職)氏名ヲ師團長ニ通知スヘシ師團長ハ之ヲ當該仕拂命令官及聯隊區司令官ニ通

達シ大藏省ニ報告スヘシ爾後異動アルトキ亦同シ

第八條 陸軍部外ノ出納官吏分任出納官吏ニシテ事故ニ因リ代理ヲ要スルトキ其ノ代理者ノ命免、會計規則第九十一條第九十二條及第百條ニ依リ要スル検査員立會員若ハ計算書ヲ調製セシムヘキモノノ任命ハ警視總監、地方長官ニ於テスヘシ會計規則第九十三條ノ檢定書ハ師團長ニ提出スヘシ

第九條 諸部團隊長、警視總監及地方長官ハ第五條第一項ノ通達ヲ受ケタルトキハ之ヲ所轄出納官吏又ハ分任出納官吏ニ達スヘシ

第十條 郡市長ハ充員召集補充召集實施ニ方リ郡市役所東京市京都市大阪市及北海道、北海道ノ區制ヲ施行セサル地方ニ在テハ支廳、島司ヲ置キタル島嶼ニ在テハ區役所、島廳、島司又ハ郡長ヲ置カサル島嶼ニ在テハ島廳ニ準スヘキモノ、以下同シ町村役場町村役場ニ準スヘキモノニ要スル召集雜費ヲ計算シ召集諸費概算表第一様式ヲ作リ二月十五日迄ニ聯隊區司令官ニ送付スヘシ

第十一條 聯隊區司令官ハ充員召集名簿待命員名簿ニ依リ召集旅費及充員召集補充召集實施ニ方リ聯隊區司令部警備隊司令部、警備隊區司令部ヲ包含ス、以下同シニ要スル召集雜費ヲ計算

シ且前條ノ概算表ヲ調査シ之ト共ニ一表ニ取纏メ召集諸費概算表第二様式ヲ作り二月二十八日迄ニ師團長ニ差出スヘシ

他ノ聯隊區ノ郡市町村長又ハ其ノ分任出納官吏ヨリ召集旅費ノ支給ヲ受クヘキ應召員アルトキハ其ノ概算表ハ別ニ之ヲ作りテ二月二十日迄ニ當該聯隊區司令官ニ送付シ該聯隊區司令官ハ前項ノ概算表ニ合記スヘシ

第十二條 師團監督部長ハ充員召集補充召集實施ニ方リ監督部ニ要スヘキ召集雜費ヲ計算シ召集諸費概算表ヲ作り第二様式ニ準ス 二月二十八日迄ニ師團長ニ差出スヘシ

第十三條 憲兵隊長ハ充員召集補充召集實施ニ方リ憲兵隊本部、憲兵分隊本部、憲兵屯所及憲兵分屯所ニ要スヘキ召集雜費ヲ計算シ召集諸費概算表ヲ作り第二様式ニ準ス 二月二十八日迄ニ師團長ニ差出スヘシ

第十四條 警視總監、地方長官ハ充員召集補充召集實施ニ方リ道廳、警視廳、府縣廳、警察署、警察分署、巡查駐在所、巡查派出所及集合場ニ於ケル召集事務所ノ設置ニ要スヘキ雜費ヲ計算シ召集諸費概算表ヲ作り第二様式ニ準ス 二月二十八日迄ニ師團長ニ

送付スヘシ

第十五條 師團長ハ充員召集ニ應スヘキ將官同相當官ノ旅費召集ニ關シ各隊ヨリ集合場其ノ他ニ派遣スヘキ者ノ旅費召集事務所集合場ニ於ケルモノハ設置後ノ雜費應召員中事故ニ因リ歸郷セシムヘキ者ノ旅費應召員ノ引率諸費及其ノ他ノ雜費ヲ計算シ第十一條乃至第十四條ノ概算表ヲ調査シ之ト共ニ一表ニ取纏メ召集諸費概算表四通ハ第二様式ニ通ハ第四様式ヲ作り三月十日迄ニ陸軍大臣ニ差出スヘシ

第十六條 聯隊區司令官ハ十二月一日ニ於ケル充員召集名簿待命員名簿ノ現在員ヲ豫定シ更ニ第十一條ノ召集諸費概算表ヲ作り十月三十一日迄ニ師團長ニ差出スヘシ

他ノ聯隊區ノ郡市町村長又ハ其ノ分任出納官吏ヨリ召集旅費ノ支給ヲ受クヘキ應召員アルトキハ其ノ概算表ハ別ニ之ヲ作り十月二十日迄ニ當該聯隊區司令官ニ送付シ該聯隊區司令官ハ前項ノ概算表ニ合記スヘシ

第十七條 師團長ハ前條ノ概算表ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ更ニ第十五條ノ召集

諸費概算表四通ヲ作り十一月十日迄ニ陸軍大臣ニ差出スヘシ

第十八條 陸軍大臣ハ第十五條又ハ第十七條ノ概算表ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シテ大藏大臣ニ送付シ當該仕拂命令官ニ下付ス同時ニ其ノ概算表ノ有効期限ヲ定メ大藏大臣ニ通知シ當該師團長及仕拂命令官ニ令達ス但シ有効終期迄ニ次期概算表師團長及仕拂命令官ニ令達セス且金庫ニ到達セサルトキハ前期概算表ヲ有効トス

第十九條 師團長ハ其ノ計算シタル召集諸費中諸部團隊ノ出納官吏ニ前渡ヲ受ケシムヘキ金額ノ費目ヲ區分シ其ノ金額ヲ當該諸部團隊長ニ達シ諸部團隊長ハ之ヲ出納官吏ニ達スヘシ

第二十條 聯隊區司令官ハ其ノ計算シタル召集旅費中各出納官吏金庫ヨリ現金直送ノ分任出納官吏ヲ包含ニ前渡ヲ受ケシムヘキ金額ヲ該出納官吏ニ通知スヘシ但シ諸部團隊附ノ者ニ在テハ其ノ諸部團隊長ニ通知シ諸部團隊長ハ之ヲ出納官吏ニ達スヘシ

第二十一條 聯隊區司令官ハ郡市長中其ノ所管外ノ地ニ本籍ノ在ル應召員ニ旅費ヲ支給スヘキ者アルトキ及町村長ニシテ召集旅費ヲ支給スヘキ者アルトキハ其ノ應

召員ノ官等級氏名居住地、到着地集合場ナルトキハ召集部隊トモ及旅費額ヲ毎年二回該郡市長及

町村長ニ通知スヘシ其ノ第一回ハ三月二十日第二回ハ十一月二十日迄トス但シ他ノ聯隊區ニ係ルモノハ第一回ハ三月十日第二回ハ十一月十日迄ニ該司令官ニ通知シ該聯隊區司令官ハ本文ニ依リ取扱フモノトス

諸部團隊ノ出納官吏中召集旅費ヲ支給スヘキ者アルトキハ前項ニ準シ諸部團隊長ニ通知シ諸部團隊長之ヲ當該出納官吏ニ達スヘシ

前二項ノ通知後ニ於テ異動アレハ其ノ都度通知スルモノトス

第二十二條 召集旅費ノ支給ヲ爲スヘキ官吏及公吏ハ平時ニ於テ召集旅費受領證書第五ヲ作り置クヘシ

第二十三條 郡市長ハ召集旅費區分表第六ニ通ヲ作り一通ハ聯隊區司令部ニ送付シ

一通ハ郡市役所ニ備ヘ置キ爾後異動アル毎ニ之ヲ訂正シ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第二十四條 聯隊區司令官ハ前條ノ區分表ヲ受ケタルトキハ之ヲ一表ニ製シ第六式ニ準

ス 應召員ヲ編入スヘキ諸部團隊長ニ送付シ其ノ異動ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ都度之ヲ通知スヘシ

他ノ師團ノ諸部團隊長ニハ動員ノ際之ヲ送付スルコトヲ得

第二十五條 諸部團隊長ハ前條ノ區分表ヲ受ケタルトキハ之ヲ保管シ歸郷旅費計算ノ用ニ供スヘシ

第二十六條 師團長ハ平時豫メ召集諸費仕拂請求書ヲ作り置クヘシ

第二十七條 仕拂命令官ハ平時ニ於テ仕拂命令發行ノ準備ヲ爲シ置クヘシ

第二十八條 陸軍大臣ハ平時ニ於テ召集諸費ノ豫算要求書及仕拂豫算計算書ヲ作り置キ充員召集若ハ補充召集ニ際シ其ノ要求書ハ大藏大臣ニ送付シ其ノ裁定濟ノ通知ヲ得テ即時當該師團長及仕拂命令官ニ令達シ其ノ計算書ハ大藏省、會計検査院及仕拂命令官ニ送付ス

第二十九條 師團長ハ前條ノ令達ヲ受ケタルトキハ動員ノ區分ニ應シ召集諸費概算表ノ金額ニ基キ現金前渡ノ仕拂ヲ當該仕拂命令官ニ請求スヘシ

第三十條 仕拂命令官ハ前條ノ請求書ヲ調査シ直ニ仕拂命令ヲ發スヘシ但シ送金ニ係ハルモノハ電信ノ便アレハ電信送金ト爲スヲ要ス

第三十一條 出納官吏及分任出納官吏前條ノ仕拂命令ヲ受ケタルトキハ現金ヲ受領シ所要ノ仕拂ヲ爲スヘシ其ノ召集旅費ノ支給ヲ爲ストキハ第二十二條ノ受領證書氏名ノ下ニ捺印セシムヘシ若シ印章ヲ携帯セサル者アルトキハ拇印セシムルモ妨ナシ

前項ノ受領證書ニ記載シタル者ニシテ前渡金ノ決算ヲ爲ス迄ニ旅費ヲ支給セサル者アルトキハ朱線ヲ以テ其ノ氏名ヲ塗抹シ證明ヲ捺スヘシ

第三十二條 充員召集補充召集實施ニ方リ其ノ諸費ニ係ル事務ハ晝夜ヲ分タス之ヲ處辨シ其ノ通達ニハ至急官報ノ電信、使丁等確實迅速ノ方法ヲ用キルモノトス其ノ使丁ヲ用キルトキハ一時間ニ一里半ノ行進速度ヲ以テ基準トス

第三十三條 前條ノ電信ヲ受領シタル者ハ其ノ電信ノ全文ヲ至急官報ヲ以テ返電スヘシ

第三十四條 充員召集補充召集實施ニ方リ其ノ諸費ニ係ル諸部團隊官衙及公署ノ往復書類ニハ動ノ字ヲ冠シタル番號ヲ附スルモノトス但シ必要ニ應シ動ノ字ノ下ニ他ノ文字ヲ加フルコトヲ得

第三十五條 充員召集補充召集實施ニ方リ其ノ諸費ニ係ル文書ヲ發送スルニハ動員用封筒第七式ヲ用ウヘシ其ノ文書ヲ受領シタル者ハ封筒上ニ設ケタル位地ニ受領時刻ヲ記入シ捺印ノ上返付スヘシ但シ本人ニ代テ受領シタル者ハ其ノ氏名ヲ記シ捺印スヘシ

第三十六條 出納官吏ハ前渡金受領ノ日ヨリ三十日內ニ會計檢査院ニ提出スヘキ仕拂計算書及證憑書類ヲ師團司令部ヲ經テ仕拂命令官ニ送付シ其ノ仕拂殘金ハ仕拂命令官ノ返納告知書ヲ得テ金庫ニ納付スヘシ但シ返納告知書ヲ受ケサル前ニ於テ嗣後ノ召集アルトキハ其ノ殘金ヲ以テ支拂ヲ爲スヘキモノトス
分任出納官吏ノ仕拂計算書及證憑書類ハ主任出納官吏ニ提出シ該官吏ハ自己ノ計算ニ併算スルモノトス

第三十七條 召集旅費ハ本籍地ヨリ到著地迄ノ里程ニ應シテ本籍地所屬ノ旅費支給區域ニ於ケル出納官吏ヨリ支給スルモノトス但シ必要ニ應シ本籍地支給區域外最寄ノ旅費支給所ニ於テ支給スルコトヲ得

演習召集又ハ教育召集中他ノ部隊ノ充員召集及補充召集ニ應スヘキ者ノ召集旅費ハ甲乙部隊間ノ順路ニ依リ演習召集又ハ教育召集部隊ニ於テ支給スヘシ其ノ部隊動員セサル場合ニ於テハ其ノ召集旅費ハ應召員本籍所管聯隊區司令官ノ請求ニ基キ充員召集及補充召集部隊所管ノ師團司令部ヨリ送付スルモノトス

第三十八條 到著地ニ到著シタル後ニ於テ召集旅費ヲ支給スル場合ニ於テハ召集部隊又ハ部隊ヨリ集合場ニ派遣シタル出納官吏又ハ分任出納官吏ヨリ支給スルヲ例トス

第三十九條 集合場ニ到著スヘキ應召員ニシテ事故ニ因リ直ニ召集部隊ニ到著スヘキ者其ノ他事故ニ因リ更ニ旅費ノ支給ヲ受クヘキ者ハ其ノ召集旅費ノ支給ヲ受クヘキ出納官吏又ハ分任出納官吏若ハ其ノ所在地最寄ノ出納官吏又ハ分任出納官吏

ニ就キ其ノ旅費ノ支給ヲ受クヘシ
前項ニ依リテ召集旅費ヲ支給シタル者ハ直ニ其ノ金額氏名ヲ應召員ノ到著スヘキ
部隊ニ通知スヘシ

第四十條 召集部隊長ハ途中ニ於テ傷痍疾病ニ罹リタル應召員ニ歸郷ヲ命スル場合
ニ於テハ該部隊ヨリ其ノ滯在中ノ日當及歸郷旅費召集旅費ノ剩ヲ支給スルモノト
ス但シ應召員所在地ノ召集諸費出納官吏又ハ分任出納官吏又ハ分任出納官吏ニ於
テ之ヲ支給シ得ルトキハ其ノ旨ヲ通知シ之ニ支給ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十一條 應召員中召集旅費ヲ受領シ傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ該旅費ノ返納
ヲ要スルトキ第三十六條ノ決算後ニ在テハ仕拂命令官ヨリ其ノ徵收ヲ地方長官ニ
委任スルコトヲ得

第四十二條 復員後ニ於テハ更ニ召集諸費概算表ヲ作ルモノトス但シ概算表調製以
前ニ於テ充員召集ヲ實施スル場合ニ於テハ動員ヲ行ヒシトキニ於ケル第十五條又
ハ第十七條ノ概算表ニ依ルモノトス

第四十三條 臨時演習召集諸費支出ノ手續ハ第二條乃至第六條第八條第九條第二十
九條乃至第四十一條ニ準據シ取扱フモノトス

第四十四條 定期演習召集、教育召集ニ應スル者ノ旅費及其ノ歸郷旅費應召中事故
ヲ命セラレタル者及召集解
除ヲ命セラレタル者ノ旅費並補缺召集旅費ハ第三條乃至第六條第八條第九第二十
九條乃至第三十一條第三十六條乃至第三十八條第四十條及第四十一條ニ準據シ取
扱フヘシ但シ旅費額ハ諸部團隊聯隊區司令部ニ於テ計算シ普通ノ手續ヲ以テ仕拂
命令官ニ請求スルモノトス

第三十六條ニ依リ出納官吏ノ提出スヘキ仕拂計算書及證憑書類ハ聯隊區司令部及
師團司令部ヲ經由スルモノトス

第四十五條 寄留地ニ於テ演習召集又ハ教育召集ノ許可ヲ受ケタル者並陸軍補充條
例第五十九條第六十五條及第七十七條ニ依リ召集スルトキ之ニ支給スヘキ旅費
ハ現住地ヨリ召集地迄ノ里程ニ應シ本人現住地所管ノ師團ヨリ支給スルモノトス
但シ召集中住居ヲ轉シタル者ト雖應召前ノ現住地迄ノ里程ニ應シテ歸郷旅費ヲ給

陸軍召集諸費支出規程

ソ一六

郡 市 聯隊區	分	旅費		金額計	出納官吏官 (職)名	支出金庫
		上長官士官	下士兵卒補 充兵			
何市						
何郡						
何郡						
何聯隊區						
合計						

一 應召員ノ旅費ハ本籍地ヨリ編入部隊所在地若ハ集合場迄ノ里程ニ依リ計算スヘシ其ノ陸路海路二様アルモノハ陸路ニ依リ計算スヘシ

二 應召員ノ旅費ハ動員ノ區分ニ依リ召集旅費ノ出納官吏毎ニ現員ノ十分ノ二ニ當ル金額並集合場ニ到着スヘキ者ノ十分ノ一ハ直ニ召集部隊ニ到着スルモノトシ其ノ金額ヲ加算スヘシ但シ其ノ金額ハ現員中最遠隔ノ者ニ均シキ額ヲ以テ調査スヘシ

三 本表ハ出納官吏及金庫ヨリ現金直送ノ分任出納官吏ノ數ニ應シ各區畫ヲ増加シテ記載スヘシ第三様式モ之ニ準シ各區畫ヲ増加シテ記載スヘシ

四 他ノ聯隊區ノ郡市名ハ朱書スヘシ

第三様式

明治何年度 何師管召集諸費概算表

何年何月何日
何師團司令部團

府 郡 市 部 團 隊	分	金額		出納官吏官職名	支出金庫名
		何動員	何動員		
何市					
何郡					
何郡					
何聯隊區					
合計					

何金庫 一、四、〇〇〇

何金庫 五、〇〇〇

第四様式

明治何年度 何師管召集諸費概算表

何師團司令部團

陸軍召集諸費支出規程

ソ一七

